

目	次
概要 5	[ラインを作成、削除する]・・・・・・ 25
[はじめに]・・・・・5	[障害発生時に通知を行う]・・・・・・ 27
[SNMP について] ・・・・・ 5	「時間を指定してポーリング・通知を行う〕
[TWSNMP 動作環境について] ・・・・・・ 6	
[ネットワークの設定について]・・・・・6	「装置に WFB」FTP TELNET で接続する]
[マニュアル表記規則]・・・・・・・・ 7	
インストール/アンインストール 8	「WID ブニウボズ WID た防復十て] 99
[インストールの準備] ・・・・・ 8	[MID ノノノリ C MID を取付する] ・・・ 33
[TWSNMP のインストール] ・・・・・ 8	[MIB 設定で MIB を設定する] ・・・・・ 37
「TWSNMP のアンインストール]・・・・・10	[MIB 取得] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
基本操作説明 11	[PING を実行する] ・・・・・ 40
[起動方法]・・・・・11	[パネル表示]・・・・・・・・・・・・・・・ 41
[既存のファイルを開く] ・・・・・・ 12	[グラフ表示機能を使う]・・・・・・・ 42
[新規作成]・・・・・13	[RMON 管理機能を使う] ・・・・・・・・ 44
[自動発見の方法]・・・・・・・・・・13	[ホストリソース MIB よる管理] ・・・・ 51
[バックグランドでノードを検索する]	[プリンタ MIB よる管理] ・・・・・・ 52
	[終了方法] · · · · · · · · · · · · · · · 52
[ノード状態を確認する]・・・・・・・ 17	[I/F MIBよる管理] ・・・・・ 53
[ノードの状態を確認する]・・・・・・ 19	[終了方法] · · · · · · · · · · · · · · · 53
[ログを確認する]・・・・・・・・・・・ 20	WINDOW構成 54
[ノード属性を変更する]・・・・・・・21	[全体画面構成] 54
[監視基本パラメータを変更する]・・・ 22	[MAP ツリービュー] ・・・・・ 55
[MAP ウィンドウの背景を変える]・・24	[状態別ツリービュー] 56
TWSNMP Ver.4 操作マニュアル	2

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

[IP アドレス別ツリービュー] ・・・・・ 57	[MIB 取得項目選択] ····· 87
[MAP ビュー] ・・・・・ 58	[MIB 取得設定] ····· 88
[ログビュー]・・・・・・・・・・・ 59	[MIB ブラウザ] ・・・・・・・・・・ 89
メニュー詳細説明 60	[MIB ツール]
[メニュー]・・・・・・・・・・・・・・・・60	[MIB 設定] ····· 91
[右クリックメニュー] ・・・・・・・・ 63	[一括確認]・・・・・・92
[ツールバー] ・・・・・ 65	[グリッド設定]・・・・・ 93
ダイアログ詳細説明 67	「シンボル選択]・・・・・94
[自動発見]・・・・・ 67	[八二》明右仲能]
[ノードプロパティ(一般設定)]・・・69	
[ノードプロパティ(インターフェイス/	[ボーリング一覧表示]・・・・・・・・・96
ポーリング設定)] ・・・・・・・・・ 71	[ポーリングロググラフ表示]・・・・・ 97
[ノードプロパティ(TRAP/通知設定)]	[ポーリングー括設定] ・・・・・ 98
	[トラフィック選択]・・・・・・・・ 99
[自動認識設定]・・・・・・・・・・・・・73	[ポーリング設定(パネル表示)]・・・100
[ポーリング追加]・・・・・・・・・・・.74	[ポーリング設定(グラフ表示)]・・・101
[ポーリング方式設定]・・・・・・・.75	[システム設定]・・・・・ 102
「ポーリング設定]・・・・・・・・・・・.75	[ポーリング方式一覧]・・・・・・104
[TF設定]······77	[グラフ ファイル編集]・・・・・ 105
[TDAD の設安]	[PING] 106
	[ノード検索]・・・・・ 107
[週知の設定]・・・・・・・・・・・・・・・・ 79	[アドレス管理]・・・・・ 107
[MAP プロパティ(MAP 一般設定)]・・81	[ライン設定]・・・・・ 108
[MAP プロパティ(MAP 背景設定)]・・83	[WAN]
[MAP プロパティ(MAP ログ&通知設定)]	
	LROR/KING] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
[MIB ツリー] ・・・・・ 86	[サブネット]・・・・・ 111

[ログ統計分析]・・・・・・・・・112 [動作制限ファイル]・・・・・・133

- [イベントログ詳細]・・・・・ 112
- [就業時間設定] ……………… 113
- [RMON 管理] ······114
- [RMON 統計設定] ····· 116
- [RMON 履歴設定] ······117
- [RMON イベント設定] · · · · · · · · 118
- [RMON アラーム設定] ・・・・・ 119
- [RMON レポート] ・・・・・ 120
- [ホストリソース管理]・・・・・・121
- [プリンタ管理]・・・・・122
- [I/F 管理] ······123
- [更新版の確認]・・・・・・・・・124
- [バージョン情報]・・・・・124

125

### 保守と内部情報仕様

- [背景ビットマップの追加]・・・・・ 125 [ノードアイコンの追加] ・・・・・ 125 [設定ファイル]・・・・・125 [ポーリング方式ファイル] ・・・・・ 126 [トラフィックファイル]・・・・・ 127 [MIB 取得ファイル] ····· 128 [パネル表示ファイル]・・・・・・129 [パネル表示ファイルフォーマット]・129 [拡張 MIB ファイル] ・・・・・ 131 [MIB 説明ファイル] ····· 131
- [外部コマンド起動パラメータ]・・・・ 132

概要

# [はじめに]

TWSNMP マネージャは(以下 TWSNMP と略)は、SNMP (Simple Network Management Protocol), PING, TCP 接続確認を使用して、ネットワーク機器の管理を行うものです。TWSNMP により、管理対象の構成管理、障害管理、トラフィック管理を Windows 上で実現できます。

# [SNMPについて]

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、インターネット(TCP/IP)の標準管理 プロトコルとして開発された技術です。もともとは、TCP/IP で通信するパソコン、ワークステー ション、ルータなどの管理を目的として開発されましたが、その有効性が広く認められ、HUB、 ブリッジ、スイッチング HUB 等のネットワーク接続のための他の装置や、リレーショナルデー タベース、メールサーバ、WEB サーバなどのパソコン、ワークステーション上で動作するソフト ウェア、プリンタ、UPS(無停電電源装置)など装置の管理にも利用されるようになってきまし た。

SNMP は、TCP/IP ネットワークで接続された管理装置(マネージャ)と管理対象内のエージ エントが、MIB(Management Information Base)と呼ばれる管理情報を SNMP プロトコルに より読み出し、変更を行うことにより管理機能を実現します。

MIBは、管理対象内にある一種のデータベースです。マネージャは、このデータベースの特定の値を読み出すことにより管理対象の情報や状態を知ることができます。また、このデータベースの特定の値を書き換えることにより監視対象の設定変更や制御を行うことができます。

TWSNMP は、SNMP のマネージャ機能を実現するソフトウェアで、SNMP 対応装置には、 SNMP エージェント機能を持っています。

### [TWSNMP動作環境について]

次の表に、TWSNMP のハードウェア及び、ソフトウェアの動作環境を示します。

項目	必要条件	推奨
CPU	使用する OS の動作環境の必要条件と	Celeron 2GHz 以上
メモリ	同じです。	512MB以上
ハードディスク		80GB 以上(1GB 以上の空き)
画面解像度	1024×768(256 色)以上	$1280 \times 1024$
		(16M カラー)
LAN 接続	10Mbps イーサネット以上	100Mbps イーサネット
OS	Windows XP (Home、Pro)※1	Windows XP (Home,Pro)※ 1
	Windows Vista(全エディション)※1	Windows Vista(全エディション) ※1

※1 Windows XP SP2、Vista で使用する場合、パーソナルファイヤーウォールの設定により、監視できない場合があります。

# [ネットワークの設定について]

TWSNMP により、装置を監視するためには、TWSNMP が動作する Windows パソコン及び、 監視対象の装置に TCP/IP のネットワーク設定を行う必要があります。Windows パソコンのネッ トワーク設定については、ご使用の OS のマニュアル等を参照ください。監視対象については、 それぞれの設定マニュアルを参照ください。

- また、監視対象には、SNMP に関連した以下の設定も行う必要があります。
- (1) **SNMP** 機能を有効にします。
- (2) SNMP Community を設定します。(このネットワークでの管理パスワードです。)
- (3) sysName に装置名を設定
   (TWSNMP で自動登録した装置の名前は、この値を使用します。)
- (4) sysLocation に装置の設置場所を設定します。(TWSNMP で自動登録した装置の設置場所は、この値を使用します。)

設定方法の詳細は、それぞれの設定マニュアルを参照ください。

TWSNMPをインストールしたパソコンのネットワーク設定の確認は、該当パソコンから PING などにより通信確認を行ってください。

# [マニュアル表記規則]

このマニュアルでは、ウィンドウのメニュー、ボタン等について次のように表記しています。

メニュー	「」で、メニューを表現します。
	例: 「ファイル」、「編集」
サブメニュー	ーでつないだメニューは、サブメニューを表現します。
	例: 「編集」-「削除」
ボタン	ダイアログボックスなどのボタンは<>で表記します。
	例: <設定>
コントロール	[] で、エディットボックスなどのコントロールを表現します。
	例: [IP アドレス]
キー入力	キー入力は、 <key 名="">キーと表記します。</key>
	例: <del>キー、 <alt>+<del>キー</del></alt></del>

単に、クリック、ダブルクリックと表記した場合は、マウス左ボタンのクリックを意味します。 右ボタン、中央ボタンの場合は、右クリック、右ダブルクリックと表記します。

インストール/アンインストール

### [インストールの準備]

TWSNMP をインストールする前に、次の確認をしてください。

- 動作環境の確認
- (2) ネットワーク設定の確認

### [TWSNMPのインストール]

TWSNMPは、次の手順でインストールしてください。

- (1) Twise Labo Inc.のホームページ(http://www.twise.co.jp)より TWSNMP マネージャを V4 ダウンロードし、TWSNMPV4.msi を起動します。
- (2) 次の図のようにインストラーの指示に従いインストールしてください。

<TWSNMP インストール>





# [TWSNMPのアンインストール]

次の手順で、TWSNMPをアンインストールしてください。

- (1) Windows の「コントロールパネル」を開きます。
- (2) 「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
- (3) リストから「TWSNMPv4」を選択して、<アンインストール>をクリックします。
- (4) 画面の指示に従い、<はい>を選択して実行してください。

### <TWSNMP アンインストール>

0.000	A second second	* 🥭 nusioner		
③ ● ▼ ■ ・ コントロールパネル ・	プログラム > プログラムと機能	▼ 4 検索		٩
<b>タスク</b> インストールされた更新プロ グラムを表示 Windows Marketplace で新	ログラムのアンインストールまたは変更 ログラムをアンインストールするには、一覧からプログラ リックします。	ムを選択して [アンインストール]、	[変更]、または [修谷	夏] を
しいプログラムを取得	理 🗸 🏢 表示 👒 🥵 アンインストール 🚯 変更 !	6 修復		0
購入したソフトウェアを表示(名前	*	発行元	インストー	サイズ ^
デジタル ロッカー)	enSSLSetup	Twise	2008/03/19	14.
😗 Windows の機能の有効化また 👧 Pai	nt Shop Pro 7 Anniversary Edition	Jasc Software Inc	2008/05/11	27
は無効化 Markan Carl Carl Per	fectDisk 2008 Pro	Raxco Software Inc.	2008/05/16	42.
Per	sonal Dictionary for EIJIRO III	ReliefOffice	2008/05/07	20
🛥 Ou	ckTime	Apple Inc.	2008/05/02	78.
re Sat	ari	Apple Inc.	2008/05/06	60.
Spi	elling Dictionaries Support For Adobe Reader 8	Adobe Systems	2008/05/09	32.
S. TW	SCon	TWISE	2007/11/26	4.2
<b>2</b> TW	SNMPv4	TWISE	2008/05/26	13.
Ud	ninoBoss	LogIt	2008/01/09	5.1
I Ud	ninoBossAL	LogIt	2007/11/19	70
Ud	ninoBossMAS	LogIt	2008/01/09	13.
UT UT	F-8 TeraTerm Pro with TTSSH2 4.57		2008/05/07	10.
🖗 Vis	ual Studio .NET Prerequisites - English	Microsoft Corporation	2008/01/03	2.2 ≡
🜏 Vis	ual Studio 2005 MSDN ライブラリ - 日本語版	Microsoft	2007/11/11	1.8
<b>[믲</b> Vis	ual Studio 2005 Tools for Office Second Edition Runt	Microsoft Corporation	2008/01/03	11.
(광Vis	ual Studio Tools for the Office system 3.0 Runtime	Microsoft Corporation	2008/01/03	6.5 _
- // · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	m			•
<b>H</b> is	TWSNMPv4 発行元: TVISE サイズ: 13.4 MB e コメント: TVSNMP Setup	サポートのリンク: http://www.twis 製品パージョン: 4.0.0	se.co.jp	
プログラムと機能 TWSNMPv4 回 今後、このダイ:	をアンインストールしますか? アログ ボックスを表示しない	(‡l)(Y)	いえ(N)	

# 基本操作説明

# [起動方法]

TWSNMP は、

「スタート」-「すべてのプログラム」-「TWSNMPv4」-「管理 MAP」から起動します。 起動後、次の画面が表示されます。

<初期画面>

🗶 無題 - TWSNMP														
ファイル(E) 編集(E)	設定( <u>S</u> )	管理ツール(工)	SNMP管	理( <u>M</u> ) □	コグ管理( <u>L</u> )	接続ツール(!	<u>N</u> ) 監視制御(	<u>C</u> ) 表示(⊻)	ヘルプ(日)			1		
🗅 🖻 🖶	Ŵ X	Pa 🖻	A	6	<u>×</u>	-#~ -	×	ZP.		<u>^ l</u> j l	<b>e</b> ?			
<ul> <li>第 MAP ● 状態</li> <li>ラ /-i*</li> <li>ジ RING</li> <li>細 BUS</li> <li>第 57*39F</li> <li>- ○ WAN</li> <li>- ○ WAN</li> <li>- ○ WAN</li> </ul>	● IP													
		状態	発生	日時	種別	関連ノード	イベント							
ヘルプを表示するには [F:	1] を押してく	ください。											 正常=0異常	š=0

# [既存のファイルを開く]

既に保存されている MAP ファイルを開くためには、メニューから「ファイル」-「開く」を 実行するか、またはツールバーから「開く」を実行します。次のファイル選択のダイアログボッ クスが表示されますので、目的のファイルを選択し、<開く>をクリックします。

メニューの「ファイル」-(最近使ったファイルのリスト)から選択することもできます。

<ファイルを開くダイアログボックス>

✔ 開<	X
○○○□ → yamai → ドキュメント →	<ul> <li>◆ </li> <li>◆ </li></ul>
🍓 整理 👻 🎬 表示 👻 📑 新しいフォルダ	0
お気に入りリンク	名前 更新日時 » ^
■ ドキュメント	I TEST1
🗐 最近表示した場所	I TEST2
詳細 >>	🐌 TEST3
	\mu Ulead DVD MovieWriter
フォルダ	\mu Ulead DVD MovieWriter 5
■ ドキュメント ^	\mu Updater5
Flex Builder 3	📔 Virtual Machines 😑
My Virtual Machines	\mu Visual Studio 2005
Nero Home	Visual Studio 2008
MeroVision	見積もり P D F
U ORG	🐙 twisemap.spm
TEST1	TWSNMPMAP.spm
▼ TEST? ファイル名( <u>N</u> ):	TWSNMP ファイル (*spm) 間((0) キャンセル

開くと、次のような画面が表示されます。

<MAP ファイル読み込み後の画面例>



# [新規作成]

メニューから「ファイル」-「新規作成」を実行します。 開いている MAP は閉じます。 既に、MAP に変更を加えていた場合、保存を確認するメッセージが表示されます。

# [自動発見の方法]

TWSNMP は、起動時、および新規作成時にノードが何も登録されていない状態になっていま す。この状態の場合、次の図のように、空白の MAP が表示されます。

<空の MAP>

🕊 無題 - TW	SNMP		A 41			N			357	- A	71	471	2	1,84		
ファイル( <u>E</u> )	編集( <u>E</u> )	設定( <u>S</u> )	管理ツール(エ	) SNMP	諲浬(凶)	ログ管理(2)	接続ツール(№)	監視制	御( <u>C</u> ) 表示	⊼( <u>V)</u> ∧	ルプ( <u>H</u> )					
D 🖻		Ŵ X		e M	l.	<u>8</u> –		$\times$		<u>R</u>	F	<u>^ </u>	le ?			
X MAP ・ マトド マトド マトド マロト S マロト マロト マロト マロト マロト マロト マロト マロト	<ul> <li>利式販売</li> <li>ト</li> </ul>	◆ IP														
				状態	発生日時	種別	関連ノード	イベ	ント							
ヘルプを表示すネ	るには [F1]	]を押して	ください。												正常	-0 異常-0

この状態では、TWSNMPによる管理はできません。まず、管理対象のノードをTWSNMPに 登録する必要があります。ノードを登録するには、手動と自動の二つの方法があります。手動は、 ネットワークに接続されていない状態で登録を行うなどの特別な場合にのみ使用します。通常は、 自動発見で登録します。

- (1) メニューの「管理ツール」-「自動発見」、ツールバーの<自動発見>、MAP上を右ク リックメニューの「自動発見」をクリックします。
   ※MAP上の右クリックから開始した場合、最初のノードはその位置から開始します。
- (2) 自動発見のダイアログが表示されます。
- (3) 既存の範囲を検索する場合は、リストから選択します。
- (4) IP アドレスの範囲で検索する場合は、[アドレス範囲指定]を選択して入力します。
- (5) [SNMPモード]から SNMP のバージョンを選択します。
- (6) 検索時に使用する [Community 名] を設定します。この値は管理対象の機器に設定した ものと同じにする必要があります。

- (7) SNMPv3 で検索する場合、[Password]を設定します。
- (8) [WAN] と [LAN] の設定は、検索時のポーリングパケットの送信間隔とタイムアウト時間、リトライ回数を調整します。[WAN] は、時間をかけてじっくり検索します。WAN回線で接続されたネットワークでは、こちらを選択してください。LAN 回線では、速度重視でも問題はありません。検索が速く行えます。
- (9) [名前の解決にDNSを使う。]にチェックした場合、SNMPに対応していない装置やSNMP に対応していても、sysName が設定されていない装置の名前を、ドメインネームシステ ムを使って取得します。この設定を使うと検索時間は長くなります。
- (10) <開始>をクリックすると、検索を開始します。
- (11)実行中は、状況などのバーが変化し、[推定検索時間]のとなりに、残り時間が表示され ます。<停止>をクリックすると途中で止めることができます。 PING、SNMPの取得、DNSの名前検索のすべてが完了すると、検索完了としてカウン トします。発見されたノード数が多く、DNSの検索がWindows環境の方法を使用する場 合、検索には非常に時間がかかります。
- (12) 終了後<閉じる>をクリックします。

<	自	動発	見>	
---	---	----	----	--

自動発見	-				
○ ファイルから検 ◎ アドレス範囲1	索 	WAN LAN			開始
開始アドレス	192.168.1.1	終了アドレス 192.168.1.254	☑ 名前の創	解決(JDNSを使う。	
SNMPE-K S	NMPv1	▼ IFテーブルを確認 (	アドレスが設定され	∩たI/Fを軽度で監視	ৰ্বক。 ▼
Community/User	public	Password	•••••		
状況				0/2	54
発見割合				0/2	54
SNMP				0/0	
IFテーブル				0/0	
IP7ドレス	小浴	sysObjectID	sysName	sysContact	sysLoca
•	1	11			Þ

自動登録された装置は、装置種別の設定情報に基づき、アイコンの自動設定や監視項目の設定 を行い、監視ポーリングを開始します。また、装置名称や設置場所を SNMP により取得して、装 置一覧や MAP ウィンドウ上にアイコンを登録します。自動発見されたノードは、MAP 上部から 順番に登録されます。

自動検索時に IP アドレスが不明な I/F は、「0.0.0.0」に変更し、順番も修正されます。

<自動発見完了画面>

<発見後の画面例>

	系		LAN			開始
		WAN	LAN			
◎ アドレス範囲掛	li 定	10244经過 2	54/254宗77	ちとつ利い		1903
開始アドレス	192.168.1.1	終了アドレス	192.168.1.2	154 🕡	名前の解決に	NSを使う。
SNMPT-K S	SNMPv1		▼ IFテーブル	を確認		
	u della		Password			
upp	Jublic		T dashiord			254/254
1Ајд.						23 1/23 1
発見割合						22/254
SNMP						4/22
IFテーブル						4/4
p7k%.7	たドタ	sysObjectID	sysName	sysContact	sysl ocation	ifTable
0 192, 168, 1, 253	7140	sysobjecub	systeme	sysconder	Systocation	in robic
0 192.168.1.250						
9 192.168.1.236		twProbe	twprobe	Unknown	Unknown	ifType.1=INTEC
192.168.1.202	yamai-QC					
0 192.168.1.201	TWMAIN					
192.168.1.128		enterprises. 1602.4.7				ifType.1=INTEC
0 192.168.1.119	YAMAIDB					
0 192.168.1.118						
0 192.168.1.115						
U 192.168.1.114						
U 192.168.1.113						
U 192.168.1.111	NAOE-VAIO					
U 192.168.1.70						
( III						
WONNE	HA(I) SNMPHER(H				B. 1	
4 AA(1) AT(2) HI 4 AA(2) AA(2) HI 4 AA(2) AA(2) HI 4 AA(2) HI	192		-QC THMADIG.1	86.1.128 AMAID 192.1 66.1.66 b=39 192.1	66.1.192.166.1.19. 66.1.192.166.1.9 ye	51.114 55.134

監視中は、ウィンドウを最小化すると、タスクトレイに格納します。タスクトレイの TWSNMP アイコンにカーソルを合わせると、ファイル名やノード状態の概略をポップアップ表示します。

<タスクトレイ表示例>

TWSNMP-TWSNMP2.spm 正常=2 異常=4
🖥 🕵 🖾 😰 🌓 🖗 15:01

### [バックグランドでノードを検索する]

バックグランドで新しいノードを検索・登録することができます。 「管理ツール」-「ノード検索」をクリックします。以下のダイアログが表示されます。

ヽノ 「仮示/
---------

ノード検索	<b>B B</b>	18 I	x
開始アドレス			設定
終了アドレス			取消
SNMPで取得	したIP-MACアドレス情報	報から新規ノード登	診録を行う。

- (1) [開始アドレス]と [終了アドレス] に、検索する IP アドレスの範囲を入力します。
- (2) <設定>をクリックします。バックグランドで新しいノードを検索し、新しいノードが合った場合には自動的に登録して監視します。

発見したノードは、MAPの上部に、?マークのアイコンで追加されます。ホスト名などの解決 は行いませんので、気づいたら自動発見を行ってください。名前解決して、別のノードとして登録します。

また、ARP テーブルを監視して、IP アドレスと MAC アドレスの対応関係を記録することができます。バックグランドの自動発見と併用すると、未知ノードの発見ができます。PING に応答しなくても ARP に応答するノードを発見できます。

"SNMP で取得した I P-MACアドレス情報から新規ノード登録を行う。"にチェックする と SNMP のポーリングで別のノードの ARP テーブル情報、RMON のアドレスマップ情報を利用 して、新規ノードを登録するものです。TwProbe などの機器を利用して持ち込み PCの発見など に利用できます。

# [ノード状態を確認する]

TWSNMP に登録されて、監視ポーリングを行っている装置の状態は、装置一覧または配置マップ上のリストやアイコンの色で表現します。状態と色の関係を以下の表に示します。

アイコン	表示色	状態
	赤	重度障害
	ピンク	軽度警報
	青	復帰
$\bigcirc$	水色	<b>TRAP,syslog</b> 受信時が 重度または軽度のイベント
$\bigcirc$	黄色	確認済
	緑	正常
$\bigcirc$	灰色	不明
$\bigcirc$	白	非監視

#### 1. MAP ウィンドウ

設置場所に登録されている装置の障害が発生した場合、アイコンの色が変化します。MAP ウィンドウのアイコンの色は軽度障害を示しています。

<MAP ウィンドウの状態表示の例>

			1000	- 八(1)) - 監視期	即(C) 表示(A) ヘルブ(H)	
	8 8 4	A D - 25	19			
C						
₩ MAR         0.053         0.054           ● 8788         ●         8788           ● 8788         ●         8788           ● 8788         ●         8788           ● 8788         ■         8788           ● 8788         ■         8788           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■           ● 8788         ■         ■ </th <th></th> <th>192 166.1.1 NACE-</th> <th>1.1.25(Cwp</th> <th>probe yamar () 561.702.166.1</th> <th>C TWANTING ING 128 AVAID 102 106 1 102 106 1 105 106 1 114 C TWANTING ING 106 1 105 106 1 114</th> <th></th>		192 166.1.1 NACE-	1.1.25(Cwp	probe yamar () 561.702.166.1	C TWANTING ING 128 AVAID 102 106 1 102 106 1 105 106 1 114 C TWANTING ING 106 1 105 106 1 114	
		LANHOG 192.14	8.1.1			
	0.00	R18#	11	疑慮ノード	4705	
	0.78 • 746	LANHOG 192.14 LANHOG 192.14 00/05/25 18:03:26	8.1.1 (11) (11) (11) (11) (11)	<b>壁道</b> ノード 192.168	イベント OFF64[0=02065410]を192 196 1 116(00-00-45-08-68-19 <sup>3</sup> )-過信	
	(7.版 〇 月紀 〇 月紀	EANHOG 192.14	#11 8-11 0HCP DHCP DHCP	間違ノード 192.168 0.0.0.0	イベント OFFER(ID=020EA41)を192 156.1 116(00-00-45-CB-08-19)へ成成 DISCOMRUD=020EA40)を20-01-45-CB-08-19/へ反成	
	(7.5) 6 1142 7 1141 6 1142	RED# 00/95/25 18:01/26 00/95/26 18:01/26 00/95/26 18:02:25	#11 #19 DHCP DHCP DHCP	<b>壁道</b> ノード 192.168 0.0.0.0 192.168	イベント OFFR(ID=020E6410)を102.188.1116(00-00-45-05-88-17)へ返信 DESCOVERD=20E8430)を20-04-5-06-174-20年 DESCOVERD=20E8479(513.186.1116(00-04-54-56-17)-24世	
	77.55 © 78.65 © 78.65 © 78.65 © 78.65	REEH 00/05/25 18:02:25 00/05/25 18:02:25 00/05/26 18:02:25 00/05/26 18:02:25	4.1.1 41.1 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP	間違ノード 192.168 0.0.0.0 192.168 0.0.0.0	イベント OFFEQUID=020E6A10(5192.158.1.116(00:00:45-C8-08-19)へ通信 DESCOMPLID=020E6A10(5192.158.1.116(00:00:45-C8-08-19)へ通信 DESCOMPLID=020E5379(5193.158.1.116(00:00:45-C8-08-19)へ通信 DESCOMPLID=020E5379(50:00:45-C8-19)か会信	
	755 0 742 0 742 0 742 0 742 0 743	REEH CANHOG 192.14 00/05/25 18-03:25 00/05/26 18-03:25 00/05/26 18-02:55 00/05/26 18-02:55 00/05/26 18-02:55	111 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP	壁道ノード 192168 0.0.00 192168 0.0.00 192166	イベント OFFR(Do-1020E541)を102.188.1116(00-00-45-05-88-17)へ返信 DISCOVER(Do-2020E541)を102.064-05-05-05-17)へ返信 DISCOVER(Do-2020E379)を103.48.1116(00-45-05-87-17)-20逆 DISCOVER(Do-2020E379)を13.18.1115(00-45-05-67-87-17)-20逆	
	(73) 0 744 0 744 0 744 0 744 0 744 0 744	REEM CANAGE 192.10 04/05/26 18:03:26 04/05/26 18:03:26 04/05/26 18:02:35 04/05/26 18:02:35 04/05/26 18:02:39 04/05/26 18:02:39	111 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP	間違ノード 192168 0.0.0 192168 0.0.0 192168 0.0.0 192168 0.0.0	イベント OFFE0(ID=020EA10)を192 158.1 115(00-00-45-C8-08-17)へ成成 DESCOVER[JD=020EA10)を192 158.1 116(00-08-5-C8-08-17)へ成成 DESCOVER[JD=020E379]を193 158.1 115(00-08-5-C8-08-17)へ成成 DESCOVER[JD=020E379]を00-08-5-C8-08-17)へ成成 DESCOVER[JD=020E379]を00-08-5-C8-08-17)へ成成 DESCOVER[JD=020E379]を00-08-5-C8-08-17)へ成成 DESCOVER[JD=020E379]を00-08-5-C8-08-17)へ成成	
	(73) 0 748 0 748 0 748 0 748 0 748 0 748 0 748	REEM LANACOG 192.14 00/55/26 16:02:16 00/55/26 16:02:16 00/55/26 16:02:26 00/55/26 16:02:26 00/55/26 16:02:29 00/55/26 16:02:20	#11 DHCP DHCP DHCP DHCP DHCP DHCP DHCP	間違ノード 192168 0.0.0. 192168 0.0.0. 192168 0.0.0. 192168	イベント OFFR(ID=005543)を193 148 1116(00:00-55-01-88-07)-過度 EISCOVER(ID=0205837)を193 148 1116(00:00-55-01-88-07)-過度 EISCOVER(ID=0205837)を193 148 1116(00:00-55-01-87)-分置 EISCOVER(ID=0205837)を193 148 1116(00:00-55-01-87)-分置 EISCOVER(ID=0205875)を133 148 1116(00:00-53-01-87)-分置 EISCOVER(ID=0205875)を133 148 1116(00:00-53-01-87)-分置	
	73 0 5 8 0 5 8 10 10 0 5 8 10 10 0 5 8 10 10 0 5 8 10 10 0 5 8 10 0 10 10 10 0 10 100000000000000000	REEH CANHOG 192.10 00,955/26 14:0.215 00,955/26 14:0.215 00,955/26 14:0.215 00,955/26 14:0.215 00,955/26 14:0.215 00,955/26 14:0.215 00,955/26 14:0.215	#11 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP 0HCP	関連ノード 192.168 0.0.0.0 192.168 0.0.0.0 192.168 0.0.0.0 192.168 0.0.0.0	イベント OFFE0(ID=020EA41)を192.184.115(00-00-45-C8-18-17)へ成成 DESCOVER[ID=020EA51)を100-01-5-C6-18-17)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-18-17)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-18-17)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-18-17)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37]を103.184.114(00-08-5-C8-19)へ成成 DESCOVER[ID=020E37] DESCOVER[ID=020	

MAP ウィンドウのアイコンにカーソルを当てると、ポップアップが表示され、IP アドレス、 MAC アドレス、通知(TRAP、syslog)の有無を確認できます。

<ポップアップ表示例>

 IP=192.168.0.236
MAC=44:4D:50:E1:3A:C3
通知=0

#### 2. ツリービュー

ツリービューの[状態]タグを選択すると、障害ごとにアイコンが表示されます。

<状態確認表示例>



復帰したノードは、「ノード現在状態」ダイアログの[ノード情報]欄から<確認>をクリック すると、アイコンが青表示から、正常を示す緑表示になります。(<u>[ノード現在状態]</u>参照) 自動的に正常表示に戻すには、「ノードプロパティ」ダイアログから[ポーリング設定]欄の「復 帰時に自動確認」にチェックをつけます。(<u>[ノードプロパティ(一般設定)]</u>参照)

# [ノードの状態を確認する]

現在発生している障害詳細を確認するには、障害が発生しているアイコンを選択します。右ク リックのメニューから「状態表示」をクリックするか、MAP ウィンドウのメニューから「監視制 御」 – 「確認」をクリックするか、ツールバーの<確認>をクリックします。次の画面が表示さ れます。

<詳細確認表示例>

ノー1、1月4回										更新
ノード	tw3g		₽7ドL	ス 192.	, 192.168.1.26 MACアドレス 00:0A:79:51:66:6A					プロパテ
管理担当	root@				設置場	所 Unknown			WakeOnL	
•	現在の状態 監視対象と 監視対象の ケーブルが招 監視対象へ	現在の状態:軽度障害 蓄視対義とのPLバルでの通信は可能です。 蓄視対象へシークースで入陸者が終ります。 ケーブルが接続されていないが、接続先の回線、接続機器障害が考えられま 監視対象へのポーリングに問題はありません。						• •		閉じる
確認内容						-	確認			
インターフェ	12									
状態	監視し	N'IL	インデックス	IP7h	ʹレス		回数	稼働率	確認時刻	OFF
●正常	LOW		ifOperStatus.	1 127.	0.0.1:softwa	reLoopback(24)	11	100.00%	16:03:53	क
● 軽度	障害 LOW		ifOperStatus.	2 0.0.0	.0:ethernet-	csmacd(6)	11	0.00%	16:03:53	変更
● 正常	LOW		ifOperStatus.	3 192.	168.1.26:eth	ernet-csmacd(6	) 11	100.00%	16:03:53	
◎ 不明	LOW		ifOperStatus.	4 0.0.0	.0:ethernet-	csmacd(6)	11	0.00%	16:03:53	
0 700	LOIM		Charles .	- 000	1000		11	0.00%	16:03:5	
● 1 • 9月	LOW		noperstatus.	5 0.0.0	0.0:131		11	0.00 /0	10100101	
	LOW		iroperstatus.	5 0.0.0	).0:131 ///		11	0.00 /0		
	LOW		noperstatus.	5 0.0.0	.0:131 ///		11	6.66 %		
● 不明 ▲			ioperstatus.	5 0.0.0	.0:131 			6.00%		
し イ・9月 ボーリング球 状態	目監視レヘル	監視項	(B	- 回数	1.0:131 加 稼働率	確認時刻		↓ ↓ 最終値	ログ保存数	LOG表示
<ul> <li>□ 不明</li> <li>ボーリング項</li> <li>状態</li> <li>● 正常</li> </ul>	EOW 配目 監視レヘル LOW	監視項 IPレベリ	i目 V動作監視	3 0.0.0 回数 12	0.0:131 /// 旅働率 100.00%	確認時刻 16:04:43	TI 平均応答時間 2ms	0.00 A 最終値 0.0030	0/2/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/	LOG表示 LOG消去
● 不明 ボーリング功 状態 ● 正常	EUW 種目 監視レヘル LOW	監視項 IPレベリ	iel ル動作監視	3 0.0.0 回数 12	100.131 加 稼働率 100.00%	確認時刻 16:04:43	TI 平均応答時間 2ms	0.00% 最終値 0.0030	ログ保存数 0	LOG表示 LOG消費 LOG保存
■ 1×9月 ボーリング項 状態 ● 正常	EUW 種目 監視レヘル LOW	監視項 IPレベ)	TELE	回数 12	100.00%	確認時刻 16:04:43	11 平均応答時間 2ms	し、00 / 18 最終値 0.0030	0000000000000000000000000000000000000	LOG表示 LOG消費 LOG保存 OFF
<ul> <li>■ 不明</li> <li>ボーリング項</li> <li>状態</li> <li>● 正常</li> </ul>	EGW 転視レヘル LOW	監視項 IPレベリ	TEE レ動作監視	回数 12	/0:131 /// 稼働率 100.00%	確認時刻 16:04:43	11 平均応答時間 2ms	 最終値 0.0030	0000000000000000000000000000000000000	LOG表行 LOG消費 LOG保存 OFF 変更
<ul> <li>● 10月</li> <li>ポーリング項</li> <li>状態</li> <li>● 正常</li> <li></li> </ul>	EGW 転視レヘル LOW	監視項 IPレベリ	τ目 ↓動作監視	回数 12	,0:131 Ⅲ 稼働率 100.00%	確認時刻 16:04:43	11 平均応答時間 2ms	し、00 /0 最終値 0.0030	ログ保存数 0	LOG表示 LOG消去 LOG保杯 OFF 変更
<ul> <li>● 1/0月</li> <li>ボーリング項</li> <li>材状態</li> <li>● 正常</li> <li></li> <li></li></ul>	EUW 種目 監視レヘル LOW	監視項	IE ↓動作監視	回数 12	10:131 加 物件 100.00%	確認時刻] 16:04:43	11 平均応答時間 2ms	し、50 % 最終値 0.0030	ログ(保存数 0 ・	LOG表示 LOG消費 LOG(保不 <b>OFF</b> 変更
<ul> <li>● 1×9月</li> <li>ボーリングボ</li> <li>ボボ線</li> <li>● 正常</li> <li>■ 調連ログ</li> <li>状態</li> </ul>	EUW 種目 監視レ <sup>ヘル</sup> LOW 発生日時	監視項 IPレベ)	但目 L動作監視 種別	回数 12 イベント	10:131 第 常働平 100.00%	確認時刻 16:04:43	TT 平均応答時間 2ms	↓ 100 % ↓	ログ保存数 0	LOG表行 LOG消封 LOG保杯 OFF 変更
<ul> <li></li> <li></li> <li>ボーリング項 状態</li> <li>正常</li> <li></li> <li></li></ul> <li></li> <li><td>1000 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日</td><td>監視項 IPレベ) 5:53:43</td><td>TELL LA L</td><td>回数 12 イベント IPレベノ</td><td>10:131</td><td>確[[28寺刻] 16:04:43 正常</td><td>TI 平均応答時間 2ms</td><td>↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓</td><td>ログ保存数 0</td><td>LOG表行 LOG消差 LOG保杯 OFF 変更</td></li>	1000 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日	監視項 IPレベ) 5:53:43	TELL LA L	回数 12 イベント IPレベノ	10:131	確[[28寺刻] 16:04:43 正常	TI 平均応答時間 2ms	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ログ保存数 0	LOG表行 LOG消差 LOG保杯 OFF 変更
<ul> <li>&lt; → ○ □ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □</li></ul>	EUW 電目 監視レヘジル LOW 発生日時 08/05/26 1: 08/05/26 1:	監視項 IPレベ) 5:53:43 5:53:43	TELE し 動作監視 監視 監視	回数 12 イベント IPレベリ I/F(ifo)	10:131 第個平 100.00% 	確認時刻 16:04:43 正常 正常 接続先:	平均応答時間 2ms	していた。 最終値 0.0030	ログ保存数 0 ・	LOG表示 LOG消費 LOG/保不 OFF 変更
<ul> <li></li> <li></li></ul>	電目 監視レヘッル LOW 発生日時 08/05/26 1: 08/05/26 1: 08/05/26 1:	監視項 IPレベ) 5:53:43 5:53:43 5:53:43	10 日本 10 日 10	回数 12 イベント IPレベリ I/F(ifO) I/F(ifO)	10:131	確認時刻 16:04:43 正常 正常 接続先: 輕疑障害 接続	平均応答時間 2ms 読:	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ロジ(呆存鼓 0 ・	LOG表示 LOG消費 LOG/保不 OFF 変更
<ul> <li></li> <li></li></ul>	EUW 監視レヘル LOW	監視項 IPレベリ 5:53:43 5:53:43 5:53:43 5:53:43	(目) (目) (動)作監視, (重)) (監視,) 監視,) 監視,) 監視,)	回数 12 イベント IPレベリ I/F(ifO) I/F(ifO) I/F(ifO)	10:131	確認時刻 16:04:43 正常 接続先: 正常 接続先: -正常 接続先:	平均応答時間 2ms	最終値 0.0030	ログ(呆存載 0	LOG表行 LOG消去 LOG保存 OFF 変更
<ul> <li></li> <li></li> <li>ボーリング項 状態         ● 正常</li></ul>	転換レベル LOW 発生日時 の8/05/25 12 の8/05/25 12 の8/05/25 12 の8/05/25 12 の8/05/25 12 の8/05/25 12	監視項 IPレベ) 5:53:43 5:53:43 5:53:43 5:53:43 5:53:43	10 日 10 日	回数 12 イベント IPレバリ I/F(if0) I/F(if0) ノード认	10:131	確[20時紀] 16:04:43 正常 接続先: 配定障害 接続 元 常 接続先: 見)	平均応答時間 2ms	最終値 0.0030	ログ保存数 0 ・	LOG表行 LOG消差 LOGI保行 <b>OFF</b> 変更
<ul> <li></li> <li></li></ul>	転視レベル LOW 発生日時 08/05/26 11 08/05/26 11 08/05/26 11	監視項 IPレベ) 5:53:43 5:53:43 5:53:43 5:53:43	1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	回数 12 イベント リアレベリ リド(fo) リード)	10:131	確123中気  16:04:43 正常 接続先: 	平均応答時間 2ms 続:	し、50 A	ログ(呆存数 0 ・	LOG表示 LOG消費 LOG保存 OFF 変更

# [ログを確認する]

装置に発生した障害はログリストで確認することができます。

ログリストはヘッダの項目をクリックすることにより昇順または降順に並べ替えて確認するこ とができます。

<ログリスト>



ログの項目の詳細を確認するには、対象となるログの項目をダブルクリックするか、またはロ グの項目を選択して、MAP ウィンドウのメニューから「ログ管理」-「ログ詳細」をクリックし ます。以下のダイアログが表示されます。

<イベントログ詳細>

イベントログ	I羊細		100×1	×
発生日時 状態	2009/03/22 14:54:45 軽度	基準イベントとのき 種別	É 監視	前のイベント 次のイベント
関連ノード	192.168.1.232	関連ノードIP	192.168.1.232	加速和基款
イベント内容	📄 前後のイベント検索は、F	司じ関連ノードについて行	ð.	閉じる
Th Provident	F 加加 6 見 一 明正 3 足 1 足 一 古 1			*
4				~ F

<前のイベント><次のイベント>をクリックすると、前後のログ情報を表示します。

# [ノード属性を変更する]

TWSNMPで管理するノードの設定は、次のように変更することができます。 MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。表示されたダイアログの<一般設定>TAB を選択します。

<ノードプロパティ例>

2 I 14411				
ノード名 🔤	.inux開発機	עברק 🗖		
<b>₽</b> 7ドレス [1	92.168.1.26	変更		
мас <b>р</b> кид (	J0:0A:79:51:66:6A	パネル C1000.VPN	•	
NICメーカ o	orega K.K.	グラフ Port.trf	•	
アドレスモード I	P固定 🗸			
管理情報				
管理担当者	root@	再取得		
設置場所	Unknown			
	linux			
sysObjectID	Inux	子首		
関連URL				
ポーリング設定				
The second	▼ 秒 タイムアウト	▼ 秒 りトライ	•	
ポーリング周期				
ポーリング周期 SNMPモード	SNMPv1	▼ SNMPポート 161	<b>•</b>	
ポーリング周期 SNMPモード Community/Use	SNMPv1	▼ SNMPポート 161	_ <b>_</b> ]	
ポーリング周期 SNMPモード	SNMPv1	▼ SNMPポート 161	•	

項目	内容
ノード名	MAP ウィンドウで表示する装置の名称を設定します。デフォルトでは、
	SNMP で取得した値、DNS で取得した値、IP アドレスのいずれかが設定
	されています。
アイコン	<変更>によって、MAP ウィンドウ、ツリービューで表示するアイコン
	を変更することができます。
IPアドレス	監視対象装置を変更することができます。
MACアドレス	対象ノードの MAC アドレスが表示されます。
NIC メーカ	MAC アドレスから判断した NIC のメーカを表示します。
アドレスモード	ノードのIPアドレスについて以下のモードを設定します。
	I P固定: I Pアドレスは設定したアドレスで固定です。
	MAC固定:MACアドレスを基準として、IPアドレスを変更します。
	DHCP環境などで使用します。
	ホスト名固定:ホスト名を基準としてDNSでIPアドレスを変更します。
	DDNSでIPアドレスが変わる場合などに使用します。
パネル	パネル画面の表示形式を選択します。
グラフ	グラフ画面の表示形式を選択します。

### [監視基本パラメータを変更する]

TWSNMP では、次の監視ポーリングの基本パラメータを変更することができます。

項目	内容
ポーリング間隔(秒)	ポーリングの実施周期
リトライ回数(回)	再試行の回数(0は1回のみポーリングを実施)
タイムアウト値(秒)	タイムアウト時間
SNMP モード	SNMP のバージョン
Community/User	Community 名
Password	SNMPv3 使用時の Password

これらのパラメータは、次の優先順位で決定されます。

1. ノード単位

2. MAP

1のノード単位の設定がデフォルト値または空白の場合、2の MAP の設定がチェックされます。

#### 1. MAP ウィンドウ

MAP 全体の設定は、MAP ウィンドウの空白部分を右クリックします。表示されたメニューの「MAP プロパティ」または MAP ウィンドウのメニューから「編集」-「MAP プロパティ」を 選択しダイアログを表示します。ここで、<MAP 一般設定>の TAB をクリックします。

<MAP 一般設定ダイアログ>

MAPJD/77
MAP一般設定   MAP省景設定   MAPログ&通知設定
デフォルド値 SNMPv3情報 EngID=0x80001F8880B71 B0000B547B249(EID-8072 Type(128) B71 B0000B547B249)Boots=211 Time=9
SNMPE-K SNMPv1 ▼ Community Public Password ******
モニ対設定
- sysloe設定 sysloeポート 「514 - 「 sysloeの障害で通知する。 sysloeログレベル 注意以上 -
DHCPMACアドレスモニタ設定
TRAPボート 受信しない J I SNMPv3の記録エラーTRAPは無視する。
- BEEP設定 ○ 重度障害の時だけならす。 60 ▼ 秒間隔でならす。
○ 軽振想書 でもならす。 音色 ○ 附にならさない。 CHIMES.WAV ▼ TEST
稼働率変化時コマンド実行設定
実行コマンド ※\$MAPSTATをMAPの状態値に、\$OPRATEを稼働率に変換します。
OK **>/2/

[デフォルト値]の目的のパラメータを変更します。。 [ポーリング間隔][タイムアウト][リトライ]は、直接数値を入力することも可能です。

### 2. ノード単位

MAP ウィンドウで、対象の装置を選択し右クリックします。表示されたメニューの「プロパティ」を選択しダイアログを表示します。次に<一般設定>の TAB をクリックします。

<一般設定ダイアログ>

-ノード属性						
ノード名	Linux開発機	アイコン				
₽₽ドレス	192.168.1.26			変更		
МАСアドレス	00:0A:79:51:66:6A	パネル	C1000.VPN	•		
NICメーカ	corega K.K.	グラフ	Port.trf	•		
アドレスモード	IP固定 🗸					
管理情報						
管理担当者	root@		再取得	1		
設要提所	Unknown			-		
axter-m///						
sysObjectID	linux		字習			
関連URL						
ポーリング周期	▼ 秒 タイムアウト		秒 リトライ		]	
SNMPモード	SNMPv1	•	SNMPポート	161 👻		
Community/Us	er public					
Password	•••••					
同就業時間のみ	ポーいが 同就業時間	们み通知	(割) 御時	に自動確認		

ここで、「ポーリング設定」の目的のパラメータを設定します。

# [MAPウィンドウの背景を変える]

MAP ウィンドウの背景には、ビットマップ画像を表示することができます。その手順を以下に示します。

MAP ウィンドウで空白部分を右クリックします。表示されたメニューの「MAP プロパティ」 または、「編集」-「MAP プロパティ」を選択しダイアログを表示します。次に<MAP 背景設定 >の TAB をクリックします。

<MAP 背景設定ダイアログ>

МА Р プロパティ
MAP一般設定 MAP指果設定 MAPD/% 通知設定
指景色 255,248,153 <b>自動</b> 倍率
皆景ファイル 日本bmp → 等倍 10倍 10倍
{
and at
<u> </u>

- (1) [背景ファイル名]を選択します。
- (2) [倍率]で、背景の画像の表示倍率を設定します。
- (3) [背景色]をRGB値で設定すると画像の周辺を設定した色にします。<自動>ボタンで、背景画像の(0,0)の点の色を選択します。
- (4) <**O**K>をクリックします。

### [ラインを作成、削除する]

MAP ウィンドウでは、ノード間の接続を示すラインを書くことができます。

#### 1. ラインの作成

ラインを作成するのは、MAP上でラインを作成したいノードを1つ選択します。 右クリックメニューから「ライン」―「接続」を選択します。ツールバーからも選択できます。 次のラインの接続場所の IF を選択するダイアログが表示されます。

<ライン設定ダイアログ>

イン表示 太さ	設定 デフォ	·ルト	•		
線種	実線		•		<u>4X)</u>
鏡先一					
ノード	PC1				
状態	監視レベル	インデックス。	IP7ドレス	種別	接続先
● 正常	LOW	ANY	192.168.0.3	I/F不明の接続先	

ここで、ラインの太さと線種、ラインの状態を決める IF を選択します。ノード自体を選択する と、ノードそのものの状態が、ラインの状態として表示されます。選択を行うと、マウスカーソ ルが+に変わります。ラインのもう一方の接続先のアイコンをクリックすると、相手がノードの 場合は、最初と同様に IF 選択のダイアログが表示されます。接続点の場合はラインが接続されま す。

注意:同じアイコン(ノード、接続点)間には、1本しかラインは接続できません。 複数のラインをノード間に作成したい場合は、接続点を経由して作成してください。 ラインの種類を変更するためには、ラインを再度接続してください。 <ライン接続例>



#### 2. ラインの削除

ラインの削除は、MAP ウィンドウで削除対象とするノードを選択します。 右クリックメニューの「ライン」―「切断」を選択します。ツールバーからも選択できます。 マウスカーソルが+に変わりますので、もう一方のアイコンをクリックするとラインが削除され ます。

#### 3. 線幅の変更

ラインのデフォルトの線幅は、「システム設定」ダイアログで設定します。MAP ウィンドウの メニューより「設定」-「システム設定」をクリックします。

<システム設定ダイアログ>

システム設定
MAP表示     ラインサイズ 1     マ 最小化ビ時は、タスクトレーに隠す。     1       □ ノードを削除する時に確認する。     取消     取消
-ポーリングログ設定 ポーリングログ制限値 1分単位で31日分 🔽 🔽 念のため毎晩ログを保存する。
コマンド設定
TELNET "C:¥Program Files (x86)¥teraterm¥ttermpro.exe" \$IP <<<
FTP <<
拡張1
<
拡張2
※SIPは、IPアドレスに、SNODEは、ノードをに、SMACは、MACアドレスに変換します。 SWAITを指定した場合、実行確認を行います。

「ラインサイズ」欄で、線幅を指定し<設定>をクリックすると、線幅が変更されます。MAP 毎の変更はできません。

### [障害発生時に通知を行う]

TWSNMPは、MAPまたはノード単位で障害を検知したことを、電子メールを使って通知する 機能を持っています。通知機能を使うための手順を以下に示します。

### 1. MAP ウィンドウ

MAP ウィンドウで空白部分を右クリックします。表示されたメニューの「MAP プロパティ」 または、「編集」-「MAP プロパティ」を選択しダイアログを表示します。次に<MAP ログ&通 知設定>の TAB をクリックします。通知の基本的な設定として、次の項目を設定します。

<MAP ログ&通知設定ダイアログ>

Pプロパテ-	ſ								[			
AP一般設定	MAP背景設	定 MAPログ&	通知設定									
ーログとレポート	の設定―――											
表示件数	50000	▼ 件										
定期レポー 送信先	root@twis	root@twise.co.jp.ymi@twise.co.jp 添付ログ 試験送信										
定期レポー 保存先	h D:¥testvr	D.¥testvm¥ 《 保存ログ [										
Windows イベントログ	出力しな(	,) <del>•</del>	7ォーマット									
電子メール影	定											
メールサーバ	Ϋ́ mail.twise	.co.jp:587		差し出し人	ymi@tv	vise.co.jp						
認証モード	CRAM-MI	05	▼ ユーザ名	ymi@twise.co.	P	パスワード	••••	•••••				
TRAP設定一												
監視レベル	TRAP識別子	アクション種別	アウション定義		TRAP検索	索文字列			新規			
😑 LOW	linkDown	MAIL	ymi@twise.co.	jptestdassdasa	*ifIndex¥	1.*			編集			
									削除			
通知設定												
監視レヘル	アクション種別	アウション定義			LOG検	索文字列			新規			
🛑 LOG	MAIL	ymi@twise.co	.jpTWSNMP通知	I \$NODE \$EVEN	T .*SNMI	₽∨3記記証.*			編集			
									削除			
								OK	- キャンセル			

ここで[電子メール設定]、[TRAP 設定]、[通知設定]の設定を行います。[TRAP 設定]または[通 知設定]の設定は、<新規>をクリックするか、それぞれのリスト上で右クリックし、表示された メニューの「追加」をクリックすることにより表示されるダイアログで行います。 次に表示されるダイアログについて説明します。

### (a). TRAP 設定

以下の項目を設定して<設定>をクリックします。

<TRAP の設定ダイアログ>

TRAPの設定	X
監視レベル LOW V	設定
TRAPの種類(snmpTrapOID)	取消
linkDown 💌 <<	
TRAP情報判定(正規表現による判定)	
.*ifIndex¥.1.*	
アクション種別 MAIL ・	
電子メール宛先/実行コマンド	
ymi@twise.co.jp	<<
タイトル	
test	
本文	
dassdasa	

項目	内容
監視レベル	この設定で指定した TRAP を受信した場合のログに記録する障害レベルを
	選択します。OFFに設定すると、該当する TRAP は除外します。判断は、
	リストの先頭から行いますので、ANY の前に、除外したい TRAP 条件を
	設定して監視レベルを OFF にすれば、該当する TRAP は除外されます。
TRAPの種別	TRAP 識別子を選択します。
(snmpTrapOID)	
TRAP情報判定	正規表現でTRAP情報の文字列の判断を行い。一致する場合に
	アクションを行います。文字列の判断は正規表現によるマッチングです。
<<<>>	MIB ツリーのダイアログを表示します。そこで選択したオブジェクトが
	snmpTrapOID のリストに追加されます。
アクション	メール送信かプログラムの実行かを選択します。
電子メール宛先/	メールの場合、送信先のメールアドレス、プログラム実行の場合は、
実行コマンド	notepad.exe などのコマンドを入力します。
タイトル	メールの場合、タイトル(Subject)を入力します。
本文	メールの場合、本文の内容を入力します。

### (b). 通知設定

以下の項目を設定して<設定>をクリックします。

<通知の設定ダイアログ>

通知の設定	and a second		X
ノード	指定しない	▼ →	設定
LOG検索文字	LOG            (正規表現による指定)	1装/宿い村にも1週大山	AX)E
.*SNMPv3₽	₩.*		
アクション種別	MAIL	•	
電子メール宛	先 /実行コマンド		
ymi@twise.c	:0.jp		
TWSNMP通9	0 \$NODE		
本文			
\$EVENT			
※コマンド、タ \$MAC,\$SYSL( 本文で\$LOG(	イトル、本文で、\$TYPEは和 DC, \$SYSCON, \$EVENTなど は、最新20件のログに変移	重別、\$NODEはノード名、 の変数が使用できます。 負します。	

項目	内容
ノード	ノードの特定を行います。
監視レベル	障害レベルを選択します。ポーリングで、設定されたレベル以上の障害を
	検知した場合通知を行います。
LOG検索文字	正規表現によるマッチングでログに含まれる文字列を検査します。
アクション種別	メールか外部プログラムの実行かを選択します。
復帰時にも通知	ポーリングが障害状態から復帰した時にも通知を実行します。
電子メール宛先/	メールの場合、送信先のメールアドレス、プログラム実行の場合は、
実行コマンド	notepad.exe などのコマンドを入力します。
タイトル	メールの場合、タイトル(Subject)を入力します。
本文	メールの場合、本文の内容を入力します。

コマンド、タイトル、本文には以下の変数を利用できます。

**\$TYPE**: ノード種別 **\$NODE**: ノード名 **\$EVENT**: イベント内容 \$MAC : MACアドレス \$SYSCON:管理者名 \$SYSLOC:設置場所 **\$STATE**: ノードの状態名 **\$NOW** :現在日時(通知、外部コマンド実行時) **\$IP** : I Pアドレス \$PSTATE:原因となったポーリングの状態値を示します。 (2=復帰、4=軽度、5=重度) \$AVGRES:平均応答時間 \$LASTRES:最終応答時間 \$TOTALCOUNT:トータルポーリング数 \$OKCOUNT:正常回数 \$VAL:数値の値(判定した数値) \$SVAL:文字列の最終取得MIB値

さらに本文では以下の変数も利用できます。 **\$LOG:最新20**件のログ

メール通知の待ちサイズは、最大 200 件です。大量のメール通知が発生した場合、200 件以上は 登録しないで、古いものから、破棄します。

#### 2. ノード単位

MAP上で、対象の装置を選択し右クリックします。表示されたメニューの「プロパティ」を選択しダイアログを表示します。次に<TRAP/通知設定>のTABをクリックします。

<TRAP/通知設定ダイアログ>

	snmpTrapOID	アウション種別	アクション	新規	
				編集	
				利助策	
画: 112:11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:11:					
監視レヘル	アウション種別	アクション		新規	
				編集	
				肖『除	

ここで[TRAP 設定]、[通知設定]の設定を行います。[TRAP 設定]または[通知設定]の設定は、 <新規>をクリックするか、それぞれのリスト上で右クリックし、表示されたメニューの「追加」 をクリックすることにより表示されるダイアログで行います。

表示されるダイアログの内容と設定方法は、MAP ウィンドウで表示されるダイアログの説明を参照してください。

### [時間を指定してポーリング・通知を行う]

ポーリングや通知機能を、就業時間に限定して実施することができます。以下に手順を示しま す。

#### 1. 就業時間帯の設定

MAP ウィンドウの「設定」-「就業時間設定」をクリックします。以下のダイアログが表示されます。

<就業時間設定>

就業時間設定		X
特定日設定		設定
2007年11月21日 - 特	定日1 _  変則日	取消
日付 適用パターン	説明   道加	]
= 2007/11/10 月曜日		1
2007/11/21 特定日1		
■ 2007/11/22 上曜日 ■ 2007/11/23 日曜日	前分感謝の日 デフォルト	•
● 2007/12/23 日曜日	天皇誕生日	
,		
就業時間		
0123	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	23.24 ≓⊐+⊪⊾
日曜日		<u> </u>
月曜日		
火曜日		
プトの曜日		
木曜日		
金曜日		
土曜日		
特定日 1		
特定日2		

[就業時間]欄で、青表示が就業時間を示します。タイムテーブルをクリックすると、その時 間帯の就業のオン/オフを切り替えます。

<デフォルト>をクリックすると、日~土曜日までの就業時間を以下のとおり設定します。

土・日 休業 月~金 9~17時就業

「特定日(1~3)」は、平日や休日と違う就業時間パターンを3種類まで登録することができます。

#### 2. 変則日の設定

通常のタイムテーブルと異なる日を設定するには、[特定日指定]欄を利用します。 期日、適用するタイムテーブルのパターン、その日についての説明を入力し<追加>をクリッ クすると、内容がリストに追加されます。

リストの内容を削除したい場合は、対象となる項目を選択して<削除>をクリックします。 <デフォルト>をクリックすると、2009の元日までの祝休日が日曜日のパターンとして登録さ れます。

<設定>をクリックすると、内容を登録して、画面を終了します。

#### 3. 適用ノードの設定

指定した就業時間を、通知やポーリングに反映させるには、各ノードのプロパティで、[ポーリング設定]欄の"就業時間のみ通知"、"就業時間のみポーリング"にチェックをつけてください。 ([ノードプロパティ(一般設定)]参照)

### [装置にWEB、FTP、TELNETで接続する]

MAP ウィンドウで、対象の装置を選択します。MAP ウィンドウのメニューまたは右クリック メニューから「接続ツール」-「TELNET」、「接続ツール」-「Web 接続」、「接続ツール」-「FTP 接続」をクリックすることにより、指定した方法で、対象の装置に接続を行います。対象装置が、 指定したサーバ機能を持っていない場合は接続できません。WEBの接続先は、装置のプロパティ の[関連 URL]の設定に優先的に接続します。もしこの設定が空白の場合、デフォルトの接続先 (TCP の 80 番ポート)に接続します。

# [MIBブラウザでMIBを取得する]

MAP ウィンドウで対象の装置を選択します。MAP ウィンドウのメニューまたは右クリックメ ニューの「SNMP 管理」-「MIB ブラウザ」をクリックします。次のダイアログが表示されます。 MIB ブラウザダイアログは、拡大縮小とソート可能になりました。(2010/1/5 版から)

< MIB	ブ	ラ	ウ	ザ	タ	イ	P	ログ>	
-------	---	---	---	---	---	---	---	-----	--

MIBブラウザ ノード	192.168.0.231		<b>二 回 X</b> 実行
IPアドレス SNMPモード	192.168.0.231		閉じる   複写
Community/Use	public	JF24 3 ▼	保存 順序確認
Password	J*****	タイム // フト   1 ・ ・ 道筋加 ・ ・ 削除 ・ 通常 ○ テ・ □ Bulkモード	<u>ポーリング登録</u> -ブル <sup>C</sup> Walk

取得する MIB 項目を入力するために、<追加>をクリックします。 次のダイアログが表示されます。



ここで、取得したい MIB をクリックして選択します。[](大括弧)でくくられたものは、MIB のグループまたは、テーブルです。特定のオブジェクトを GET で取得したい場合は、インデック スを追加してください。[インデックスを追加]にチェックして、下のリストにインデックス値を 入力するか選択します。その状態でツリーからオブジェクトを選択すると、選択したオブジェク ト ID にインデックスが付加されます。

また [グループ展開] にチェックをつけて、MIB ツリーからアイコンがフォルダの[xxxxTable] を選択すると (xxxx は任意)、[xxxxTable]のツリーで2つ下の階層までの、先頭のアイコンが・ か〇のものが全部追加されます。[グループ展開] が OFF の場合、[xxxxTable]が追加されます。

オブジェクト ID を選択したら、<選択>をクリックします。MIB ブラウザの画面に戻ります。 ここで、取得モードを選択します。(選択したオブジェクト ID に最適な取得モードが自動的に選 択されていますので、通常は変える必要はありません。)取得モードは、以下の通りです。

通常	: 指定したオブジェクトを一つだけ取得します。
テーブル	:指定したテーブル全体を取得して、テーブル形式で、表示します。
Walk	: 指定したオブジェクト ID のツリー上の下位に属するオブジェク
	トすべてをダンプします。
Bulk モード	SNMPv2C,V3 で利用可能なバルク転送(高速転送)モードを使用
	する場合にチェックをつけます。

また、MIBのグループを選択して通常モードでアクセスすると、グループ内のスカラーオブジェクトのみを取得します。

取得時のタイムアウトなどのパラメータを指定して、<実行>をクリックすると結果が表示さ れます。ダイアログ右上の欄に取得数、所要時間、速度が計測表示されます。それぞれの取得モ ード別の例を次に示します。

M I Bブラウザ		In the Lord Land and a	
ノード IPアドレス SNMPモード Community/U: Password sysUpTime	TWProbe           192.168.0.236           SNMPv1           public	取得数= 1/4 時間=0.514秒 速度=1.3(4,4)歩 リトライ 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実行       閉じる       秋年       (保存       順序確証2       ポーリング登録       ブル C Walk
オフジェクト名 sysUpTime.0	他 (499112351) 57 days, 18:25:23.51		

<テーブル>

	ラウザ			1	100	with the second			X	
ノード		TWProbe				取得数= 88件			ŕī	
₽₽ドL	,,,	192.168.0	0.236			時間=0.515秒 速度=170.9件/秒		閉	්රී	
				AAS				複	複写	
SINIMPT	-1-				Uk	54 1	-	保	存	
Community/User public				順序確認						
Passwo	rd	*****			\$1	′ムアウト 5	<b>•</b>	ポーリン	り登録	
[ifTab	le]					追加 削除 「Bull	梢 (のテーブ) kモード	ା େ Walk		
Index	ifIndex	ifDescr	ifType	ifMtu	ifSpeed	ifPhysAddress	ifAdminStatus	ifOperStatus	ifLas	
1	1	eth0	ethernet-csmacd(6)	1500	10000000	44 4D 50 E1 3A C3	up(1)	up(1)	(0) 0	
23	2	l0 dummv0	softwareLoopback(24) ethernet-csmacd(6)	16436	10000000	7E BB 80 B1 96 D5	up(1) down(2)	up(1) down(2)	(0) 0	
4	4	eth1	ethernet-csmacd(6)	1500	100000000	44 4D 50 74 02 F4	up(1)	up(1)	(0) 0	

$$<$$
Walk $>$ 

I Bブラウザ	
ノード TWProbe	取得数= 110件 美行
IPアドレス 192.168.0.236	時間=0.484秒 閉じる 閉じる
	被写
SNMPt-K SNMPv1	
Community/User public	リトライ 1 「「「」」
Password ******	タイムアウト 5 マ ポーリング登録
[ip]	<u>通知</u> 高期除 「Bulkモード
力 沙 小 尔	値
inForwarding.0	notEgrwarding(2)
nDefaultTTL 0	64
nInReceives 0	641841
DInHdrErrors 0	37
nInAddrErrors 0	30
pEorwDatagrams 0	0
n n linknownProtos 0	0
nInDiscards 0	0
nInDelivers 0	487563
DutRequests 0	648036
OutDiscards 0	0
OutNoRoutes 0	0
ReasmTimeout.0	0
ReasmReads.0	0
DReasmOKs.0	0
oReasmFails.0	0
pFragOKs.0	0
pFragFails.0	0
FragCreates.0	0
pAdEntAddr. 127.0.0.1	127.0.0.1
AdEntAddr. 192. 168.0. 236	192.168.0.236
pAdEntIfIndex. 127.0.0.1	2
AdEntIfIndex. 192. 168.0. 236	1
oAdEntNetMask 127.0.0.1	255.0.0.0
oAdEntNetMask. 192. 168.0.236	255.255.255.0
pAdEntNetMask. 192. 168.0.236 pAdEntBcastAddr. 127.0.0.1	255.255.255.0
pAdEntNetMask. 192.168.0.236 pAdEntBcastAddr. 127.0.0.1 pAdEntBcastAddr. 192.168.0.236	0
pAdEntNetMask. 192.168.0.236 pAdEntBcastAddr. 127.0.0.1 pAdEntBcastAddr. 122.168.0.236 pRodEntBcastAddr. 192.168.0.236 pRouteDest. 192.168.0.0	255.255.255.0 0 1 192.168.0.0
pAdEntNetMask. 192. 168.0.236 pAdEntNetBcastAddr. 127.0.0.1 pAdEntBcastAddr. 127.0.0.236 pRouteDcst. 192. 168.0.0 pRouteIndex. 192. 168.0.0	25.252.255.0 0 1 192.168.0.0 1
## [MIB設定でMIBを設定する]

MAP ウィンドウで、対象ノードを選択します。MAP ウィンドウメニューまたは右クリックメ ニューの「SNMP 管理」-「MIB 設定」、ツールバーの「MIB 設定」のいずれかを実行します。 次のダイアログが表示されます。

<MIB 設定ダイアログ>

IB設定	<b>.</b>				
ノード	twprobe		₽₽ドレス	192.168.1.236	閉じる
SNMPE-H	SNMPv1	•	UF57 3 🔻	タイムアウト 1 🔻	設定(SET)
Community	/User public				取得(GET)
Password	•••••				мівул-
全選択	全解除 削隊	全削除		Index変更	- 読込 - 保存
状況	MIB項目	現在値	変更値	ii XB月	
					S

ここで、設定する MIB 項目をリストに追加します。追加には2つの方法があります。MIB ブラウザと同じように<MIB ツリー>から追加する方法と、あらかじめ作成されたファイルから読み込む<読込>です。どちらかの方法でリストに追加した場合、次のような画面になります。

M I B設定					
ノード も	vprobe	IPア	ドレス 192.1	68.1.236	閉じる
SNMPモード SI	NMPv1	▼ リトライ	3 • 例	( ፊዎウト 1 🔹 🔻	設定(SET)
Community/User P	ublic				取得(GET)
Password •	•••••				MIB'99-
全選択 全選択	削除全	削除		Index変更	読込 保存
状況	MIB項目	現在値	変更値	説明	
📝 🛢 取得成功	sysContact.0	Unknown		新規	
🔽 🔍 取得成功	sysName.0	twprobe		新規	
•		III			4

リストの水色の部分は、クリックすることにより編集できます。オブジェクト名のインデック スを変える場合や、設定する値を変える場合に編集してください。

また、リストの項目にチェックをつけて、<Index 変更>の左側テキストエリアに変更したい インデックス値を指定し、<Index 変更>をクリックすると、チェックをつけた項目のインデッ クス値を一括変更できます。

まず、現在の値を取得するために取得したいリストの項目にチェックします。その後、<取得 (GET) >をクリックすると値が取得されます。

変更値に、変更したい値を入力して<設定(SET)>を実行すると、設定を実行します。

「sysLocation.0:s」のように、MIB のオブジェクト名を設定すれば、最後の「:s」をデータタ イプとして扱います。タイプ指定の文字は、NET-SNMP の snmpset と同じです。

注意: SNMPのSETは、エージェント側で指定のCommunityがSET可能な設定になっ ていないと成功しません。また、SETするオブジェクトが書き込み禁止かまたは、入 力した変更値のフォーマットがあっていないと失敗します。

## [MIB取得]

MAP ウィンドウで、対象ノードを選択します。MAP ウィンドウメニューまたは右クリックメ ニューの「SNMP 管理」-「MIB 取得」を実行します。次の画面が表示されます。

<MIB 取得項目選択画面>

MIB取得項目選択	X
定義ファイル Ip.mbr ▼	設定
インデックス マ	取消

定義ファイルとインデックスを指定して<設定>をクリックすると次の画面が表示されます。

### <MIB 取得画面>

192.1	68.1.236-イン	ンターフェイステーブル - MIBBF	۲		all severality is		• X
ファイル( <u>E</u> )	編集( <u>E</u> ) 表	示( <u>V</u> ) 設定( <u>S</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )					
🔒 🗎	🗩 🙀 🍽 🕯	<u>8 k</u> ?					
ifIndex	ifDescr	ifType	ifMtu	ifSpeed	ifPhysAddress	ifAdminStatus	ifOper
1	lo	softwareLoopback(24)	16436	10000000		up(1)	up(1)
2	bond0	ethernet-csmacd(6)	1500	10000000		down(2)	down(2
3	dummy0	ethernet-csmacd(6)	1500	10000000	B2 A7 BB FB DC C7	down(2)	down(2
4	eth0	ethernet-csmacd(6)	1500	10000000	44 4D 50 02 07 81	up(1)	up(1)
5	eth1	ethernet-csmacd(6)	1500	10000000	44 4D 50 31 04 5F	up(1)	up(1)
•		III					Þ
ŀ7°4						2008/05/26 16:43	49

MIB 取得画面は、以下の部分から構成されています。

項目	内容
タイトルバー	ウィンドウ名とウィンドウ操作ボタンが表示されます。
メニュー	MIB 取得画面で実行可能なコマンドメニューです。
ツールバー	メニュー項目のうち、よく使うコマンドを表示するボタンです。
情報リスト	取得した情報を表示します。
ステータスバー	メニューの選択状態に応じて表示される説明です。

# [PINGを実行する]

MAP ウィンドウで、対象ノードを選択します。右クリックメニューの「PING」、MAP ウィン ドウメニューの「管理ツール」 – 「Ping」、ツールバーの「Ping」のいずれかを実行します。次 のダイアログが表示されます。

<PING 実行画面>

ノード名 <sup>tw</sup>	probe			東近
₽アドレス 19	2.168.1.236			
実行回数	タイムアウト	サイズ	モード	
5 👻	1 🔹	32 🔻	標準	•
回数/TTL	結果/経路	応答時間	サイス	応答時
回数/TTL	結果/経路	応答時間	サイズ	応答時
• 1	OK	1mSec	32	
2	OK	0mSec	32	
93	OK	0mSec	32	
9 4	OK	0mSec	32	
<b>5</b>	OK	1mSec	32	
•				

パラメータを指定して<実行>をクリックすると、PINGを実施します。

## [パネル表示]

MAP ウィンドウで、対象ノードを選択します。MAP ウィンドウメニューまたは右クリックメ ニューの「SNMP 管理」-「パネル表示」を実行します。次の画面が表示されます。

#### <パネル表示画面>

ファイル(E) 設定( <u>5</u> ) 表示(⊻	.168.1.6 - VPANEL ) ^87°( <u>H</u> )	
yamaisw #1 #2 #3 #4 ()) ()) () ()) ()) () ()) ()) () ()) ())	• • • • • • • • • • •	7 #8 #9 #10 #11 #12 #13 #14 #15 19 10 10 10 10 10 10 10 10
發生日時	イベント開刻	イベント内容
発生日時 08/05/26 16:46:33	イベント種別	イベント内容 (f0xerStabus 12=INTEGER: down(2)) (AdminiStabus 12=INTEGER: un(1)) (f0xerStabus 13=INTEGER: un(1)) (AdminiStab
附生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功	イベント内容 (fOperStatus.12=INTEGER: down(2) (fAdminStatus.12=INTEGER: up(1) (fOperStatus.13=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.2= (fOperStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.1=INTEGER: up(1) (fOperStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.2=INTEGER: up(1) (fOperStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.2=INTEGER: up(1) (fOperStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdminStatus.2=INTEGER: up(1) (fAdmi
発生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功	イベント内容   OperStatus.12=INTEGER: down(2)   AdminStatus.12=INTEGER: up(1)   OperStatus.31=INTEGER: up(1)   AdminStatus.2-I   OperStatus.1=INTEGER: up(1)   AdminStatus.3.=INTEGER: up(1)   IOperStatus.2=INTEGER: up(1)   AdminStatus.2-I   OperStatus.12=INTEGER: up(0)   IOperStatus.33=INTEGER: up(1)   IOperStatus.33=INTE
発生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	
発生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	イベント内容 IfOperStatus.12=INTEGER: down(2) IfAdminStatus.12=INTEGER: up(1) IfOperStatus.13=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=I IfOperStatus.1=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.1=INTEGER: up(1) IfOperStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=I IfOperStatus.1=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.1=INTEGER: up(1) IfOperStatus.3=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=
発生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	イベント内容 IfOperStatus.12=INTEGER: down(2) IfAdminStatus.12=INTEGER: up(1) IfOperStatus.13=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.12=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.1=INTEGER: up(1) IfOperStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfOperStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfOperStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEGER: up(1) IfAdminStatus.2=INTEG
先生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	(A>>A%) (A>>A%) (A>>A%) (Administratus:12=INTEGER: down(2) (IAdministratus:12=INTEGER: up(1) (IOperStatus:12=INTEGER: up(1) (IAdministratus:1=INTEGER: up(1)
発生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	Interpretation (2) Interpret
後生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:01 08/05/26 16:46:01	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	イベント内容 ifOperStatus.12=INTEGER: down(2) ifAdminStatus.12=INTEGER: up(1) ifOperStatus.13=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.2= ifOperStatus.1=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.1=INTEGER: up(1) ifOperStatus.2=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.2= ifOperStatus.1=INTEGER: down(2) ifAdminStatus.1=INTEGER: up(1) ifOperStatus.2=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.2= ifOperStatus.1=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.1=INTEGER: up(1) ifOperStatus.2=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.2= ifOperStatus.1=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.1=INTEGER: up(1) ifOperStatus.2=INTEGER: up(1) ifAdminStatus.2=INTEGER: up(
R±E10 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:10 08/05/26 16:46:01 08/05/26 16:46:01 08/05/26 16:46:51	イベント種別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功	
R生日時 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:33 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:21 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:46:11 08/05/26 16:45:11	イベント観別 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリング成功 ポーリングの方	Interpretation in the interpretation interpretation in the interpretation interpretation in the interpretation interpretation in the interpretation interpre

ポートの状態と、イベント情報の一覧を表示します。

ポーリングの設定を変えるには、パネル画面のメニューから「設定」を実行すると以下の画面が 表示されます。

<ポーリング設定画面>

-	-		×
192.168.1.6		設定	
10 -		取消	
3 🗸	タイムアウト	1	•
SNMPv1	•		
public			
•••••			
	192.168.1.6 10 • 3 • SNMPv1 public	192.168.1.6 10 3 ・ タイムアウト SNMPv1 ・ public	192.168.1.6 192.168.1.6 取消 3 ・ タイムアウト 1 SNMPv1 ・ public

項目	内容
IPアドレス	traffic 収集する装置の IP アドレスです。
ポーリング間隔	ポーリングの実施周期を選択します。
リトライ	再試行回数を選択します。
タイムアウト	ポーリングを強制終了させるまでの時間を選択します。
SNMP モード	SNMP のモードを選択します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名または User 名を設定します。
Password	SNMPv3 時のパスワードを設定します。
一時停止する。	traffic 収集を一時停止します。

項目を変更して<設定>をクリックすると内容が適用されます。

## [グラフ表示機能を使う]

MIB 取得項目選択で定義したファイルの情報を取得し確認する画面です。対象となるノードの 右クリックメニューから「SNMP 管理」-「グラフ表示」を実行するか、またはツールバーの< グラフ表示>をクリックすると以下のダイアログが表示されます。

<トラフィック選択画面>

グラフ ファイル選択	×
定義ファイル Port.trf ▼	設定
インデックス 🚦 👻	取消
2	

[定義ファイル]と[インデックス]を選択して<設定>をクリックすると、グラフを表示します。

<traffic 画面>



指定した内容に従って取得した traffic 情報をグラフ表示します。グラフ下にイベント情報を一覧 で表示します。画面を表示途中に設定を変更した場合も、継続してグラフ表示されます。

ポーリングのデータを保存するには、traffic 画面のメニューから「ファイル」-「データ保存」 を実行します。 表示されているグラフ画像を保存するには、traffic 画面のメニューから「ファイル」-「グラフ 画像保存」を実行します。

ポーリングの設定を変更するには、traffic 画面のメニューから「編集」-「ポーリング設定」を 実行します。 <ポーリング設定画面>

ポーリング設定	X
₽アドレス	192.168.0.236 設定
ポーリング間隔	100 - 取消
リトライ	1 ・ タイムアウト 5 ·
SNMPモード	SNMPv1
Community/User	public
Password	*****
□ 一時停止する。	
▼ Y軸自動スケー	ル ▼ Y軸Oベース固定 X軸データ数 1440
Ү軸最小値 ○	Y軸最大値 0

以下の通り設定します。

項目	内容
IPアドレス	traffic 収集する装置の IP アドレスです。
ポーリング間隔	ポーリングの実施周期を選択します。
リトライ	再試行回数を選択します。
タイムアウト	ポーリングを強制終了させるまでの時間を選択します。
SNMP モード	SNMP のモードを選択します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名または User 名を設定します。
Password	SNMPv3 時のパスワードを設定します。
一時停止する。	traffic 収集を一時停止します。
Y軸自動スケール	チェックをつけると、取得したデータにあわせて Y 軸のスケールを自
	動的に調整します。
Y軸0ベース固定	チェックをつけると、自動スケール時の Y 軸の最小値を 0 固定にしま
	t.
X軸データ数	X 軸のプロット数を指定します。(100~3000)
Y軸最小值	Y軸を固定スケールにする場合、最小値を指定します。
Y軸最大值	Y軸を固定スケールにする場合、最大値を指定します。
<設定>	設定した内容を適用してダイアログを終了します。
<取消>	設定した内容を保存せずにダイアログを終了します。

## [RMON管理機能を使う]

RMON 管理機能は、RMON プローブや RMON 対応 LAN スイッチを使ってトラフィック管理を 行うための機能です。モニタ設定や収集した情報からレポート表示ができます。対応している RMON のグループは、

- 1. 統計グループ
- 2. 履歴グループ
- 3. アラームグループ
- 9. イベントグループ

です。多くのインテリジェント LAN スイッチで対応しているものです。

### (1) 起動と初期画面

対象となるノードを選択し、MAP ウィンドウのメニューまたは右クリックメニューから「SNMP 管理」-「拡張 MIB 管理」-「RMON 管理」をクリックします。以下のダイアログが表示され ます。

<RMON 管理画面>

RMON管理	Transmitt In the			Table -	Real Property			X
æ	Ø	統計 :OFF	履歴 :OFF	7ラーム:OFF	イベント:OFF	ホスト :OFF	RMON2 :OFF	開じる
- アクセス設定 - ノード Sampt - ド	TWProbe	IPアドレス Community/Liser	192.168.0.236		Password ******		リトライ タイムアウI	1 •
Staldad0			p.		,		5120751	
■ 1948 インデックス	データソース   バイト数   /	∜ケット数│エラー数│:	オーナー 状態					<b>這加</b> 育哪余
一履歴	「データソース」保存回数	間隔(秒) オーナー	状態					<u>〕追加</u> 育耶余 <b>取得しない。</b> レポート
75-4-						fr i free	1	20thn
インデックス	オブジェクト   データ種別	間隔(秒)  約回アラ	-ム 上限関値	上限イベント 下	限闘値 下限イベン	ト オーナー   状態		<b>15/10</b> 前16余
	2800 4604	. [.4. 4. [40	on.					) ditter (
127992	<u>                                    </u>	mnuity   オーナー   祆						<b>15川</b> 削除 レポート
レボート種別			<ul> <li>表示</li> </ul>	T #3	ミト/マトリックスを取得	□ RMON2情報	被取得	

Community などの SNMP のアクセス設定を行って<取得>をクリックします。対象の機器が、 RMON に対応していれば、結果が表示されます。 <結果表示例>

RMON管理	X
Mail         ION         MDE         ION         イペント:ON         ホスト :ON         RMON2 :ON         パロロ	る 寻
アクセス協定         リード         TWProbe         IPアドレス         192.168.0.236         リトライ         1           SNMPモード         SNMPシu1         マ         Community/User         public         Password         *******         分イムアウト         S	•
インデックス     データソース     バイト数     パケット数     エラー数     オーナー     状態       ● 1     ifIndex.4     1646456662     8111007     0     Config     valid(1)	
インデックス     第一部リース     (保存回版) 間層3(秒) オーナー     大振	 
アラーム     「ノンデックス   オブジェクト   データ検別   間隔(秒)   初回アラーム   上限制値   上限イベント   下限制値   下限イベント   オーナー   状態     「前原     「前原     「「「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「     「     「」     「」     「     「     「     「」     「」     「」     「     「」      「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「     「     「     「      「     「      「      「      「      「      「      「      「      「      「      「      「      「      「      「      「	
- イベント - イベント - インデックス   説明  種野  TRAP Commutity オーナー 状態 	
レポート レポート種別 ホスドリスト(Lafindex.4) - 表示 マホスト/マドリックスを取得 マ RMONZ情報を取得	

上部の統計、履歴などが ON になります。対応していない機器は OFF のままですので、RMON による管理はできません。

#### (2)統計モニタ設定

RMON は、エージェントに設定を行わないとモニタを実施しません。モニタ設定するためには、 統計情報の<追加>をクリックします。次のダイアログが表示されます。

<RMON 統計設定ダイアログ>

RMON統計設	定				
τ - βy-λ         fIndex.4         fIndex.5         ifIndex.7         fIndex.8         fIndex.10         fIndex.11         fIndex.13         fIndex.14					取消
, 才一丁文字列 取得間隔	yamai 1800	秒	保存件数	30	0 件

モニタするデータソースと [オーナー文字列](管理者名)を入力して<設定>を実行します。 「RMON管理」ダイアログに戻って設定が実行されます。エラーの場合は、上部のステータス領 域に「設定失敗」と赤字で表示されます。設定が成功すれば、モニタを開始します。

モニタを停止する場合は、モニタ項目を選択して<削除>を実行します。RMONの場合、変更はできませんので、削除してから新しいモニタ項目を作成してください。

注意:SNMPによる書き込み権限が必要です。

### (3)履歴モニタ設定

履歴情報の<追加>をクリックします。次のダイアログが表示されます。

<RMON 履歴設定ダイアログ>

RMON履歷設	定			
データソース ifIndex.1 ifIndex.2 ifIndex.4 ifIndex.5 ifIndex.6 ifIndex.7 ifIndex.8 ifIndex.8 ifIndex.10 ifIndex.11				取消
lifTeday 12 オーナ文字列 取得間隔	yamai 1800	· 秒	保存件数	300 件
	,			

[データソース]と[オーナー文字列]以外に、履歴を収集する間隔と、保存件数を入力します。 <設定>を実行します。設定が成功すれば、履歴の保存を開始します。しばらく時間がたってか ら、再度 RMON 管理画面で<取得>することにより、履歴レポートが表示できます。

モニタを停止する場合は、モニタ項目を選択して<削除>を実行します。RMONの場合、変更はできませんので、削除してから、新しいモニタ項目を作成してください。

#### (4) アラーム/イベント設定

RMON には、エージェント (プローブ又は LAN スイッチ) 自体に、トラフィックを監視させて、 TRAP 送信やログ保存を行う機能があります。そのための設定について説明します。 まず、イベントを設定します。[イベント] 欄の<追加>を実行します。次のダイアログが表示さ れます。

<RMON イベント設定>

RMONTROF	設定	×
イベント内容		設定
動作	何もしない	取消
Community		
オーナー文字列	yamai	

[イベント内容] (英字のみ)、[動作] (TRAP 送信かログ保存又は、両方)、[Community] に TRAP 送信の場合の TRAP の Community 名、[オーナー文字列] に管理者名を入力します。< 設定>を実行すると、モニタ設定と同様に追加されます。

次に、アラームを設定します。[アラーム]欄の<追加>を実行します。次のダイアログが表示されます。

<RMON アラーム設定>

RMON75-4	微定		
オブジェクト 取得方法	etherStatsDropEvents  データソース 1:ifIndex.13 絶対値  取得間隔 60  イ 和	秒	▼ 設定 取消
上限閾値		•	☑ 初回も発生
下限閾値		•	□ 初回も発生
オーナー文字列	yamai		

ここで、[オブジェクト]を選択しますが、これは、統計情報でモニタしている項目になります。 バイト数、ポケット数、各種エラー数などがあります。[データソース]のリストには、現在モニ タしている統計情報のデータソースがあります。ここから選択します。

取得方法は、

・絶対値(計測値をそのまま判定する)

・前回との差分

から選択します。

[取得間隔]は、判定を行う間隔です。

閾値には、2種類あります。上限と下限で、これは、ヒステリシス方式で判断するためです。上 限値を超えた場合にアラームを発生とし、下限値を下回った時点で解除と判断する方法です。両 方設定します。

[イベント]は、先のイベントで追加したものがリストに表示されますので、そこから選択します。

[初回も発生]は、最初に判定して閾値越えの場合、アラームとするかしないかの設定です。 [オーナー文字列]に管理者名を設定して<設定>を実行します。モニタと同様に追加されます。

(5) レポート(統計情報、履歴、イベント)

モニタやアラームの設定を行った後、しばらく時間がたつと RMON プローブ側にトラフィック 情報が蓄積されます。RMON 管理画面で、<取得>を実行すると、この情報も取得します。情報 があれば、各欄の<レポート>がクリックできる状態になります。

注意:履歴は、リストの項目を選択しないと<レポート>は有効になりません。

<レポート>をクリックすると、以下のレポートダイアログが表示されます。

統計情報	バイト数	データソース単位のバイト数グラフ
	パケット数	パケットの種類別のグラフ
	エラー数	エラーの種類別のグラフ 割合で表示
	サイズ別	パケットのサイズ別のグラフ 割合で表示
履歴	バイト数	バイト数の時間毎の変化
	パケット数	パケット数の時間毎の変化(種類別)
	エラー数	エラーパケット数の時間毎の変化(種類別)
	負荷	負荷の時間毎の変化
アラーム	時間別	イベントの時間毎の発生回数を過去7日間表示
	種類別	イベントの種類別の発生回数を集計して表示

以下の項目別にレポートを表示できます。











### (6) レポート (ホスト、マトリックス、RMON2 情報)

レポート欄の[ホスト/マトリックスを取得]、[RMON2 情報を取得]にチェックをつけて<取得>を 実行すると、これらの情報も取得します。取得後、[レポート欄]からレポート内容を選択して<表 示>をクリックすると、該当レポートを表示します。

以下の項目別にレポートを表示できます。

ホストリスト	MAC アドレス別のホストリストです。
マトリックス	MAC アドレス別のホスト間通信の組み合わせ (マトリックス) です。
プロトコル分布	プロトコル別の通信量です。
アドレスマップ	IP アドレスと MAC アドレスの組み合わせのリストです。
IP ホストリスト	IP アドレス別のホストリストです。
AP ホストリスト	アプリケーション層別(IP、プロトコル、ポート番号の組み合わせ)
	のホストリストです。
IPマトリックス	IP アドレス別のホスト間通信の組み合わせ(マトリックス)です。
APマトリックス	アプリケーション層別(IP、プロトコル、ポート番号の組み合わせ)
	別のホスト間通信の組み合わせ(マトリックス)です。

<RMON レポート表示例(ホストリスト)>



## [ホストリソースMIBよる管理]

ノードの右クリックメニューに「SNMP 管理」-「拡張 MIB 管理」-「ホストリソース MIB 管理」により起動するダイアログで、ホストリソース情報にアクセスできます。また、関連す るポーリングも追加することができます。

- F T	wLinux	I	Pアドレス 🛛	192.168.1.231	リトライ	3 👻 タイムアウト 1 💌	閉じる
Mb±~k [2]	NMPv3(SHAi恝証A	ES暗号化 👻 🤉	Community	/amai	Password	•••••	即得入
	-	/	User				
小位取得实力	MIR 439(4.1772	<b>4</b>					
и сихняла т	WID 400[+4X]	<del>ग</del>					N
ストリソース情報	幸辰						5
· 百日				種別	ポールが定義		
- ALL 	7/540-588	(6020854) 16-4	2.20 54	1至かり 1 ミュフニノ (安/時)			
🕕 ンステム物 🔒 シュテノ ല	「「「」」(「」)	2000-8-4 22:49	10:28.54	エンステム修御	n4181		
💶 システムマ		2005-0-4,22:40	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	シンヘノム×する  3.システムフィナ	f業t MIBGET:brSvst	temNumLisers.0>-1:ABSフ ー ++実が産生な	8
システムゴ	ロヤス数	37		4.システムプロセ	7.数 MIBGET:hrSvsi	temProcesses.0>-1:ABS7 一 开放机器	
	τ.	124392 KBytes		5.メモリサイズ			-
Physical r	memory(実メモリ)	20.56%使用		6.記憶装置(00	01) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed.1/hrStorageSize.1>	1.0:ABS記憶
Virtual me	emory(仮想メモリ)	20.56%使用		6.記憶装置(00	03) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed.3/hrStorageSize.3>	-1.0:ABS記'憶
Memory H	ouffers(その他)	0.36%使用		6.記憶裝置 <b>(</b> 00	06) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed.6/hrStorageSize.6>	1.0:ABS記憶
- including t							
Cached m	nemory(その他)	100.00%使用		6.記憶装置(00	07) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7>	-1.0:ABS記憶
Cached m Swap spa	nemory(その他) ace(仮想メモリ)	100.00%使用 未接続		6.記憶装置(00 6.記憶装置(00	007) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.10	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記'
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(周完子)</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュカ)	100.00%使用 未接続 39.64%使用		6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 <u>6 記憶装置(00</u>	MIBGET: 100.0           10)         MIBGET: 100.0           131)         MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.10 * <u>hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3</u>	1.0:ABS記'憶 0>-1.0:ABS記' 1>-1 0:ABS記'
Cached m Cached m Swap spa	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィスカ)	100.00%使用 未接続 39.64%使用		6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 <u>6 記憶装置(00</u>	07) MIBGET:100.0 110) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.10 *hrStorageLised_31/hrStorageSize_3	-1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記
● Cached m ● Swap spa ● //(雨完千.	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュク)	100.00%使用 未接続 39.64%使用		6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 <u>6 記<sup>悟</sup>过居(00</u>	07) MIBGET: 100.0 10) MIBGET: 100.0 131) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed. 7/hrStorageSize. 7> *hrStorageUsed. 10/hrStorageSize. 10 *hrStoraneLised 31/hrStoraneSize. 3	-1.0:ABS記憶: 0>-1.0:ABS記: 1>-1 0·ARS語: ド
● Cached m ● Swap spa ● //(周定デ. ◆	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュク)	100.00%使用 未接続 39.64%使用	III	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00	007) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( * <u>hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3</u>	-1.0:ABS記憶: 0>-1.0:ABS記: 1>-1 0:ABS記: ド
<ul> <li>Cached m</li> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>川(肉完デ.</li> <li>□セス情報</li> <li>プロセス番号</li> </ul>	nemory(その他) sce(仮想メモリ) ィュカ) プロセス名	100.00%使用 未接続 39.64%(使用 プロセス種別」		6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageLsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ド ポーリング追加
<ul> <li>Pichidi y E</li> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(国定デ.</li> <li>ロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュカ) プロセス名	100.00%使用 未接続 39.64%(使用 プロセス種別 application(4)	III プロセス状態 runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶 7.2 6.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ド
<ul> <li>Cached n</li> <li>Cached n</li> <li>Swap spa</li> <li>//(固定デ.</li> <li>1</li> <li>2</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュカ) プロセス名 init kthreadd	100.00%使用 未接続 39.64%(申田 プロセス種別 application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0 131) MIBGET:100.0 131) 400 KBytes 0 KBytes 0 KBytes	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ド ド
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(司完子,</li> <li>/(回定ス情報</li> <li>プロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirgd/0	100.00%使用 未接続 39.64%(使用 プロセス種別 application(4) application(4)	111 プロセス状態 runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶装置)(00 6.記憶 5.記 6.記 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2 7.2	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) 400 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ド ド
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(団完子,</li> <li></li> <li></li></ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4)	111 プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 7.53) 53 ) 0 0 ) 0 ) 3	07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ド ・ ・ ・ ・
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(団定デ.</li> <li>イ</li> <li>ロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィュカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4)	111 プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 7.53) ) 53 ) 0 ) 0 ) 0 ) 3 ) 7268	07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ド ド
<ul> <li>Cached m</li> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(団定デ.</li> <li>(回セス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) メスカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	111 プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 7.53) ) 53 ) 0 ) 53 ) 0 ) 3 ) 7268 ) 0	07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:4BS記 ド ド
<ul> <li>Cached n</li> <li>Swap spa</li> <li>//(団完子,</li> <li></li> <li></li></ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) メスカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	<ul> <li>6.記憶装置(00</li> <li>6.記憶装置(00</li> <li>6.記憶装置(00</li> <li>6.記憶装置(00</li> <li>6.記憶装置(00</li> <li>7268</li> <li>0</li> <li>3</li> </ul>	07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStoraneLised.31/hrStoraneSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:4BS記 ド ド
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(同定ギ,</li> <li></li> <li></li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> <li>128</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) メスカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.3) 5.3) 0 5.3) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記・ ポーリング追加
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(同定ギ.</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li></li> <li><!--</td--><td>nemory(その他) ace(仮想メモリ) メスカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid</td><td>100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)</td><td>プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)</td><td>6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.3) 5.3) 0 5.3) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0</td><td>*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7&gt; *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)</td><td>-1.0:ABS記憶 0&gt;-1.0:ABS記 1&gt;-1 0:ABS記・ ポーリング追加</td></li></ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) メスカ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.3) 5.3) 0 5.3) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	07) MIBGET:100.0 100) MIBGET:100.0 131) MIRGET:100.0 131) MIRGET:100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	-1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記・ ポーリング追加
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(同定ギ,</li> <li></li> <li></li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> <li>128</li> <li>129</li> <li>173</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) <2カ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid ata/0	100.00%使用 未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 31) 480 KBytes 0 KBytes	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	-1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ポーリング追加
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(同定ギ,</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> <li>128</li> <li>129</li> <li>173</li> <li>174</li> </ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) ィ2カ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid ata_0 ata_aux	100.00%使用 未接続 39.64%(事用 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	アロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.20 7.	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 31) 480 KBytes 0 KBytes	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStorageUsed.31/hrStorageSize.3)	-1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0:ABS記 ポーリング追加
<ul> <li>Cached m</li> <li>Swap spa</li> <li>//(同定ギ,</li> <li></li> <li></li></ul>	nemory(その他) ace(仮想メモリ) イ2カ) プロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid ata_0 ata_aux ksuspend_usbd	100.00%使用 未接続 39.64%(事用 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	プロセス状態 runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2) runnable(2)	6.記憶装置(00 6.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.記憶装置(00 5.3) 5.3) 0 0 5.3) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	07) MIBGET:100.0 10) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 31) MIBGET:100.0 480 KBytes 0 KBytes	*hrStorageUsed.7/hrStorageSize.7> *hrStorageUsed.10/hrStorageSize.1( *hrStoraneLterd 31/hrStoraneSize 3	-1.0:ABS記憶 0>-1.0:ABS記 1>-1 0·ARS記・ ポーリング追加

## [プリンタMIBよる管理]

ノードの右クリックメニューに「SNMP 管理」 - 「拡張 MIB 管理」 - 「プリンタ MIB 管理」により起動するダイアログで、プリンタの情報にアクセスできます。また、関連するポ ーリングも追加することができます。

ド プリンタ複合機	IPアドレス 192.	168.1.10	リトライ 3	<ul> <li>タイムアウト 1</li> </ul>	閉じる
NPモード SNMPv1	Community publi /User	c	Password •••••	•	取得
で取得完了 MIB 42件J ンタ情報	取得				
項目	値	種別	ポーリング定義		
] 管理者(1)		1.本体情報(1)		w.	
)保守担当者(1)		1.本体情報(1)			
) 給紙タイプ(1.1)	sheetFeedManual(5)	2.給紙情報(1.1)			
) 給紙単位(1.1)	sheets(8)	2. 給紙情報(1.1)			
) 給紙最大容量(1.1)	1	2. 給紙情報(1.1)			
● 給紙現在レベル(1.1)	0	2. 給紙情報(1.1)	MIBGET:prtInputCurr	entLevel.1.1>0:ABS用紙列	<b>長量監視(1.1)</b>
🗅 給紙状態(1.1)	リクエスト中	2. 給紙情報(1.1)	MIBGET:prtInputStat	us.1.1<8:ABS給紙状態監	視(1.1)
) 給紙名(1.1)	"MP Tray"	2. 給紙情報(1.1)			
) 給紙タイプ(1.2)	sheetFeedAutoRemovableTray(3)	2. 給紙情報(1.2)			
) 給紙単位(1.2)	sheets(8)	2. 給紙情報(1.2)			
) 給紙最大容量(1.2)	250	2.給紙情報(1.2)			
● 給紙現在レベル(1.2)	用紙有り(枚数不明)	2. 給紙情報(1.2)	MIBGET:prtInputCurr	entLevel.1.2!0:ABS用紙切	れ監視(1.2)
🗅 給紙状態(1.2)	アイドル	2. 給紙情報(1.2)	MIBGET:prtInputStati	us.1.2<8:ABS給紙状態監	視(1.2)
) 給紙名(1.2)	"Cassette"	2. 給紙情報(1.2)			
🚺 排紙タイプ(1.1)	unRemovableBin(4)	3.排紙情報(1.1)			
] 排紙最大容量(1.1)	測定機能なし	3.排紙情報(1.1)			
] 排紙残容量(1.1)	測定機能なし	3.排紙情報(1.1)			
● 排紙状態(1.1)	アイドル	3.排紙情報(1.1)	MIBGET:prtOutputSta	itus.1.1<8:ABS排紙状態的	监視(1.1)
] 排紙名(1.1)	"Tray"	3.排紙情報(1.1)			
The second secon	alastraphatasesphist asse(4)	4			

[終了方法]

TWSNMPは、「ファイル」-「終了」、により終了することができます。 MAPの設定が変更されている場合は、保存確認のメッセージが表示されます。

## [I/F MIBよる管理]

ノードの右クリックメニューに「SNMP 管理」-「I/F 管理」により起動するダイアログで、 I/F の情報にアクセスできます。また、関連するポーリングも追加することができます。



## [終了方法]

TWSNMPは、「ファイル」-「終了」、により終了することができます。 MAPの設定が変更されている場合は、保存確認のメッセージが表示されます。

# Window構成

# [全体画面構成]

TWSNP の全体画面構成を以下の図に示します。

<TWSNMPの全体画面構成>



### TWSNMP 画面は、基本的に以下の部分から構成されています。

項目	内容
タイトルバー	ウィンドウ名とウィンドウ操作ボタンが表示されます。
メニュー	TWSNMP で実行可能なコマンドメニューです。
ツールバー	メニュー項目のうち、よく使うコマンドを表示するボタンです。
ステータスバー	メニューの選択状態に応じて表示される説明です。
ツリービュー	監視対象の装置などをツリー状に表現したビューです。
MAP	ノードの接続関係や状態をアイコン表示します。
ログリスト	発生したログを表示します。

## [MAPツリービュー]

MAP ツリービューは、監視対象のノードを種類別に分類したビューです。次に例を示します。 ツリー内の装置をダブルクリックすることにより、ノードの現在状態を示すダイアログが表示されます。

<MAP ツリービューの例>



## [状態別ツリービュー]

状態別ツリービューは、装置を状態別に分類したビューです。次に例を示します。ツリー内の 装置をダブルクリックすることにより、ノードの現在状態を示すダイアログが表示されます。

<状態別ツリービューの例>



## [IPアドレス別ツリービュー]

IP アドレス別ツリービューは、監視対象の装置を IP アドレス別に分類したビューです。その 装置の所属する IP ネットワーク別に分類され、IP アドレスの順にソートされます。次に例を示 します。ツリー内の装置をダブルクリックすることにより、ノードの現在状態を示すダイアログ が表示されます。

<IP アドレス別ツリービューの例>



## [MAPビュー]

MAP ビューは、ノードの配置と状態を表示するビューです。次に例を示します。

### <MAP ビュー例>



## [ログビュー]

ログビューは、ログを表示するビューです。ログには自動発見でのノードの発見状況、TRAP の受信、ポーリングによる状態の変化、ノード稼働率を記録します。MAP プロパティで設定した ログサイズ分表示されます。それ以上は、古いものから消去します。

ノード稼働率は、ログ欄に、ノード状態が変わる毎に、以下のように記録されます。 ノード稼働率=x x %

次に例を示します。

🕊 test4.	.spm – TWS	SNMP			
ファイル(E)	編集(E) 🚦	設定(S)	管理ツール(エ)	SNMP管理(M	1) □グ管理(1) 接続ツール(N) 監視制御(2) 表示(V) ヘルプ(H)
	ê 🔒	Ŵ	X Ba	C A	
状態	発生日時		種別	関連ノード	1121
1 情報	07/01/26	12:23:59	ユーザ操作	192.168.0	ユーザ確認 Polling(PING)=正常 確認内容:
🚹 情報	07/01/26	11:19:18	ユーザ操作	192.168.0	TRAFFIC起動=成功
🚹 情報	07/01/26	11:16:59	ユーザ操作	192.168.0	PANEL起動=成功
(1) 情報	07/01/26	11:16:20	ユーザ操作	192.168.0	Pine結果(Count=5:Timeout=1:Size=32)=成功率=100.00% 平均応答時間=0mSec
🚹 情報	07/01/26	11:15:28	ユーザ操作	192.168.0	MIB取得起動=成功
🚹 情報	07/01/26	11:14:41	ユーザ操作	192.168.0	MIB取得起動=成功
🚹 情報	07/01/26	11:14:14	システム		ノード稼働率=100.00%
● 正常	07/01/26	11:14:14	監視	192.168.0	IPレベル動作監視=復帰
🚹 情報	07/01/26	10:33:41	システム		ノード稼働率=75.00%
● 正常	07/01/26	10:33:41	監視	NODE3	IPレベル動作監視=復帰
● 正常	07/01/26	10:33:41	監視	192.168.0.4	IPレベル動作監視=復帰
🔷 軽度	07/01/26	10:29:29	監視	NODE3	IPレベル動作監視=軽度障害
🔷 軽度	07/01/26	10:29:29	監視	192.168.0.4	IPレベル動作監視=軽度障害
🔷 軽度	07/01/26	10:29:29	監視	192.168.0	IPレベル動作監視=軽度障害
🚹 情報	07/01/26	10:29:24	システム		ノード稼働率=25.00%
● 正常	07/01/26	10:29:24	監視	NODE1	IPレベル動作監視=正常
	07/01/26	10:20:24	3)フテ). 		/ _ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
ヘルフを表示	するには [F1] *	を押してく	たろい。		止常=4 異常=0 //

# メニュー詳細説明

# [メニュー]

## (a). MAP ウィンドウ画面のメニューを以下に示します。

		6911								
	メニュー		説明							
ファイル	新規作成		ウィンドウに表示されている情報をクリアします。							
	開く		既存のファイルを開くためのダイアログを表示しま							
			す。							
	上書き保存		現在表示されている内容でファイルを書き換えます。							
	名前を付けて	呆存	作業中の内容を保存するためのダイアログを表示し							
			ます。							
	最新のファイル	ビレ	ファイルヒストリを表示します。							
	終了		アプリケーションを終了します。							
編集	新設	ノード	ノードを新規に追加します。							
		WAN	WAN を新規に追加します。							
		BUS	BUS を新規に追加します。							
		RING	RING を新規に追加します。							
		サブネット	サブネットを新規に追加します。							
	MAP プロパテ	- 1	監視 MAP の設定内容を表示します。							
	切り取り		マップに表示されている装置の選択範囲を切り取っ							
			てクリップボードに保存します。							
	コピー		マップに表示されている装置の選択範囲をクリッス							
			ボードに複写します。							
	貼り付け		マップに表示されている装置の選択範囲を消去しま							
			す。							
	削除		選択された装置等を削除します。							
	グリッド整列		表示されている装置を整列させます。							
	全て選択		全ての装置を選択状態にします。							
	MAP 画像コヒ	°	MAPをビットマップとして、クリップボードにコ							
			ピーします。							
設定	システム設定		システム設定ダイアログを表示します。							
	ポーリング方式	弌	ポーリング方式一覧ダイアログを表示します。							
	グラフファイル	レ編集	グラフ関連の設定を行います。							
	就業時間設定		就業時間設定ダイアログを表示します。							
管理ツール	PING		PING による通信確認を行います。							
	自動発見		自動発見一覧ダイアログを表示します。							
	ノード検索		ノード検索ダイアログを表示します。							
	アドレス管理		登録されているノードのアドレス情報管理画面を表							
			示します。							
	ポーリング一見	<u>幹</u>	登録されている全ポーリングの一覧表を表示します。							
	ポーリンググ	ラフ	記録したポーリングログからグラフを表示します。							
<b>SNMP</b> 管理	MIBブラウザ		MIBブラウザを表示します。							
	MIB 設定		MIBを設定するダイアログを起動します。							
	グラフ表示		トラフィックのデータをグラフ表示します。							

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

	パネル表示		パネルウィンドウを表示します。						
			SNMP 付きのノードのプロパティで、パネルファ						
			イルをAUTOから、BC100X.PNLを選択してから、						
			パネル表示を実行してください。						
	MIB 取得		情報を取得する為のダイアログを表示します。						
	MIB ツール		MIBツールダイアログを表示します。						
	拡張 MIB 管	<b>RMON</b> 管理	RMON 管理機能を起動します。						
	理	ホストリソー	ホストリソース管理機能を起動します。						
		ス管理							
		プリンタ管理	プリンタ管理機能を起動します。						
		UPS 管理	UPS 管理機能を起動します。						
		SNMPv3 管	SNMPv3 管理機能を起動します。						
		理							
ログ管理	ログ詳細表示		イベントログ詳細ダイアログを起動します。						
	ログ統計		ログの統計情報をグラフ表示します。						
	ログ保存		ログを CSV 形式で保存します。						
接続ツール	TELNET		TELNET で装置に接続します。						
	Web 接続		HTTP で装置に接続します。						
	FTP 接続		FTP で装置に接続します。						
監視制御	確認		選択された装置の現在の状態を表すダイアログが表						
			示されます。						
	再ポーリング		選択した装置にポーリングを行います。						
	監視一時停止		選択した装置の監視を停止します。						
表示	ツールバー		ツールバーの表示/非表示を切り替えます。						
	ステータスバ	_	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。						
ヘルプ	マニュアル表:	示	マニュアルを表示します。						
	Twise Labo.オ	<b>ニームページ</b>	Twise Labo のホームページを表示します。						
	更新版の確認		更新版があるかどうかを確認できます。						
	NET-SNMP	蒈作権表示	NET-SNMP の著作権を表示します。						
	バージョン情	報	バージョン情報を表示します。						

## (b).パネル表示画面のメニューを以下に示します。

	メニュー	説明
ファイル	開く	既存のファイルを開くためのダイアログを表示しま
		す。
	最新のファイル	ファイルヒストリを表示します。
	アプリケーションの終了	アプリケーションを終了します。
設定		ポーリングの設定を変更します。
表示	リフレッシュ	パネルの情報を再取得して表示します。
	ツールバー	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
	ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ヘルプ	バージョン情報(VPANEL)	VPANEL のバージョン情報を表示します。

## (c).MIBBR 画面のメニューを以下に示します。

	メニュー	説明
ファイル	ファイル出力開始	表示されている情報をファイルに保存します。
	アプリケーションの終了	アプリケーションを終了します。
編集	コピー	選択範囲を指定してクリップボードに保存します。

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

表示	MIB 解説	選択した項目の解説が表示されます。					
	ツールバー	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。					
	ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。					
設定	定期更新	現在表示されているリストを定期的に最新の情報に					
		更新します。					
	更新	現在表示されているリストを最新の情報に更新しま					
		す。					
	設定	設定された内容に従って定期更新をおこないます。					
ヘルプ	バージョン情報(MIBBR)	VMIBBR のバージョン情報を表示します。					

## (d).グラフ画面のメニューを以下に示します。

	メニュー	説明
ファイル	データ保存	表示されている traffic 情報をファイルに保存します。
	アプリケーションの終了	アプリケーションを終了します。
	最新のファイル	ファイルヒストリを表示します。
編集	ポーリング設定	ポーリングの設定を変更します。
表示	ツールバー	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
	ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ヘルプ	バージョン情報(traffic)	traffic のバージョン情報を表示します。

# [右クリックメニュー]

## (a).MAP ウィンドウの右クリックメニューを以下に示します。

右クリック場所		メニュー		説明					
MAPビュー上の空	新設	ノード		ノードを新規に追加します。					
白部分		WAN		WAN を新規に追加します。					
		BUS		BUS を新規に追加します。					
		RING		RING を新規に追加します。					
		サブネッ	· ト	サブネットを新規に追加します。					
	MAP プロ	マップの	・ )プロパティ	を表示します。					
	パティ								
	自動発見	監視を行	う装置を発	見する為のダイアログを表示します。					
	編集	貼り付け	ł	クリップボードの内容をマップに貼り付け					
				ます。					
以下の場所でアイ	プロパティ			選択したノードの設定内容を表示します。					
コン選択時	状態表示			選択したノードの現在の状態を表示しま					
・MAPビュー				す。					
・ツリービュー	PING			通信確認を行う為のダイアログを表示しま					
				す。					
	接続ツール	TELNE	Т	TELNET で装置に接続します。					
		Web 接紙	売	HTTP で装置に接続します。					
		FTP 接約	売	FTP で装置に接続します。					
	SNMP 管	MIBブ	ラウザ	選択したノードの MIB ブラウザを表示し					
	理			ます。					
		MIB 設知	É	MIBを設定するダイアログを表示します。					
		グラフ表	 示	トラフィックのグラフを表示します。					
		パネル表	示	ポート情報を取得する為のパネルを表示し					
				ます。					
		MIB 取行	<b></b>	情報を取得する為のダイアログを表示しま					
				す。					
		拡 張	RMON	RMON 管理機能を起動します。					
		MIB管	管理						
		理	ホストリ	ホストリソース管理機能を起動します。					
			ソース管						
			理						
			プリンタ	プリンタ管理機能を起動します。					
			管理						
			UPS 管	UPS 管理機能を起動します。					
			理	<ul><li>(未実装です。)</li></ul>					
			SNMPv3	SNMPv3 管理機能を起動します。					
			管埋	<ul><li>(未実装です。)</li></ul>					
	監視制御	確認		選択したノードの現在の状態を表示しま					
				T.					
		冉ポーリ	ング	選択したノードへボーリングを行います。					
		監視一時	停止	選択したノードの監視を停止します。					
	編集	切り取り		選択したノードを切り取ってクリップホー					
		- 0		ドに保存します。					
		コピー		選択したノードをクリップホードに複写し					
		WI PA							
		削除		選択したノードを消去します。					
	フイン			装直間のフインを設定します。					
		切断		接続されているラインを消去します。					

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

右クリック場所	*	ニュー	説明					
パネル表示のポー	ポート制御	イネーブル	ポートを有効にします。デフォルトで選択					
下上			されています。					
		ディスイネーブ	ポートを無効にします。					
		IV						
	情報表示		インターフェイス情報を表示します。					
	トラフィック	7	traffic 情報を表示します。					

(b).パネル表示の右クリックメニューを以下に示します。

## (a).MAP ウィンドウのツールバーについて以下に示します。

<ツールバー>

		······(=/	~~~	=, ·		1914				 1914	<u>.,</u>	 	···· (±)	 · <u></u> /				
Ľ	) 🖻		Ŵ	Å	Ē	ß	<b>#</b>	Ļ,	<u> </u>	 3-	$\times$	Z	P	×	^-	Ŀ	e	?
at ter			1.															

ボタン名	説明
新規 MAP	ウィンドウに表示されている情報をクリアします。
開く	既存のファイルを開くためのダイアログを表示します。
保存	作業中の内容を保存するためのダイアログを表示します。
消去	ノードまたは接続点を消去します。
切り取り	マップに表示されている装置の選択範囲を切り取ってクリップボードに保
	存します。
コピー	マップに表示されている装置の選択範囲をクリップボードに複写します。
貼り付け	クリップボードの内容をマップに貼り付けます。
自動発見	自動発見一覧ダイアログを表示します。
ノード追加	手動でノードを設置します。
WAN 追加	WAN を新規に追加します。
ライン接続	装置間のラインを設定します。
ライン切断	接続されているラインを消去します。
マッププロパティ	マップのプロパティを表示します。
確認	選択された装置の現在の状態を表示ダイアログが表示されます。
ログ保存	ログを CSV 形式で保存します。
PING	PING を実行するダイアログを表示します。
MIB ブラウザ	MIB を表示するダイアログを表示します。
MIB設定	MIB を設定するダイアログを表示します。
ポーリング一覧	ポーリング一覧ダイアログを表示します。
グラフ表示	ポーリングログからグラフ表示を起動します。
TELNET	TELNET で装置に接続します。
Web 接続	HTTP で装置に接続します。
バージョン情報	MAP ウィンドウのバージョン情報ダイアログを表示します。

## (b).パネル表示ウィンドウのツールバーについて以下に示します。

<ツールバー>



ボタン名	説明
開く	既存のファイルを開くためのダイアログを表示します。
バージョン情報	パネル表示ウィンドウのバージョン情報ダイアログを表示します。

### (c).MIBBR ウィンドウのツールバーについて以下に示します。

<ツールバー>



ボタン名	説明
ファイル出力	表示されている情報をファイルに保存します。
コピー	選択範囲を指定してクリップボードに保存します
定期更新	現在表示されているリストを定期的に最新の情報に更新します。
更新	現在表示されているリストを最新の情報に更新します。
設定	設定された内容に従って定期更新をおこないます。
バージョン情報	MIBBR ウィンドウのバージョン情報ダイアログを表示します。
ヘルプ	マニュアルを表示します。

### (d).グラフ画面のツールバーについて以下に示します。

<ツールバー>



ボタン名	説明
保存	作業中の内容を保存するためのダイアログを表示します。
グラフ画像保存	表示されているグラフを BMP 形式で保存します。
バージョン情報	Traffic ウィンドウのバージョン情報ダイアログを表示します。

# ダイアログ詳細説明

## [自動発見]

<機能>

装置の自動発見を設定・実行するためのダイアログです。自動発見は、指定された IP アドレス を検索し装置を発見します。発見した装置をデータベースに登録し、MAP ウィンドウに表示しま す。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューの「管理ツール」-「自動発見」か、MAP の空白部分の右クリッ クメニューから「自動発見」か、または、ツールバーの<自動発見>をクリックします。

### <表示例>

自動発見	D	Pe		
<ul> <li>ファイルから検索</li> <li>マドレス範囲指定</li> </ul>	WAN LAN			開始 閉じる
開始アドレス 192.168.1.1	終了アドレス 192.168.1.254	▼ 名前の	解決にDNSを使う。	
SNMPE-K SNMPv1	▼ IFテーブルを確認	アドレスが設定され	れたI/Fを軽度で監護	現する。 👻
Community/User public	Password	•••••		
状況			0/:	254
発見割合			0/2	254
SNMP			0/0	0
IFテーブル			0/0	0
IP7トレス ノード名	sysObjectID	sysName	sysContact	sysLoca
•	m			+

#### <設定項目>

項目	設定内容
ファイルから検索	自動発見する IP アドレスをホストファイルから読み込みます。ホストフ
	ァイルは、<インストールフォルダ>¥Configの中に*.HSTという拡張
	子を付けて保存する必要があります。フォーマットは、通常のホストフ
	ァイルと同様に、IP アドレスを記載します。
検索モード	検索時のパケット間隔とタイムアウト、リトライの値を設定します。[WAN]
	の場合時間をかけて検索を実施します。[LAN]の場合は、検索を速く実
	施します。
アドレス範囲指定	自動発見する IP アドレスを、範囲で指定します。
開始アドレス	アドレス範囲指定の場合、最初の IP アドレスを指定します。
終了アドレス	アドレス範囲指定の場合、最後の IP アドレスを指定します。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
名前の解決に DNS を	装置名を決定するために DNS (ドメインネームシステム)を使用する場

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

使う	合にチェックします。DNS が動作していない環境ではチェックしないほ
	うが高速に検索できます。この場合、SNMP の sysName か IP アドレス
	によって、装置名を決定します。
Community/User	検索のための SNMP パケットを送信する時に使用する Community を指
	定します。検索するネットワークで設定されている Community を設定
	しないと SNMP 装置として認識できず、すべて IP 装置となります。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
状況	自動発見の状況をバーグラフで表示します。
発見割合	接続されている装置の発見割合をバーグラフで表示します。
SNMP	自動発見の状況をバーグラフで表示します。
IF テーブルを確認	発見時に IF の情報を取得します。
IFテーブル	選択したノードの IF の一覧です。
IFリスト	IF より取得した情報を一覧で表示します。
<開始>	自動発見を実施します。
	発見中は<停止>になり、クリックすると自動発見を停止します。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

# [ノードプロパティ(一般設定)]

<機能>

ノードを新規に作成したり、ノードの属性や基本的情報、監視ポーリングの基本パラメータを 表示/設定したりするためのダイアログです。

<起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「プロパティ」を実施するか、または、MAP ウィンドウのメニューから「編集」-「新設」-「ノード」を クリックします。

<表示例>

一般設定 インターフェイス/ポーリング設定 TRAP/通知設定
ノード属性
ノード名 Linux開発機 アイコン CPT
アアドレス 192.168.1.26 変更
MACアドレス 00:0A:7951:66:6A パネル C1000.VPN -
NICメーカ corega K.K. グラフ Port.trf 🗸
アドレスモード IP固定 ▼
管理情報
管理担当者 root@ 再取得
設置場所 Unknown
sysObjectID linux 学習
関連URL
ポーリング設定
ポーリング周期 🛛 🔻 秒 タイムアウト 🔷 🔻 秒 リトライ 🔷 💌 🛛
SNMPモード SNMPv1 ・ SNMPポート 161 ・
Community/User public
Password
■ 就業時間のみポーリング ■ 就業時間のみ通知 ■ 復帰時に自動確認
 のK キャンセル

### <設定項目>

項目	設定内容
ノード名	管理上の装置名称です。
IPアドレス	装置の IP アドレスです。複数の IP アドレス (インターフェイス) を持つ装
	置は、TWSNMP からポーリングパケットを送信する IP アドレスをさしま
	す。
MACアドレス	装置の MAC アドレスです。
NIC メーカ	MACアドレスから判断した NIC のメーカを表示します。
アドレスモード	ノードのIPアドレスについて以下のモードを設定します。
	IP固定:IPアドレスは設定したアドレスで固定です。
	MAC固定:MACアドレスを基準として、IPアドレスを変更します。
	DHCP環境などで使用します。
	ホスト名固定:ホスト名を基準としてDNSでIPアドレスを変更します。
	DDNSでIPアドレスが変わる場合などに使用します。

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

パネル	「管理ツール」- 「パネル表示」で、表示するパネルのファイル名を指定し
	ます。
トラフィック	グラフ表示するファイル名を指定します。
アイコン	装置を表すアイコンです。
<変更>	アイコンを変更するためのシンボル選択ダイアログを表示します。
管理担当者	このノードを管理している人の名前を書きます。SNMP から取得した場合
	は、そこに入ります。
<再取得>	管理担当者、設置場所、sysObjectID などを SNMP で再取得します。
設置場所	選択された装置の設置場所を設定します。
sysObjectID	この機器の種類を特定する番号です。
<学習>	自動認識設定ダイアログを表示します。
関連 URL	この装置に関連した URL です。WEB 接続を実施したときにこの URL を開
	きます。この設定が空白の場合は、デフォルトの WEB ポートに接続します。
ポーリング周期	ポーリングの実施間隔を選択します。
タイムアウト	ポーリングを強制終了させるまでの時間を選択します。
リトライ	ポーリングが異常終了した場合の再試行回数を選択します。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
SNMP ポート	SNMP エージェントと通信するポート番号を指定します。
	デフォルトは、161です。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名を設定します。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
就業時間のみ	指定した就業時間内のみ、ポーリングを行います。
ポーリング	
就業時間のみ通知	指定した就業時間内のみ、通知機能を実施します。
復帰時に自動確認	復帰した場合に、自動でユーザ確認を行い、正常状態表示に戻します。
<0K>	設定変更を適用して終了します。
<キャンセル>	設定変更を取り消して終了します。

# [ノードプロパティ(インターフェイス/ポーリング設定)]

<機能>

装置のインターフェイス及び、監視ポーリングの設定確認/変更を行います。

#### <起動方法>

ノードプロパティで、<インターフェイス/ポーリング設定>TABをクリックします。

<表示例>

監視レヘル	IP7ኑህス	動作状態監視MIB	正常値:異常値	運用状態監視MIB	イネーブル	値:ディスエーブ) ^
O OFF	127.0.0.1:softwareLoopback(24)	ifOperStatus.1	1:2	ifAdminStatus.1	1:2	=
O OFF	0000:131	ifOperStatus.2	1:2	ifAdminStatus.2	1:2	
O OFF	0.0.0.0:131	ifOperStatus.3	1:2	ifAdminStatus.3	1:2	
O OFF	0.0.0.0:ppp(23)	ifOperStatus.4	1:2	ifAdminStatus.4	1:2	
O OFF	0.0.0.0:ethernet-csmacd(6)	ifOperStatus5	1:2	ifAdminStatus.5	1:2	
O OFF	0.0.0.0:ethernet-csmacd(6)	ifOperStatus.6	1:2	ifAdminStatus.6	1:2	
O OFF	0.0.0.0:ppp(23)	ifOperStatus.7	1:2	ifAdminStatus.7	1:2	
C) OFF	0.0.0.0:ethernet-csmacd(6)	ifOperStatus.8	1:2	ifAdminStatus.8	1:2	-
<u>自動</u> ( ポーリング項	「アドレスが設定されたI/Fを軽度す	*監視する。 ▼	新規	編集)前除		
自動 作ーリング項 監視レヘル	<ul> <li>アドレスが設定された1/Fを軽度す</li> <li>目</li> <li>ポーリング</li> </ul>	雪詰視する。 ▼ ポーリング定義	新規	編集 削除		ポーリング間隔
自動 ポーリング項 監視レヘッル ● LOW	アドレスが設定されたレドを軽度 目 ポーリング IPレベル論が作業2個	雪監視する。 ▼   ポーリング定義 PING	新規	編集   削除	〕 LOG保存 しない	ポーリング間隔 0
自動 ポーリング項 監視レヘル ● LOW ● LOW	アドレスが設定されたレドを軽度 目 ポーリング IPレベル動作監視 DSKできな空量転現	≪監視する。 ▼ ポーリング定義 PING MIBGET:IDisk FreeMegaby	新規	編集 削除	し し の 保存 し ない 全て	ポーリング間隔 0 0
自動 ポーリング項 監視レヘッル ● LOW ● LOW	アドレスが設定されたレ/Fを軽度で           目           ポーリング           Pレベリ動作監視           DISK空を容量監視           新規topRetransSegs DO監視	*監視する。 ● ポーリング定義 PING MIBGET:IDiskFreeMegaby MIBGET:100.9*(tcpRetran	新規 tes.6.95.84.111.11( sSegs.0/tcpOutSe	編集 前除 397.108>1000:ABS gs.0)<100:ABS	LOG保存 しない 全て 変化時	ポーリング間隔 0 5
自動 ポーリング項 監視レヘル ● LOW ● LOW ● LOW	アドレスが設定されたじFを軽度で           目           ポーリング           IPレベル動作監視           DISK空き容量監視           新規にRetranscesのの監視           ブロセス監視	<ul> <li>監視する。</li> <li>ボーリング定義</li> <li>PING</li> <li>MIBGET:IDisk FreeMegaby</li> <li>MIBGET:100.0*(tcpRetran</li> <li>MIBGET:InSWRunName:L</li> </ul>	新規 ttes69584.111.110 sSegs.D/tcpOutSe smexe:PROC	編集 肖斯 397.108>1000:ABS es0)<100:ABS	LOG保存 しない 全て 変化時 しない	ポーリング間隔 0 0 5 10
自動 ポーリング項 監視レヘル ● LOW ● LOW ● LOW ● LOW	アドレスが設定されたレドを軽度で           目           ポーリング           IPレベル動作監視           DISK空き容量監視           新現セス監視           ノケFおの母や送信	<ul> <li>転視する。</li> <li>ボーリング定義</li> <li>PING</li> <li>MIBGET:IDiskFreeMegaby</li> <li>MIBGET:1004(topRetran</li> <li>MIBGET:IfOutOctet SP46)</li> <li>MIBGET:IfOutOctet SP46)</li> </ul>	新規 ttes 6 95 84.111.111 sSegs D/tcpOutSe smexe PROC 1000000>-1 D.PS	編集 肖斯 397.108>1000:ABS es.D)<100:ABS	し し な い 全 て で し な い 全 て し な い 全 て	ポーリング間隔 0 0 5 10 10
自動 ポーリング項 監視レヘル LOW LOW LOW LOW LOW LOW	アドレスが設定されたレドを軽度で      ボーリング     ドレベル動作監視     DISK空き容量監視      新規にpRetransSegs Dの監視     プロセス監視     レド#約の毎秒送信     レドの毎秒送信	*監視する。 ポーリング定義 PING MIBGET:IDiskFreeMegaby MIBGET:IOU0*(tcpRetran MIBGET:MOUTctets 9#4/10 MIBGET:ifInCctets 9#8/10	新規 tes 6 95 84.111.110 sSegs D/tcpOutSe mszc=PROC 1000000-1 D PS 000000-1 D PS	編集 肖晓 397.108>1000:ABS esD)<100:ABS	LOG(保存 しない 全て 変化時 しない 全て 全て	ポーリング間隔 0 0 5 10 10 10
自動 ポーリング項 監視しへ)ル しOW しOW しOW しOW しOW	アドレスが設定されたレドを軽度で           目           ポーリング           IPレベル動作監視           DISK空き容量監視           新規にRetranscessの監視           ブロセス監視           レ「F#9の毎秒送信           レ「F#9の毎秒受信	*監視する。 ポーリング定義 PING MIBGET:IDisk FreeMegaby MIBGET:100.0+(tcpRetran MIBGET:ifVNWRunNames) MIBGET:ifUnOctets 9*8/10	新規 tes 69584111.11 sSegs D/tcpOutSe smexePROC 1000000>-1 D.PS 00000>-1 D.PS	編集 前珍 397108>1000-ABS es 0)<100-ABS	LOG(保存 しない 全て 変化時 しない 全て 全て	ポーリング間隔 0 0 5 10 10 10

#### <設定項目>

項目	設定内容
インターフェイス	装置のインターフェイス情報を一覧で表示します。
<自動>	装置のインターフェイス情報を自動で取得します。
<新規>	IF設定ダイアログを起動して、対象装置に新規の監視項目を追加します。
<編集>	インターフェイスリストで選択した項目の編集ダイアログを表示します。
<削除>	インターフェイスリストで選択した監視項目を削除します。
ポーリング項目	装置の監視情報を一覧で表示します。
<自動>	自動的に監視方式を登録します。
	右の項目を選択することにより自動登録するI/Fのポーリング監視レ
	ベルを指定することができます。
<新規>	ポーリング設定ダイアログを起動して、対象の装置に新規の監視項目を
	追加します。
<編集>	ポーリングリストで選択した項目の編集ダイアログを表示します。
<削除>	ポーリングリストで選択した監視項目を削除します。
<ok></ok>	設定変更を適用して終了します。
<キャンセル>	設定変更を取り消して終了します。

# [ノードプロパティ (TRAP/通知設定)]

### <機能>

装置に関連する TRAP 受信フィルタ、通知設定を確認/設定変更するためのダイアログです。

### <起動方法>

ノードプロパティで、<TRAP/通知設定>TABをクリックします。

<表示例>

監視しベル	snmpTrapOID	アクション種別	7757aV	新規 編集 削除	
通知設定 監視しヘル	アウション種別	7752		新規 編集 削除	

<設定項目>

項目	設定内容
<b>TRAP</b> 設定	この装置に設定された TRAP フィルタ設定のリストを表示します。
<新規>	TRAP の設定ダイアログを起動して、新規の TRAP フィルタ項目を追加しま
	す。
<編集>	TRAP 設定リストで選択した項目の編集ダイアログを表示します。
<削除>	TRAP 設定リストで選択した項目を削除します。
通知設定	この装置に設定された監視ポーリングのうち、メール通知、コマンド実行が
	設定されたものをリスト表示します。
<新規>	通知の設定ダイアログを起動して、新規項目を追加します。
<編集>	通知設定リストで選択した項目の編集ダイアログを表示します。
<削除>	通知設定リストで選択した項目を削除します。
# [自動認識設定]

### <機能>

SNMP 対応のノードを自動発見後に、アイコンやトラフィック、パネルの設定を変更した後、 その設定を、次回自動発見時に適用させることができます。

### <起動方法>

ノードプロパティの、<一般設定>ダイアログで[管理情報]の<学習>をクリックします。

<表示例>

自動認識設定	Ē				X
sysObjectID	NONESNM	P		<<	設定
アイコン		変更			取消
バネル	AUTO		<ul> <li>グラフ</li> </ul>	Port.trf	•

項目	設定内容
sysObjectID	機器の種類を特定する番号です。これが同じものを次回発見した場合に、同
	じ設定を適用させます。
<<<>>	MIB ツリーを表示します。
アイコン	アイコンを指定します。
<変更>	「シンボル選択」ダイアログを表示します。
パネル	パネル表示をしたときのパネルを指定します。
グラフ	グラフ表示する時の表示方式を指定します。
<設定>	設定変更を適用して終了します。
<取消>	設定変更を取り消して終了します。

# [ポーリング追加]

### <機能>

選択された装置の監視内容を設定します。

#### <起動方法>

ノードプロパティの、<インターフェイス/ポーリング設定>ダイアログで[ポーリング項目] の<新規>をクリックします。

<表示例>

視レベル OFF		い		
ループ 全な	ループ 🔹	方式追加 方式編集 方式削除 取消		
グループ	ポーリング	ポーリング定義		
RMON管理	RMONモニタポート\$のブロードキャスト割合	MIBGET: 100.0*etherStatsBroadcastPkts.\$i/etherStatsPkts.\$i>-1.0		
RMON管理	RMONモニタポート\$のマルチキャスト/ブロードキャスト割合	MIBGET: 100.0*(etherStatsBroadcastPkts.\$i+etherStatsMulticastPk		
● TWProbe管理	TwProbe温度監視(\$)	MIBGET:twHwMonTempLastVal.\$i*0.001<70.0:ABS		
● TWProbe管理	置 無線LAN帯域(Mbps)	MIBGET:twWRMonStatBytes.0*0.000008>-1.0:APS		
● TWProbe管理	L snort每秒攻撃数	MIBGET:twPSnAlertTotal.0<1.0:PS		
<ul> <li>UPS管理</li> </ul>	UPSバッテリー状態	MIBGET:upsBatteryStatus.0=2:ABS		
■ UPS管理	UPS出力#\$i電力値(W)	MIBGET:upsOutputPower.\$>-1:ABS		
<ul> <li>UPS管理</li> </ul>	UPS出力#\$@流値(x0.1A)	MIBGET:upsOutputCurrent.\$i>-1:ABS		
<ul> <li>UPS管理</li> </ul>	UPS出力#\$P電圧値(V)	MIBGET:upsOutputVoltage.\$>-1:ABS		
<ul> <li>UPS管理</li> </ul>	UPSバッテリー電流(x0.1A)	MIBGET:upsBatteryCurrent.0>-1:ABS		
■ UPS管理	UPSバッテリー動作時間(秒)	MIBGET:upsSecondsOnBattery.0>-1:ABS		
● UPS管理	UPS出力#\$1負荷(%)	MIBGET:upsOutputPercentLoad. \$i>-1:ABS		
● UPS管理	UPS入力#\$P電圧値(W)	MIBGET:upsInputTruePower.\$i>-1:ABS		
<ul> <li>UPS管理</li> </ul>	UPS入力#\$P電流値(x0.1A)	MIBGET:upsInputCurrent.\$i>-1:ABS		
● UPS管理	UPS入力#\$P電圧値(V)	MIBGET:upsInputVoltage.\$i>-1:ABS		
■ UPS管理	UPSパッテリー残時間(分)	MIBGET:upsEstimatedMinutesRemaining.0>0:ABS		
UPS管理	UPS/ヾッテリー温度(℃)	MIBGET:upsBatteryTemperature.0>-1:ABS		
<ul> <li>UPS管理</li> </ul>	UPSバッテリー電圧値(x0.1V)	MIBGET:upsBatteryVoltage.0>-1:ABS		
	110cパッテリー)建母(の/)	MIRCET-uncEstimatedChargeDemaining 0.50+ARS		

項目	設定内容
グループ	監視方法のグループでフィルタ表示します。
監視レベル	監視レベルを選択します。
インデックス	インデックスを指定します。
間隔	ポーリングの間隔を指定します。
ログ保存	その監視方式で監視したログをメモリに保存します。
監視方式リスト	種別毎に監視リストが表示されます。
<方式追加>	監視方式を追加します。
<方式編集>	リストから選択した監視方式を編集します。
<方式削除>	リストから選択した監視方式を削除します。
<設定>	設定変更を適用して終了します。
<取消>	設定変更を取り消して終了します。

## [ポーリング方式設定]

<機能>

「ポーリング追加」ダイアログで、監視方式を追加・編集します。

<起動方法>

「ポーリング追加」ダイアログで、<方式追加>または、<方式編集>をクリックします。

<表示例>

ポーリング方式設定	X
ポーリング RMONモニタポート\$のマルチキャスト/ブロードキ	**スト割合         設定
定義 MIBGET: 100.0*(etherStatsBroadcastPkts.\$i+e	therStatsMulticastPkts << 取消
グループ RMON管理	•

<設定項目>

項目	設定内容		
ポーリング	ポーリング方式の名称を入力します。		
定義	ポーリングの定義を指定します。		
<<<>>	MIBツリーダイアログを表示します。		
グループ	ポーリング属するグループを選択又は新規登録します。		
<設定>	設定変更を適用して終了します。		
<取消>	設定変更を取り消して終了します。		

# [ポーリング設定]

<機能>

選択された装置の監視内容を編集します。

<起動方法>

ノードプロパティの、<インターフェイス/ポーリング設定>ダイアログで[ポーリング項目] の監視項目を選択し、<編集>をクリックします。

<表示例>

ボーリング設	定	
監視レヘル	Low <ul> <li>ログ記録 なし  <ul> <li>間隔 0</li> <li>秒</li> </ul> </li> </ul>	設定
設定	PING	
記明	IPレベル動作監視	

<設定項目>

項目	設定内容		
監視レベル	監視レベルを選択します。		
ログ記録	その監視方式で監視したログをメモリに記録します。		
間隔	ポーリングの間隔を指定します。		
設定	監視方式を指定します。		

説明	監視方法の内容を入力します。
<設定>	設定変更を適用して終了します。
<取消>	設定変更を取り消して終了します。

# [IF設定]

### <機能>

選択された装置のインターフェイスを監視するための設定です。

#### <起動方法>

ノードプロパティの、<インターフェイス/ポーリング設定>ダイアログで[インターフェイス] の<新規>または、<編集>をクリックします。

<表示例>

I/F設定		A second	and and a second se	×
監視レベル	OFF	•	C	設定
IP7ドレス	192.168.154	. 1:etheri		取消
間隔	0	秒		
動作状態	ifOperStatus	. 16		<<
正常値	1	異常値	2	
制御状態	ifAdminStatu	s. 16		<<
正常値	1	異常値	2	

### <設定項目>

項目	設定内容
監視レベル	監視レベルを選択します。
IPアドレス	監視する IP アドレスを設定します。
間隔	ポーリングの間隔を設定します。
動作状態	I/Fの実際の動作状態を監視するための設定をします。
< << >	MIBツリーダイアログを表示します。
正常値	動作中の値を設定します。
異常値	停止中の値を設定します。
制御状態	I/Fの動作設定の状態を監視するための設定をします。
< << >	MIBツリーダイアログを表示します。
正常値	起動中の値を設定します。
異常値	停止中の値を設定します。
<設定>	設定変更を適用して終了します。
<取消>	設定変更を取り消して終了します。

インターフェイスの監視は、上記で設定した動作状態と制御状態から

制御	<b>『</b> 状態	動作状態	判断	
起動	b	動作中	正常	
起動	b	停止	異常	
停止	-	停止	正常	(但し停止)
停止	-	動作	?	(ありえない)

とういう判断をするためのものです。

# [TRAPの設定]

<機能>

ノードプロパティの<TRAP/通知設定>ダイアログまたは MAP プロパティの<MAP ログ& 通知設定>ダイアログで、TRAP 受信時の動作を設定します。

#### <起動方法>

ノードプロパティの<TRAP/通知設定>ダイアログまたは MAP プロパティの<MAP ログ& 通知設定>ダイアログで、[TRAP 設定]の<新規>または<編集>をクリックします。

<表示例>

TRAPの設定		x
監視レベル	LOW	設定
TRAP仍種類(sn	mpTrapOID)	取消
linkDown	< <	
TRAP情報判定	(正規表現による判定)	
.*ifIndex¥.1.	*	
アクション種別	MAIL	
電子メール宛先		
ymi@twise.co	).jp	<<
タイトル		
test		
本文		
dassdasa		
■ ymi@twise.co タイトル test 本文 dassdasa	۲ ح ۲ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ	

## <設定項目>

項目	設定内容
監視レベル	監視レベルを選択します。
TRAPの種類	<b>TRAP</b> 識別子を指定します。
(snmpTrapOID)	
<<<>>	MIB ツリーを表示します。
T R A P 情報判定	正規表現によるマッチングで、TRAPの情報を判断します。
アクション種別	ファイルを起動するか、メール通知するかを指定します。
電子メール宛先/	ファイル起動する場合は、対象ファイルのパスを指定します。
実行コマンド	電子メールを送信する場合は、宛先のメールアドレスを指定します。
タイトル	電子メールの場合、タイトル(To)を入力します。
本文	電子メールの場合、本文を入力します。
<設定>	設定変更を適用して終了します。
<取消>	設定変更を取り消して終了します。

※TRAP受信での通知、外部コマンドの実行に指定可能な変数は、通知の設定と同じです。通知設定の説明を参照ください。

# [通知の設定]

<機能>

ノードプロパティの<TRAP/通知設定>ダイアログまたは MAP プロパティの<MAP ログ& 通知設定>ダイアログで、異常発生時の通知動作を設定します。

<起動方法>

ノードプロパティの<TRAP/通知設定>ダイアログまたは MAP プロパティの<MAP ログ& 通知設定>ダイアログで、[通知設定]の<新規>または<編集>をクリックします。

<表示例>

ノード	指定しない		設定
監視レベル	LOG	- 復帰時にも通知	取消
LOG検索文字	戸(正規表現による指定)	)	
.*SNMP∨3≣2	清正.*		
アクション種別	MAIL	•	
電子メール宛	洗 /実行コマンド		
ymi@twise.c	co.jp		<
タイトル			
TWSNMP通知	EI \$NODE		
本文			
ŞEVENT			
※コマンド、タ \$MAC,\$SYSL	イトル、本文で、\$TYPE(a OC,\$SYSCON,\$EVENTA	↓種別、 <mark>\$NODE</mark> はノード名、 どの変数が使用できます。	

### <設定項目>

項目	設定内容
ノード	ノードを特定します。(ログから作成する場合のみ選択できます。)
監視レベル	監視レベルを選択します。
LOG検索文字	正規表現によりログの文字列をマッチングします。監視レベルがログの
	場合のみ指定できます。
アクション種別	ファイルを起動するか、メール通知するかを指定します。
復帰時にも通知	ポーリングが障害状態から復帰した場合にも通知します。
電子メール宛先/	ファイル起動する場合は、対象ファイルのパスを指定します。
実行コマンド	電子メールを送信する場合は、宛先のメールアドレスを指定します。
タイトル	電子メールの場合、タイトル(To)を入力します。
本文	電子メールの場合、本文を入力します。
<設定>	設定変更を適用して終了します。
<取消>	設定変更を取り消して終了します。
コマンド、タイトノ	レ、本文には以下の変数を利用できます。

\$TYPE: ノード種別
\$NODE: ノード名
\$EVENT: イベント内容
\$MAC : MACアドレス
\$SYSCON: 管理者名
\$SYSLOC: 設置場所
\$NOW : 現在日時(通知、外部コマンド実行時)
\$IP : IPアドレス
\$STATE: ノードの状態名
\$PSTATE:原因となったポーリングの状態値を示します。 (2=復帰、4=軽度、5=重度)

Ver 4.9 以降の追加変数

\$AVGRES:平均応答時間
 \$LASTRES:最終応答時間
 \$TOTALCOUNT:トータルポーリング数
 \$OKCOUNT:正常回数
 \$VAL:数値の値(判定した数値)
 \$SVAL:文字列の最終取得MIB値

さらに本文では以下の変数も利用できます。 **\$LOG:最新20**件のログ

# [MAPプロパティ (MAP一般設定)]

<機能>

MAP ウィンドウの属性を設定します。

<起動方法>

MAP ウィンドウで、何も選択しない状態で右クリックします。表示されたメニューの「MAP プロパティ」または、メニューの「編集」-「MAP プロパティ」を実施します。

<表示例>

	×
MAP一般設定   MAP省景設定   MAPログ&通知設定	
- デフォルト値 SNMPv3情報 EngID=0x80001F8880B71B0000B547B249(EID:8072 Type(128):B71B0000B547B249)Boots=211 Time=1(	
ポーリング間隔 60 ▼ 秒 タイムアウト 1 ▼ 秒 リトライ 3 ▼ 回 ▼ 不明=>正常の変化も通知 SNMPモード SNMPu1 ▼ Community public Password ******	
syslogまえた syslogポート 514 ▼ 「syslogの障害で通知する。 syslogログレベル 注意以上 ▼	
DHCPMACアドレスモニタ設定 ▼ DHCPをモニタする。 ▼ DHCP通信のログを最小限にする。 ▼ MACアドレス変化のログを記録しない。	
- TRAP 設定 TRAPポート 受信しない ▼ ▼ SNMPv3の認証エラーTRAPは無視する。	
BEEP設定     60     砂間隔でならす。       ① 重度障害の時だけならす。     60     砂間隔でならす。       ○ 軽度障害でもならす。     音色       ④ 第にならさな()     ○HIMES WAY	
■ 「「「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	
実行コマンド	
OK	キャンセル

## <設定項目>

項目	設定内容
デフォルト値	自動設定を行った際、装置を監視する値が設定されます。
SNMPv3 情報	SNMPv3 のエンジン ID などの情報です。
ポーリング間隔	ポーリングの実施周期を選択します。(数値入力可)
タイムアウト	ポーリングを強制終了させるまでの時間を選択します。(数値入力可)
リトライ	ポーリングが異常終了した場合の再試行回数を選択します。(数値入
	力可)
不明=>正常の変化も通知	不明から正常に変化した時も通知を行います。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名を設定します。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
Syslog 受信ポート	Syslog パケットを受信するポート番号を指定します。
syslog の障害で通知する。	syslogの障害を検知した時に通知します。「\$i」が記述してあるポー
	リングを追加します。

syslog ログレベル	Syslog 受信時に、イベントログに記録するレベルを設定します。
	全て/注意以上/軽度以上/重度以上 があります。
DHCP をモニタする。	DHCP サーバ/クライアントの送受信パケットをモニタし、ログに
	出力します。
DHCP通信のログを最小限	DHCPモニタでINFORM, DISCOVER, OFFER などのログを記録し
にする。	ない。
MAC アドレス変化時に、	ARP テーブルで、MAC アドレスの変化を検出した時に、
ログ記録しない。	ログに記録しない。
TRAP ポート	TRAP の受信ポート番号を指定します。
SNMPv3 認証エラーを無	SNMPv3 の認証エラーTRAP を無視します。
視する。	
TRAP ポート	TRAP を受信するポート番号を指定します。
BEEP 設定	障害が発生した際の障害音の設定を行います。
重度障害の時だけならす。	選択されていた場合、重度障害が発生した場合警報音を鳴らします。
軽度障害でもならす。	選択されていた場合、軽度障害でも警報音を鳴らします。
常にならさない。	選択されていた場合、障害が発生しても警報音は鳴らしません。
秒間隔でならす	警報音を鳴らす間隔を選択します。
音色	音色を選択します。
<TEST $>$	実際の音色を鳴らします。
実行コマンド	MAPの稼働率(正常ノード数/監視対象ノード数)が変化した場
	合に実行するコマンドを設定します。警告灯の点灯制御などに使用
	できます。以下の変数が設定できます。
	<b>\$MAPSTATE</b> :マップ自体の状態です。1=正常、2=復帰、4=
	軽度、5=重度
	\$OPRATE:稼働率
< OK >	設定変更を適用して終了します。
<キャンセル>	設定変更を取り消して終了します。

# [MAPプロパティ (MAP背景設定)]

<機能>

配置マップの属性を設定します。

<起動方法>

MAP プロパティで、<MAP 背景設定>TAB をクリックします。

<表示例>



項目	設定内容
背景色	背景の色を RGB 値で指定します。<自動>ボタンで、背景画像の(0, 0)
	の点の色を取得します。
背景ファイル名	マップの背景に表示するビットマップファイルを選択します。ファイルは、
	Windows ビットマップ(BMP)形式で、<インストールフォルダ>¥BITMAP
	に保存されたファイルを選択できます。
プレビュー	背景の表示イメージを表示します。
倍率	背景ビットマップの表示倍率を指定します。

# [MAPプロパティ (MAPログ&通知設定)]

<機能>

ログ設定及び、障害発生時の通知方法確認、または設定変更を行うためのダイアログです。 <起動方法>

- MAP プロパティで、<MAP ログ&通知設定>TAB をクリックします。
- <表示例>

表示件数	50000	<sup>RAE</sup> 50000 ▼ 件							
定期レポー 送信先	۲۰۰۰ root@twi	se.co.jp,ymi@twi	se.co.jp					添付ログ	試験送信
定期レポー 保存先	h D:¥testvr	n¥					<<	保存ログ	試験保存
Windows イベントログ	出力しなの	) <del>.</del>	৴ৢ৸৸৾৾৾৾৵৵৸৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾৾						
電子メール影	定								
メールサーノ	۲ mail.twise	.co.jp:587		差し出し人	ymi@tu	wise.co.jp			
認証モード	CRAM-M	05	▼ ユーザ名	ymi@twise.co.	ip	パスワード	•••		
ТРАР₩Э									
監視レベル	TRAP識別子	アクション種別	アクション定義		TRAP検索	索文字列			新規
o low	linkDown	MAIL	ymi@twise.co	.jptestdassdasa	*ifIndex¥	¥.1.*			編集
									间除
通知設定									
監視レベル	アクション種別	アウション定義			LOG検	索文字列			新規
😑 LOG	MAIL	AIL ymi@twise.co.jpTWSNMP通知 \$NODE \$EVEN		T .*SNM	P∨3認証*			編集	
									削除

<設定項目>

項目	設定内容
表示件数	ログの表示件数を選択します。
	また、指定した件数にファイルを定期的に縮小します。この作業は夜中に実
	施されます。
定期レポート	定期レポートの送信先メールアドレスを設定します。
送信先	送信は、次のメール送信タイミングに送信されるため、時間がかかります。
	電子メール設定(メールサーバなど)がされていない場合、送信できません。
添付ログ	定期レポートメールに添付するポーリングログを選択します。
<試験送信>	定期レポートを試験送信します。
定期レポート	定期レポートをファイルとして保存するディレクトリを指定します。
保存先	
保存ログ	定期レポートで保存するポーリングログを選択します。
試験保存	定期レポートを試験的に保存します。
Windows	Windows のイベントログに、TWSNMP のログを出力する設定を行います。
イベントログ	出力しない:出力しません。
	軽度以上:軽度以上のログだけ出力します。
	重度以上:重度以上のログだけ出力します。

	すべて: すべてのログを出力します。
フォーマット	Windowsイベントログに出力する場合のメッセージフォーマットを指定しま
	す。次の変数が使用できます。
	\$TYPE:ログの種別に変換します。
	\$NODE:関連ノード名に変換します。
	<b>\$STATE</b> :状態名に変換します。
	\$EVENT:イベントに変換します。
電子メール設定	メールの発信元となるサーバと差出人を設定します。
メールサーバ	通知メールを送信するためのメールサーバを設定します。
差出人名	通知メールを送信する人の名前を設定します。
認証モード	SMTP 認証モードを設定します。
	認証なし/POP Before SMTP/LOGIN/CRAM-MD5
	に対応しています。
ユーザ名	SMTP 認証時のユーザ名を指定します。
パスワード	SMTP 認証時のパスワードを指定します。
<b>TRAP</b> 設定	この装置に設定された TRAP フィルタ設定のリストを表示します。
<新規>	TRAP の設定ダイアログを起動して、新規の TRAP フィルタ項目を追加しま
	す。
<編集>	TRAP 設定リストで選択した項目の編集ダイアログを表示します。
<削除>	TRAP 設定リストで選択した項目を削除します。
通知設定	この装置に設定された監視ポーリングのうち、メール通知、コマンド実行が
	設定されたものをリスト表示します。
<新規>	通知の設定ダイアログを起動して、新規項目を追加します。
<編集>	通知設定リストで選択した項目の編集ダイアログを表示します。
<削除>	通知設定リストで選択した項目を削除します。

# [MIBツリー]

<機能>

監視設定、IF 設定、TRAP フィルタ設定、MIB ブラウザなどで、MIB 項目を入力する場合で 使用します。TWSNMP で読み込まれている MIB データベースをツリー状に表示して項目を選択 可能にします。

<起動方法>

監視設定、IF 設定、TRAP フィルタ設定、MIB ブラウザなどで、<<<>をクリックします。

<表示例>



<設定項目>

設定内容
MIB ツリーで選択したオブジェクト名を表示します。
チェックをつけて、MIB ツリーからアイコンがフォルダの[xxxxTable]を選
択すると(xxxx は任意)、[xxxxTable]のツリーで2つ下の階層までの、先
頭のアイコンが・か○のものが全部追加されます。OFF の場合、[xxxxTable]
が追加されます。
ツリーで選択した名前に、インデックス部分を追加するかどうかを指定し
ます。
選択した種類の MIB 項目をツリーに表示します。
入力した文字を含む MIB オブジェクトを検索します。
ツリーの選択した位置から下位にあるものだけを検索します。
TWSNMP が読み込んでいる MIB をツリー状に表示します。 先頭がフォル
ダアイコンのものは、グループを表し、開くことができます。先頭が■の
アイコンのものは、MIB オブジェクトを示します。先頭が緑色の〇アイコ
ンのものは、SET 可能な MIB オブジェクトです。
選択した MIB オブジェクトの説明が、下欄に表示されます。
設定を適用して終了します。
設定を取り消して終了します。

# [MIB取得項目選択]

<機能>

選択した装置の MIB を取得するための項目を設定します。

<起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「SNMP 管理」-「MIB 取得」をクリックかまたは、装置選択後 MAP ウィンドウのメニューから「SNMP 管理」-「MIB 取得」をクリックします。

<表示例>

MIB取得項目選択		$\mathbf{X}$
定義ファイル	<b>_</b>	設定
インデックス		取消

項目	設定内容
定義ファイル	登録されたファイルリストを表示します。
インデックス	定義ファイルにインデックスがない場合、つけるためのものです。
<設定>	MIBの取得を実行し結果を表示します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

# [MIB取得設定]

## <機能>

MIB 取得ウィンドウにてポーリング条件を設定します。

## <起動方法>

MIB 取得ウィンドウで、メニューの「設定」-「設定」をクリックします。

<表示例>

設定		×
IPアドレス	192.168.0.231 []][]][]][]][]][]][]][]][]][]][]][]][]]	
ポーリング周期	60 • 秒	
リトライ	3 💌 🛛 タイムアウト 1 💌 ;	杪
SNMPモード	SNMPv1	
Community/User	public	_
Password	*****	_

項目	設定内容		
IPアドレス	対象となるノードの IP アドレスです。		
ポーリング間隔	ポーリングの間隔を秒単位で指定します。		
リトライ	再試行の回数(0は1回のみポーリングを実施)を指定します。		
タイムアウト	タイムアウト時間を指定します。		
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。		
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名を設定します。		
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。		
<設定>	設定内容を適用して終了します。		
<取消>	設定を取り消して終了します。		

# [MIBブラウザ]

<機能>

監視対象の MIB を取得します。

<起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「管理ツール」-「MIB ブラウザ」をクリックかまたは、装置選択後ツールの「管理ツール」-「MIB ブラウザ」をクリックします。

<表示例>



項目	設定内容		
ノード名	対象の装置の装置名です。変更することはできません。		
IP アドレス	対象の装置の IP アドレスを示します。変更することはできません。		
SNMP モード	SNMP のモート	「を指定します。	
Community/User	ポーリングする	場合の、Community 名を設定します。	
Password	SNMPv3 モート	ド時のパスワードを指定します。	
リトライ	再試行回数を選	択します。	
タイムアウト	強制終了させる	までの時間を選択します。	
MIB 項目	取得する MIB ц	<b>頁目のリストを表示します。</b>	
<追加>	MIBツリーのダイアログが表示されます。		
<削除>	MIB 項目のリストで選択されたオブジェクトを削除します。		
リスト表示	実行結果を一覧で表示します。		
モード	取得、表示するモードです。		
	通常 そのまま、1個だけ取得します。		
	テーブル	指定したテーブルの全体を取得して、表形式で、表示し	
	ます。		
	Walk 指定した名前の下にあるオブジェクトを全部指定します。		
	Bulk モード Bulk モードを使用する場合にチェックをつけます。		
<実行>	MIBツリーで選択したオブジェクトの情報が一覧に表示されます。		
<閉じる>	このダイアログを終了します。		
<複写>	実行結果の内容をクリップボードに複写します。		
<保存>	実行結果の内容をファイルに保存します。		
<順序確認>	Walk モードで MIB を取得した場合、OID の順序を確認します。		
<ポーリング登録>	取得した情報からす。ポーリングを作成します。		
	リストから対象となる項目を選択して、このボタンをクリックします。		

# [MIBツール]

## <機能>

TWSNMPマネージャに読み込む、MIBデータベースと MIB 説明ファイルの管理を行います。

### <起動方法>

メニューの「SNMP 管理」-「MIB ツール」をクリックします。

<表示例>

мву-л
読み込んだMIBファイル
ACEUTIX-MID たた BRIDGE-MID.tot DISMAN-SCHEDULE-MID.tot DISMAN-SCHEDULE-MID.tot DISMAN-SCHEDULE-MID.tot EtherLike-MID.tot H-CALARM-MID.tot H-CALARM-MID.tot H-CALARM-MID.tot H-CALARM-MID.tot MID河リー MID再読込
MIB説知月ファイル           MIBモジュール
, MIB説明ファイル 
MIB読込エラー

項目	設定内容
読み込んだ	TWSNMPマネージャが読み込んでいる MIBファイルの一覧です。
MIB ファイル	削除/編集するファイルを選択できます。
<追加>	MIB 定義ファイルを追加します。MIB モジュールファイルの他、RFC か
	ら直接追加できます。追加されるファイル名は MIB モジュール名+.TXT
	の形式になります。
<編集>	選択した MIB モジュールファイルをテキストエディタで開きます。
	保存後に、 <mib 再読込="">を行ってください。</mib>
<削除>	選択した MIB モジュールファイルを削除します。
	注意:削除するとポーリングできなくなる場合があります。
<mib ツリー=""></mib>	MIBツリーダイアログを表示します。
<mib 再読込=""></mib>	MIB ファイルを再度読込ます。編集して保存後などに実行してください。
MIB モジュール	読み込んでいる MIB モジュールの一覧です。
<作成>	選択した MIB モジュールに含まれる定義の説明ファイルを作成します。
MIB 説明ファイル	読み込んでいる MIB 説明ファイルの一覧です。
<追加>	MIB 説明ファイルを追加します。
<編集>	選択した MIB 説明ファイルを、テキストエディタで開きます。
<削除>	選択した MIB 説明ファイルを削除します。
	注意:削除すると説明文が無くなる場合があります。
MIB 読込エラー	MIB 読込時に検出した ASN.1 の文法エラーを表示します。
	文法エラーがない場合は、空欄です。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

# [MIB設定]

## <機能>

監視対象の MIB を取得設定します。

### <起動方法>

MAP ウィンドウで、対象ノードを選択します。右クリックメニューの「SNMP 管理」-「MIB 設定」、メニューの「SNMP 管理」-「MIB 設定」、ツールバーの「MIB 設定」のいずれかを実 行します。次のダイアログが表示されます。

<表示例>

AIB設定					
ノード名 SNMPモード Community/Use	192.168.0.1 SNMPv1 public	<u>▼</u> UF∋-	IPアドレス  192.1 イ 3 ▼ き	6801 バムアウト 1 💽	閉じる 設定(SET) 取得(GET)
Password 全選択 全	****** A76:	主前順余		Index変更	<u>MIBウリー</u> 読込 保存
状况	MIB項目	現在値	変更値	説明	
□ 〇 未送信	ipv6lfDescr.0			新規	
□ ○ 未送信	ipv6lfldentifier.0			新規	
□ ○ 未送信	ipv6lfldentifierLength.0			新規	
	ipvbltAdminStatus.0			<b>莉規</b>	
J					

項目	設定内容
ノード名	対象となるノードの名称です。
IP アドレス	対象となるノードの IP アドレスを示します。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名を設定します。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
リトライ	リトライ回数です。
タイムアウト	タイムアウト値です。
<全選択>	設定リストのすべてにチェックを付けます。
<全解除>	設定リストのすべてのチェックを解除します。
<削除>	リストから選択された項目を削除します。
<全削除>	すべてのリストを削除します。
<index 変更=""></index>	リストでチェックした項目のインデックス値を、テキストエリアで
	指定した値に一括変更します。
MIB 項目	取得または設定する MIB 項目のリストを表示します。設定する場合
	は、値の列をクリックして値を入力します。先頭のチェックボック
	スにチェックすることにより、取得、設定の対象とします。
<閉じる>	このダイアログを終了します。
<設定(SET)>	設定を実行します。
<取得(GET)>	取得を実行します。
<mib ツリー=""></mib>	MIB ツリーダイアログから MIB 項目を選択します。MIB グループ
	を選択した場合、配下のSET可能なオブジェクトを全て追加します。
<読込>	保存されたファイルからリストに追加します。
<保存>	現在の設定リストをファイルに保存します。

# [一括確認]

<機能>

MAP ウィンドウで装置を複数選択した場合、一度に確認を行います。

<起動方法>

MAP ウィンドウで対象の全ての装置を選択し、ツールの「監視制御」-「確認」をクリックします。

<表示例>

一括確認		×
確認内容	一括確認	■ ₩22
	,	

項目	設定内容
確認内容	確認したい項目をリストから選択します。
<確認>	確認を実行します。
<取消>	確認をしないで終了します。

# [グリッド設定]

## <機能>

MAP ウィンドウで選択した装置の整列を行います。

### <起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、メニューから「編集」-「グリッド整列」をクリックします。

<表示例>

グリッド 設定		
グリッド値 <mark>64</mark> ▼ RINGを除外する。	•	

項目	設定内容
グリッド値	確認したい項目をリストから選択します。
RING を除外する。	アイコンを、64×64のグリッドに移動しますが、RINGのTAPも含め
	ると円が崩れるので、除外します。
<設定>	設定を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

# [シンボル選択]

### <機能>

選択した装置のアイコンを変更する為のダイアログです。

#### <起動方法>

または MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「プロパティ」クリックで表示されたダイアログの<変更>をクリックします。

<表示例>



項目	設定内容
シンボルリスト	選択するシンボルを表示します。変更したいシンボルを選択状態にします。
< OK >	設定変更を適用して終了します。
<キャンセル>	設定変更を取り消して終了します。
<適用>	設定変更を適用します。
<ヘルプ>	マニュアルを表示します。

# [ノード現在状態]

### <機能>

選択した装置の現在の状態を表示します。

<起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、装置を選択し右クリックします。表示されるメニューの「状態表示」をクリックまたは、「監視制御」-「確認」をクリックするか、ツールバーの<確認>をクリックします。

<表示例>

ノートリる新聞										市松
/_K	192, 168, 0, 2	36	IP7867	192	168.0.236	MA	77K1/2 44:4D:50:	E1:3A:C3		
	1.0211001012		= / 1 / / /	1.02						プロパラ
管理担当						易所				WakeOn
_	78 - 01-24%							_		wakeon
•	現在の状態 監視対象と インターフェイ 監視対象へ しかし、障害	・180% のIPレベルでの (ス監視を行っ のボーリングに が発生したこ	D通信は可 っていません :問題はあり とがありま:	「能です /。 りません す。	t。しかし、通 ^。	信不可になっ	たことがあります。	T T		閉じ
翻訳内容							▼ 確認			
インターフェ	۲ <u>۵</u> ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ									
状態	監視レベル	インデックス	₽7ŀЪ	z [[	回数	稼働率	確認時刻			OFF
										-
										发史
ポーリングゴ	[目	藍油道日		回業4	稼働主	福田橋刻	平均広答時間	墨絲債		LOG表:
ポーリングゴ   状態 ● 復帰	目 監視レベル LOW	監視項目		回数 36	稼働率	確認時刻 15:00:19	 平均応答時間  7ms	<u>最終値</u> 0.0070	0	LOG表:
ポーリングゴ                 別骨	町 監視レベル LOW	監視項目		回数 36	<b>稼働率</b> 88.89%	储設時刻 15:00:19	平均応答時間 7ms	<u>最終値</u> 0.0070	<u>ログ保存</u> 0	LOG表:
ポーリング3     状態   ● 1復9番	町日 「監視レヘル」 LOW	監視項目		回数 36	<b>稼働率</b> 88.89%	i確認時刻 15:00:19	平均応答時間 7ms	最終値 0.0070	<u>ログ保存</u> 0	LOG表 LOG消 LOG保
ポーリングゴ  状態  ● 復月春	町 藍視いいル LOW	監視項目		回数 36	<b>稼働</b> 率 88.89%	i確認時刻 15:00:19	平均応答時間 7ms	最終値 0.0070	0 0	<ul> <li>LOG表</li> <li>LOG消</li> <li>LOG(保</li> <li>OFF</li> </ul>
ポーリングゴ   状態 ● 祖別帝	町 LOW	監視項目		回数 36	<b>稼働率</b> 88.89%	確認時刻  15:00:19	平均応答時間 7ms	<u>最終値</u> 0.0070	<u>ログ保存</u> 0	数 LOG读 LOG诮 LOG保 OFF
ポーリングゴ  状態 ● 復9章   <	頁目 「監視レヘîル」 LOW	監視項目		回数 36	<b>稼働率</b> 88.89%	<b>始起20</b> 特刻 15:00:19	平均応答時間 7ms	最終値 0.0070	ログ保存 0	<ul> <li>LOG表:</li> <li>LOG消</li> <li>LOG(保</li> <li>OFF</li> <li>変更</li> </ul>
ポーリングボ <u> ポパ態</u> ● igy母 く	町 監視レへい LOW	監視項目		回数 36	<b>稼働率</b> 88.89%	<b>1 9確認20時</b> 刻 15:00:19	平均応苦時間 ア ns	<u>最終値</u> 0.0070	0 0 0	<ul> <li>         LOG表 LOG消 LOG保         </li> <li>         OFF         </li> <li>         変更         </li> </ul>
ボーリングゴ	①目 監視レへ?↓ LOW ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	監視項目		回数 36 イベンI	稼働丰 88.89% III	<b>h確認為</b> 考察 15:00:19	平均応答時間  7ms	<u>最終値</u> 0.0070	0 0	UCG表 LOG消 LOG保 OFF 変更
ボーリングゴ	(目) 監視レベル LOW 第生日時 07/11/06 14	監視項目 監視項目 1995 1995 1995 1995		回数 35 イベン1 IPレベ)	│ <u>稼働率</u> 38.89% Ⅲ □	暗記2時刻) 15:00:19 		最終値 0.0070	<u>ロ</u> グ保存 0	Uos读 Losi消 Losi消 OFF 英更
ポーリングJJ <u>状態</u> ● 復帰 く	(目) 監視しへ)ル LOW 発生日時 07/11/06 14 07/11/06 14	監視項目	11] []	回数 35 イベン1 IP レベル sysUp1	稼働率 88.89%       動作監視  「ime.0 = Tim	確認2時刻] 15:00:19 -{復月巻 eticks: (86) (	平均応答時間 7ms 2ms 2ms 2ms 2ms 2ms 2ms 2ms 2	<u>最終値</u> 0.0070	ログ保存 の OID: coldS	しoG済 LoG済 LOG保 のFF 変更 tart sm
<ul> <li>ポーリングゴ</li></ul>	低日	監視項目 監視項目 1:59:19 監証 1:59:11 IK 1:58:19 監証	[] ]] [ 見 及P 見	回数 36 イベン1 IPレベ) sysUp1 Pレベ)	■ <u>稼働率</u> 88.89% Ⅲ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		平均広告時間 7ms 200:00.86 smmpTraj	<b>最終値</b> 0.0070 pOID.0 =	ログ保存 の の OID: coldS	しoG決 しoG注 しoG保 のFF 変更 ままます。
<ul> <li>ポーリングゴ 状態 ・ 復帰 ・ 復帰 ・ 復帰 ・ 復帰 ・ 復帰 ・ で、 ・ で、 ・ 定意度 ・ 注意度 ・ 注意度     </li> </ul>	電話規レベル 上のW 発生日時 07/11/06 14 07/11/06 14 07/11/06 14	監視項目		回数 36 イベン1 IPレベリ SysUpT IPレベリ	稼働率 88.89%      動作監視   動作監視  「me.0 = Tim   動作監視.	<ul> <li>         ·確認時刻         <ul> <li></li></ul></li></ul>	平均応答時間 7ms 200:00.86 smpTraj 49) 0:20:28.48 smm	最終值 0.0070 pOID.0 = pTrapOID	0 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ま LOG表 LOG消 LOGパ OFF 反更 tart snn twPSnor
<ul> <li>ボーリングゴ</li></ul>	第日 監視レベル LOW 発生日時 07/11/06 14 07/11/06 14 07/11/06 14 07/11/06 14	<u>監視項目</u>	IJ J 見 AP 見 AP	回数 36 イベン1 IPレベJ SysUp1 IPレベJ SysUp1 2 - 1	稼働率 88.89% 	<ul> <li>確認時刻</li> <li>15:00:19</li> <li>15:00:19</li> <li>15:00:19</li> <li>etids: (86) ( 密度障害 を対応: (86) ( 25(2))</li> </ul>	平均定答时間 7ms 7ms 200:00.86 snmpTray 43) 0:20:23,48 snm 確認均容:	最終値 0.0070 pOID.0 = pTrapOID	ログ(条件) 0 OID: coldS 1.0 = OID:	数 LoG表 LoG消 OFF 支更 tart snn twPSnor

#### <設定項目>

項目	設定内容
ノード情報	SNMP より取得した情報を設定します。
ノード名	選択された装置の名称です。
IPアドレス	選択された装置の IP アドレスを表示します。
MACアドレス	選択された装置の MAC アドレスを表示します。
管理担当者	このノードを管理している人の名前を書きます。
設置場所	選択された装置の設置場所を設定します。
確認内容	確認したい項目をリストから選択します。
<確認>	確認を行います。状態を変更し、復帰(青)や TRAP・syslog のイベ
	ント(水色)はクリアされます。
インターフェイス	装置のインターフェイスの情報を一覧で表示します。表の項目を選択
	し、右側のプルダウンリストから監視レベルを選択して<変更>をク
	リックすると、監視レベルを変更できます。
ポーリング項目	装置の監視情報を一覧で表示します。表の項目を選択し、右側のプル
	ダウンリストから監視レベルを選択して<変更>をクリックすると、
	監視レベルを変更できます。
<log 表示=""></log>	表の項目を選択してクリックすると、「ポーリングログ表示」ダイアロ
	グを表示し、LOG の内容をグラフで閲覧できます。
<log 消去=""></log>	表の項目を選択してクリックすると、該当ポーリングの LOG をメモ

	リから消去します。
<log 保存=""></log>	表の項目を選択してクリックすると、該当ポーリングの LOG 内容を
	外部ファイルに保存します。
関連ログ	このノードに関連したログを表示します。
<更新>	現在の状態を読み取り、情報内容を更新します。
<プロパティ>	「ノードプロパティ」ダイアログを表示します。
<wakeonlan></wakeonlan>	同一セグメント内のMACアドレスが判明しているノードの場合、WOL
	で起動します。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

# [ポーリング一覧表示]

<機能>

登録されているポーリングの一覧を表示します。この画面から編集、削除、監視レベル変更が可能です。

<起動方法>

メインメニュー又はツールバーのポーリング一覧から起動します。

ロク記録の	は「編集」		<u> </u>		更新		1 一 説 疋		ୋଲାପ୍ର
態	ノード名	監視レベル	監視項目	回数	稼働率	確認時刻	平均応答時間	最終値	ログ保存数
🛛 🔁 正常	JCMU	LOW	WEBサーバー監視	1021	100.00%	07:00:29	15ms	0.0310	16418
🛛 🔁 正常	yamai-QC	LOW	DISK空き容量監視	1005	100.00%	07:00:54	62ms	646840.0000	26505
] 🔍 正常	yamai-QC	LOW	新規tcpRetransSegs.0の監視	10213	100.00%	07:01:21	43ms	0.8879	43201
🛛 🔁 正常	yamai-QC	LOW	I/F#90)每秒送信	5570	100.00%	07:01:19	45ms	0.0020	43201
] 🔍 正常	yamai-QC	LOW	I/F#9の毎秒受信	5570	100.00%	07:01:19	45ms	0.0080	43201
] 🔍 正常	twprobe	LOW	syslogdの監視	10213	99.99%	07:01:22	7ms	2.0000	55
] 🔍 正常	twprobe	LOW	システム再起動を監視	5570	100.00%	07:01:21	Oms	1096.0000	43201
] 🛛 正常	twprobe	LOW	TwProbe温度監視(1)	20425	100.00%	07:01:23	3ms	36.8270	9271
] 🔍 正常	twprobe	LOW	I/F#40)每秒送信Kバイト数	5570	100.00%	07:01:21	7ms	0.1506	43201
] 🛛 正常	www.twise.co.jp	LOW	IPレベル動作監視	1022	100.00%	07:01:17	5ms	0.0060	21617
] 🔍 正常	プリンタ複合機	LOW	システム再起動を監視	1004	100.00%	07:00:58	19ms	6127.0000	23599
🖸 正常	プリンタ複合機	LOW	プリンタの紙切れ監視	1005	100.00%	07:00:58	39ms	-3.0000	3
] ● 正常	NAT	LOW	memTotalFree.0の下視	10184	99.57%	07:01:20	14ms	11040.0000	2839
] 🗢 正常	NAT	LOW	ssRawInterrupts.0⑦監視	2914	99.35%	07:01:11	15ms	1133.4440	4900
] 🔍 正常	WEBサーバ	HIGH	WEBサーバー監視	341	100.00%	07:00:14	15ms	0.0160	8996
] 🗢 復帰	NAT	LOW	TCPのコネクション数測定	1005	99.30%	07:01:21	15ms	0.0000	4

項目	設定内容
ログ記録有りのみ表示	ポーリングログを記録しているポーリングのみ表示します。
	グラフ表示する場合に便利です。
<編集>	選択したポーリングを編集します。
<削除>	チェックしたポーリングを削除します。
<ログ削除>	ポーリングログを削除します。
<グラフ>	チェックしたポーリングからグラフ表示します。
<更新>	最新状態に更新します。
監視レベル、<設定>	チェックしたポーリングの監視レベルを一括して変更します。
	"一括"を選択すると設定ダイアログが表示されます。
<閉じる>	ダイアログを終了します。

# [ポーリングロググラフ表示]

### <機能>

選択したポーリングのログからグラフ表示を行います。

#### <起動方法>

「ノード現在状態」ダイアログから [ポーリング項目] 欄の<LOG 表示>をクリックします。 ツールバー、メインメニューの「ポーリンググラフ」から起動します。 ポーリング一覧ダイアログの<グラフ>ボタンで起動します。



項目	設定内容
タイトル	グラフのタイトルを指定します。また、設定を保存するための識別名
	になります。
Y軸単位	Y軸の単位を指定します。
Y軸 自動設定	Y軸のスケールを自動設定します。
最小値を0固定	Y軸のスケールで最小値を0に固定します。
Y軸スケール	Y軸のスケールを手動で設定します。
表示モード	表示モード(時間範囲又は、時間単位の平均、最大値)
自動更新	1分毎に自動更新ます。
<更新>	グラフを最新状態に更新します。
データ選択	表示するデータを選択します。
<設定読込>	過去に保存したグラフ設定を読み込みます。
<設定保存>	現在表示中のグラフ設定を保存します。(MAP単位の保存です。)
<画像コピー>	グラフをクリップボードにコピーします。
<画面保存>	グラフをビットマップで保存します。
< C S V 保存>	グラフを BMP 形式で保存します。
<閉じる>	ダイアログを終了します。

# [ポーリング一括設定]

### <機能>

ポーリング一覧でチェックしたポーリングを一括して設定変更します。

<起動方法>

ポーリング一覧ダイアログで"一括"を選択後、<設定>ボタンで起動します。

<ul> <li>監視レベル OFF ・ 定更する。</li> <li>ログ記録 なし ・ 定更する。</li> <li>間隔 0 秒 「変更する。</li> </ul>	ポーリン	レグー提	設定	-			×
	監視ログ記間隔	レベル 2録	OFF なし o	秒	7	<ul> <li>□ 変更する。</li> <li>□ 変更する。</li> <li>□ 変更する。</li> </ul>	しまた 取消

項目	設定内容
監視レベル	ポーリングの監視レベルを設定します。
	"変更する。"にチェックしないと反映されません。
ログ記録	ログ記録モードを設定でします。
	"変更する。"にチェックしないと反映されません。
間隔	ポーリングの間隔を設定します。
	"変更する。"にチェックしないと反映されません。
<設定>	設定を実施します。
<取消>	設定を取消します。

# [トラフィック選択]

## <機能>

選択した装置のトラフィックの確認を行います。

#### <起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「SNMP 管理」-「グラフ表示」をクリックするか、装置選択後「SNMP 管理」-「グラフ表示」または、 ツールバーの「グラフ表示」をクリックします。

<表示例>

		<b>ラフィック選択</b>
設定		定義ファイル
取消	•	インデックス
	<b>▼</b>	1)792

項目	設定内容
定義ファイル	登録された監視方式リストを表示します。
インデックス	定義ファイルにインデックスがない場合、つけるためのものです。
<設定>	グラフ画面を表示します。
<取消>	グラフ画面を表示せずに終了します。

# [ポーリング設定(パネル表示)]

### <機能>

パネルウィンドウにてポーリング条件を設定します。

### <起動方法>

パネルウィンドウでメニューの「設定」を実行します。

### <表示例>

ボーリング設定			
IPアドレス	192.168.0.231		設定取消
ポーリング間隔 リトライ	3 -	タイムアウト	1
SNMPモード	SNMPv1	•	
Community/User	public		
Password 「一一時停止する。	J*****		

項目	設定内容
IPアドレス	対象となるノードの IP アドレスです。
ポーリング間隔	ポーリングの間隔を秒単位で指定します。
リトライ	再試行の回数(0は1回のみポーリングを実施)を指定します。
タイムアウト	タイムアウト時間を指定します。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名を設定します。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
一時停止する	ポーリングを停止します。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

# [ポーリング設定(グラフ表示)]

### <機能>

グラフウィンドウにてポーリング条件を設定します。

## <起動方法>

グラフウィンドウでメニューの「編集」-「ポーリング設定」を実行します。

<表示例>

ポーリング設定	x
IPアドレス ポーリング間隔	192.168.0.236     設定       診     取消
リトライ	□ 1 ・ タイムアウト 5 ・
SNMPモード	SNMPv1
Community/User	public
Password	*****
□ 一時停止する。	
▼ Y軸自動スケー	ル ▼ Y軸0ベース固定 X軸データ数 1440
Y軸最小値	Y軸最大値 0

項目	設定内容
IPアドレス	対象となるノードの IP アドレスです。
ポーリング間隔	ポーリングの間隔を秒単位で指定します。
リトライ	再試行の回数(0は1回のみポーリングを実施)を指定します。
タイムアウト	タイムアウト時間を指定します。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名を設定します。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
一時停止する	ポーリングを停止します。
Y軸自動スケール	チェックをつけると、取得したデータにあわせて Y 軸のスケールを自動的
	に調整します。
Y軸0ベース固定	チェックをつけると、自動スケール時のY軸の最小値を0固定にします。
X軸データ数	X軸のプロット数を指定します。(100~3000)
Y軸最小值	Y軸を固定スケールにする場合、最小値を指定します。
Y軸最大值	Y軸を固定スケールにする場合、最大値を指定します。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

# [システム設定]

<機能>

TELNET、FTP のコマンドの変更や、ラインの線幅を設定します。

<起動方法>

メニューから「設定」-「システム設定」をクリックします。

<表示例>

システム設定
MAP表示     ラインサイズ     1     マ     最小化時は、タスクトレーに隠す。     設定       取消
□ ノードを削除する時に確認する。 V MAPを閉じる時に確認する。
「ポーリング設定
ポーリングログ制限値 1分単位で31日分 🔽 🔽 念のため毎晩ログを保存する。
□ 再ポーリング時に状態を不明にしない。
TELNET         "C:\Program Files (x86)\Program Files (x86)
FTP <<
拉强1
拡張3
※\$IPは、IPアドレスに、\$NODEは、ノード名に、\$MACは、MACアドレスに変換します。 \$WAITを指定した場合、実行確認を行います。

<設定項目>

項目	設定内容
ラインサイズ	MAP ウィンドウのラインの線幅を指定します。MAP 毎の変更はできませ
	$\mathcal{N}_{\circ}$
最小化時は、タスク	チェックをつけると、MAP ウィンドウを最小化したときに、Windows の
トレーに隠す。	ツールバーではなく、タスクトレーに格納します。「MAP プロパティ」ダ
	イアログで障害時に BEEP を出す設定にしておけば、障害発生時に POP
	アップして知らせます。
ノードを削除する	チェックをつけると、ノードやラインなどを削除する時に、メッセージダ
時、確認メッセージ	イアログを表示して確認します。
を表示する	
MAP を閉じる時に	チェックをつけると、MAPを右上の×で閉じる時に、確認メッセージを表
確認する。	示します。
ポーリングログ制限	ポーリングログの最大保存数を設定します。
値	
念のため毎晩ログを	ポーリングログの保存を終了時だけでなく、毎晩、夜中に実施します。
保存する。	
再ポーリング時に	再ポーリングを実施した時に状態を不明にしないモードを指定します。
状態を不明にしな	
ℓv₀	

TELNET	TELNET のコマンドを設定します。<<<>をクリックするとコマンドを 指定できます。
	レジストリに保存されますので、MAP単位の設定はできません。
	%sを記入するとその位置に IP アドレスを入力します。
	%s がないと最後に IP アドレスを入力します。
FTP	FTP のコマンドを設定します。<<<>をクリックするとコマンドを指定で
	きます。
	レジストリに保存されますので、MAP 単位の設定はできません。
	%s を記入するとその位置に IP アドレスを入力します。
	%s がないと最後に IP アドレスを入力します。
	FFFTP の場合は、設定名を IP アドレスにして-s オプションで起動して
	ください。
拡張 1~3	拡張コマンドを設定します。
	上段に、コマンド名を入力します。下段に、実行する exe ファイルのパス
	を入力します。<<<>をクリックするとファイルを指定できます。
	指定したコマンドは、右クリックメニューの「接続ツール」のサブメニュ
	ーとして表示されます。
	変数 \$WAITを設定すると、実行前に、確認ダイアログを表示し、コマン
	ドの編集ができます。<取消>をクリックすると、実行せずに終了します。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

Windows の shutdown は、拡張コマンドを使ってください。

名前:WindowsShutdown コマンド:shutdown -m ¥\$IP -s -t 60 -c shutdown などを設定すれば、シャットダウンできます。 ノード名がホスト名ならば、\$IP は、\$NODE でもかまいません。 -s を-r にすれば、再起動もできます。 Windows の shutdown コマンドは、XP には標準で入っています。 Win2000 は、リソースキットから入れられるそうです。 「shutdown.exe」などをインターネットで検索してください。

# [ポーリング方式一覧]

<機能>

ポーリング方式を一覧表示します。

<起動方法>

メニューから「設定」-「ポーリング方式」をクリックします。

<表示例>

追加	編集 削除 ファイルから	開じる
ループ	ポーリング	定義
RMON管理	RMONモニタポート\$のブロードキャスト割合	MIBGET: 100.0*etherStatsBroadcastPkts.\$i/etherStatsPkts.
RMON管理	RMONモニタポート\$のマルチキャスト/ブロードキャスト割合	MIBGET: 100.0*(etherStatsBroadcastPkts.\$i+etherStatsMult
TWProbe管理	TwProbe温度監視(\$)	MIBGET:twHwMonTempLastVal.\$i*0.001<70.0:ABS
TWProbe管理	無線LAN帯域(Mbps)	MIBGET:twWRMonStatBytes.0*0.000008>-1.0:APS
TWProbe管理	snort每秒攻撃数	MIBGET:twPSnAlertTotal.0<1.0:PS
UPS管理	UPSバッテリー状態	MIBGET:upsBatteryStatus.0=2:ABS
UPS管理	UPS出力#\$@流値(x0.1A)	MIBGET:upsOutputCurrent.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPS出力#\$@力値(W)	MIBGET:upsOutputPower.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPS出力#\$P電圧値(V)	MIBGET:upsOutputVoltage.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPSバッテリー電流(x0.1A)	MIBGET:upsBatteryCurrent.0>-1:ABS
UPS管理	UPS入力#\$P電圧値(W)	MIBGET:upsInputTruePower.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPS出力#\$i負荷(%)	MIBGET:upsOutputPercentLoad.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPSバッテリー動作時間(秒)	MIBGET:upsSecondsOnBattery.0>-1:ABS
UPS管理	UPS入力#\$@流値(x0.1A)	MIBGET:upsInputCurrent.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPS入力#\$i電圧値(V)	MIBGET:upsInputVoltage.\$i>-1:ABS
UPS管理	UPSバッテリー残時間(分)	MIBGET:upsEstimatedMinutesRemaining.0>0:ABS
UPS管理	UPSバッテリー温度(°C)	MIBGET:upsBatteryTemperature.0>-1:ABS
UPS管理	UPS/ミッテリー残量(%)	MIBGET:upsEstimatedChargeRemaining.0>0:ABS
UPS管理	UPSバッテリー電圧値(x0.1V)	MIBGET:upsBatteryVoltage.0>-1:ABS
サーバ管理	WEBサーバー監視	TCP:HTTP:80
サーバ管理	ログインユーザ数測定	MIBGET:hrSystemNumUsers.0>-1:ABS
サーバ管理	SSHサーバ監視	TCP:SSH:22
サーバ管理	起動プロセス数測定	MIBGET:hrSystemProcesses.0>-1:ABS
サーバ管理	メールサーバ(POP3)監視	TCP:POP3:110
サーバ管理	メールサーバ(OP25B)監視	TCP:OP258:578
サーバ管理	#\$!デバイスエラー	MIBGET:hrDeviceErrors.\$i=0:ABS

項目	設定内容
監視方式リスト	登録されている監視方式です。項目をクリックするとソートします。
<追加>	監視方式を追加します。「ポーリング方式設定」ダイアログを表示します。
<編集>	リストから選択した監視方式を編集します。「ポーリング方式設定」ダイア
	ログを表示します。
<削除>	リストから選択した監視方式を削除します。
<ファイルから>	監視方式を、外部ファイル(*.txt)から追加します。
	ファイルのフォーマットは、
	「方式 説明」
	です。
	方式は、内部仕様の説明で記述されているものと同じです。
	数値データの場合、ログに保存し、グラフ表示できるようにしました。
	尚、ログは、動作中のみ記録し、再起動後は新規に記録します。件数は1440
	件です。
	ノード状態表示の画面から、監視レベルを変更可能です。
	TCP のポートスキャン以外に SNMP のポーリングも自動設定できます。
<閉じる>	ダイアログを終了します。

# [グラフ ファイル編集]

### <機能>

グラフ表示に使用する設定の編集をします。

### <起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「設定」-「グラフファイル編集」をクリックします。

<表示例>

グラ	ラ ファイル	ル編集		10			x
	b./ ku					閉じる	5
	21177					読込	
	Y軸単位					保存	
	Y軸倍率	1	モード	絶対値	•		
	☑ Y軸自動2	スケール 🛛 Y軸	基準0固定				
	Y軸最小値	0 Y庫由者	支值 1	00	X車由データ数	1440	
ſ	取得MIB項	8					₽ D
						ji j	加
							709
							51
	表示ラベル					<u>الج</u>	定

項目	設定内容
タイトル	グラフのタイトルです。
Y軸単位	グラフの Y 軸の単位です。
Y軸倍率	Y軸の値の倍率です。
モード	ポーリングの取得モードを指定します。(絶対値/差分/単位時間値)
Y軸自動スケール	Y軸のスケールを自動的に決定します。
Y軸基準值0固定	Y軸のスケールの開始を0に固定します。
Y軸最小值	Y軸のスケール最小値(自動以外の場合)
Y軸最大值	Y軸の最大値(自動以外の場合)
X軸データ数	X軸のデータ数(プロット数)
取得 MIB 項目	グラフに表示する MIB 項目をリスト表示します。
<追加>	MIB ツリーを表示します。追加したい MIB 項目を指定します。
<削除>	リストで選択されている項目を削除します。
$ <\uparrow>$	リストで選択されている項目の並び順を上にします。
$ <\downarrow>$	リストで選択されている項目の並び順を下にします。
<閉じる>	ダイアログを終了します。
<読込>	設定ファイルを読み込みます。
<保存>	画面の内容を設定ファイルに保存します。

# [PING]

## <機能>

選択した装置の通信確認を行います。

### <起動方法>

MAP ウィンドウで対象の装置を選択し、右クリックします。表示されたメニューの「PING」 をクリックするか、または、装置選択後 MAP ウィンドウのメニューから「管理ツール」-「PING」 をクリックします。

<表示例>

ノトド名       192.168.0.1       実行         IP7ドレス       192.168.0.1       第10.5         実行回数       タイムアウト       サイズ*       モード*         5<       ▼       1       32       「標準       ▼         回数/TTL       結果/経路       応答時間       サイズ*       応答時間がうフ	PING				
IP7ドレス 192.168.0.1 実行回数 タイムアウト サイズ モード 5	<i>)</i> ド名	192.168.0.1		1	
実行回数     タイムアウト     サイズ     モード       5     1     32     「標準       回数/TTL     結果/経路     応答時間     サイズ     応答時間からっ	IPアドレス	192.168.0.1			<u>閉じる</u>
回数/TTL<     結果/経路     応答時間     サイズ     応答時間から7	実行回数 5	%ব১ፓウՒ ▼ 1 ▼	サイズ <sup>*</sup> ] 32	t-ŀ ▼ 標準	•
	回数/TTL	結果/経路	応答時間	サイス <sup>®</sup> 5	芯答時間がうフ
	<				>

項目	設定内容
ノード名	装置名を表示します。
IPアドレス	選択されたノードの IP アドレスを表示します。
実行回数	PING を行う回数を選択します。
タイムアウト	強制終了させるまでの時間を選択します。
サイズ	PING パケットのサイズを選択します。
モード	以下の測定モードを選択します。
	・標準
	・回線速度測定
	・トレースルート
リスト	実行結果を表示します。
メッセージ	成功率と平均応答時間が表示されます。
<実行>	設定内容に従って PING を行います。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

# [ノード検索]

<機能>

バックグランドで新しいノードの検索をします。

#### <起動方法>

メニューから「ツール」-「ノード設定」をクリックします。

<表示例>

ノード検索		×		
開始アドレス	192, 168, 1, 1	設定		
終了アドレス	192.168.1.254	取消		
■ SNMPで取得したIP-MACアドレス情報から新規ノード登録を行う。				

<設定項目>

項目	設定内容
開始アドレス	ノードを検索する開始 IP アドレスを指定します。
終了アドレス	ノードを検索する終了 IP アドレスを指定します。
SNMP で取得した	SNMP により他のノードの ARP テーブル、RMON のアドレス MAP 情報
IP-MAC アドレス情	を取得し、この情報を元に、新規ノードを登録するものです。
報から新規ノード登	この機能を利用するためには、SNMP 対応ノードに対して、アドレス検索
録を行う。	のポーリングを実施してください。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

# [アドレス管理]

<機能>

ノード名、IPアドレス、MACアドレス、ベンダー名、DHCPの有無のリストを表示します。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「管理ツール」-「アドレス管理」をクリックします。

アドレス管理	-		нсрђур хмшађ сви	出力   閉じる
IPアドレス	ノード名	масアドレス	ベンダー名	DHCP情報
192.168.1.1	ADSLルータ	00:00:5F:C6:DB:3C	SUMITOMO ELECTRIC IND., LTD.	
192.168.1.4	LANHDG	00:07:40:CE:BA:C7	Melco Inc.	
a 192.168.1.9	DELL-SW	00:14:22:67:CE:71	Dell Inc.	
i92.168.1.10	プリンタ複合機	00:00:85:C8:EB:1F	CANON INC.	
192.168.1.18	USB-LAN接続	00:80:92:38:19:B7	Silex Technology, Inc.	
192.168.1.26	Linux開発機	00:0A:79:51:66:6A	corega K.K.	
192.168.1.42	192.168.1.42	00:03:FF:2B:3C:CB	Microsoft Corporation	
न 192. 168. 1.56	2FDVDレコーダー	00:08:0D:19:F8:55	Toshiba	
墨 192.168.1.67	無線AP茶の間	00:07:40:6B:0A:0E	Melco Inc.	
🕅 192. 168. 1.68	無線AP1F	00:07:40:96:C0:CF	Melco Inc.	
192.168.1.70	無線AP2F	00:0D:0B:8A:17:C4	Buffalo Inc.	
192.168.1.100	Wii	00:1E:35:90:30:51	Nintendo Co., Ltd.	DHCPクライアント
📟 192. 168. 1. 102	PS3	00:1F:A7:AF:26:40	Sony Computer Entertainment Inc.	DHCPクライアント
🚍 192. 168. 1. 104	1FDVDレコーダー	00:0E:7B:CB:86:54	Toshiba	DHCPクライアント
192.168.1.201	TWMAIN	00:13:20:69:78:EC	Intel Corporate	DHCPクライアント
塁 192.168.1.202	yamai-QC	00:1B:FC:3F:3C:CB	ASUSTek COMPUTER INC.	
塁 192.168.1.222	NAOE-VAIO	00:13:CE:17:CA:AF	Intel Corporate	
192.168.1.235	192.168.1.235	00:03:FF:2F:3C:CB	Microsoft Corporation	
192.168.1.236	twprobe	44:4D:50:02:07:81		
塁 192.168.1.238	twprobe-192.168.1.238	44:4D:50:E1:BE:35		
192.168.1.250	光ルータ	00:10:38:13:1B:04	MICRO RESEARCH INSTITUTE, INC.	DHCPサーバ
<b>2</b> 192. 168. 1.253	ISDNルータ	00:A0:DE:09:AA:3A	YAMAHA CORPORATION	
202.212.21.10	JCMU			
<b>@</b> 211.18.212.36	WEBサーバ			
219.118.71.18	www.twise.co.jp			

#### <設定項目>

項目	設定内容
リスト	ノード名、IP アドレス、MAC アドレス、ベンダー名、DHCP の有無をリ
	スト表示します。項目をクリックするとソートします。
<dhcp クリア=""></dhcp>	DHCP 情報をクリアします。
<xml 出力=""></xml>	表示しているアドレスリストを XML 形式で保存します。
<csv 出力=""></csv>	表示しているアドレスリストを CSV 形式で保存します。
<閉じる>	ダイアログを終了します。

# [ライン設定]

<機能>

新しい接続ラインを作成します。

<起動方法>

接続ラインを作りたいノードの右クリックメニューから「ライン」-「接続」をクリックします。
<ul> <li>(ン設定</li> <li>ライン表示</li> <li>太さ</li> </ul>	設定 デフォ	<u></u>			
線種	実線		•		<u>4x;</u>
接続先一					
ノード	PC1	().=\.b=\	1071 N 7	14-Pu	抽结牛
● 正常	LOW	127'99X ANY	192.168.0.3	種別 I/F不明の接続先	

項目	設定内容
太さ	ラインの太さを選択します。"デフォルト"を選択すると、「システム設定」
	ダイアログで設定した太さになります。
線種	実線か、点線かを選択します。
ノード	選択したノードの名称です。
I/F リスト	ラインを作成したい I/F を選択します。
<設定>	設定内容を適用して終了します。カーソルが「+」に変わりますので、接
	続先のアイコンをクリックしてください。
<取消>	設定を取り消して終了します。

### [WAN]

#### <機能>

MAP ウィンドウに WAN を新たに追加します。

#### <起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「編集」-「新設」-「WAN」または、MAP ウィンドウで空 白部分を右クリックし、「新設」-「WAN」を実行します。

<表示例>



<設定項目>

項目	設定内容
名称	名前を入力します。
アドレス	WAN の IP アドレスの範囲を指定します。
アイコン	MAP ウィンドウに表示するシンボルを表示します。
<変更>	アイコンを変更する為のダイアログが表示されます。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

### [BUS/RING]

#### <機能>

MAP ウィンドウに BUS または RING の接続ラインを新たに追加します。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「編集」-「新設」-「BUS」(または「RING」)をクリック するか、または、MAP ウィンドウで空白部分を右クリックし、「新設」-「BUS」(または「RING」) を実行します。

<表示例>

BUS/RI	NG	
名称	BUS1	
アドレス	0.0.0.0/32	
種別	BUS	
TAP数	20 💌	

<設定項目>

項目	設定内容
名称	BUS または、RING 名を入力します。
アドレス	BUS/RING の IP アドレスの範囲を指定します。
種別	BUS/RING を示します。
TAP 数	BUS/RING の数を選択します。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

### [サブネット]

<機能>

MAP ウィンドウにサブネットを新たに追加します。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「編集」-「新設」-「サブネット」をクリックするか、また は、MAP ウィンドウで空白部分を右クリックし、「新設」-「サブネット」を実行します。

<表示例>

サブネット	×
名称	設定
アイコン 🏠 変更	
марファイル	

項目	設定内容
名称	サブネット名を入力します。
アイコン	MAP ウィンドウに表示するシンボルを表示します。
<変更>	アイコンを変更する為のダイアログが表示されます。
MAP ファイル	適用する MAP ファイルを選択してください。<<<>をクリックすると、
	MAP ファイルを選択できます。
<設定>	設定内容を適用して終了します。
<取消>	設定を取り消して終了します。

# [ログ統計分析]

#### <機能>

状態別、種類別、関連ノード別、時間別、ノード稼働率をグラフ表示します。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「ログ管理」-「ログ統計」をクリックします。

<表示例>



#### <設定項目>

項目	設定内容
グラフ	統計データをグラフ表示します。
<表示>	表示させたい統計情報を選択してクリックすると、統計グラフを表示しま
	す。
<画像保存>	表示されているグラフをビットマップ形式で保存します。
<閉じる>	ダイアログを終了します。

### [イベントログ詳細]

<機能>

ログウィンドウで選択されている項目の詳細情報を表示します。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「ログ管理」-「ログ詳細」をクリックするか、ログの項目を ダブルクリックします。

<表示例>



#### <設定項目>

項目	設定内容
発生日時	イベントログの発生日時です。
基準イベントとの差	このダイアログで最初に表示したイベントログとの時間差です。
状態	監視レベルです。
種別	ログの種別です。
関連ノード	このログに関連するノード名です。
関連ノード IP	関連ノードの IP アドレスです。
前後のイベント検索	チェックをつけると、<前のイベント><次のイベント>クリック時に、
は、同じ関連ノード	同じ関連ノードのイベントログを検索して表示します。
について行う。	
イベント内容	イベントの内容です。
<前のイベント>	1つ前のイベント内容を表示します。
<次のイベント>	1 つ後のイベント内容を表示します。
<通知登録>	このログを元に、通知設定を行います。
<閉じる>	ダイアログを終了します。

### [就業時間設定]

<機能>

ポーリングや通知を行う時間帯を設定するための画面です。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「設定」-「就業時間設定」をクリックします。

<表示例>

特定日設定 2007年11月21日 💌 🕴	F定日1 ▼ 変則日		設定取消
日付 適用/ターン = 2007/11/10 月曜日 2007/11/21 特定日 1 = 2007/11/22 土曜日 = 2007/11/23 日曜日 = 2007/12/23 日曜日	説明  出物日1  変則日  休葉日1  動労感謝の日  天皇誕生日	▲ <u>3</u> 億万0	14/19
1     2     3       日曜日 月曜日 火曜日 水曜日     1     1       水曜日     1     1       水曜日     1     1       水曜日     1     1       土曜日     1     1       十曜日     1     1       十零正日     1     1       特定日     1     1       特定日     1     1	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1	7 18 19 20 21 22 23 24	デフォル

<設定項目>

項目	設定内容
[特定日指定] 欄	通常と違う就業時間パターンの日を登録します。リストのアイコンは、そ
	れぞれの適用パターンを色分け表示しています。
	●:日曜日
	■ : 平日
	●:土曜日
	● :特定日
<追加>	期日、適用させる就業時間のパターン、説明を入力し、<追加>をクリッ
	クすると、リストに登録されます。
<削除>	リストから対象となる期日を選択してクリックします。項目を削除します。
<デフォルト>	2009年元旦までのカレンダー上の祝休日を、日曜日の就業パターンとして
	登録します。
[就業時間]欄	青表示が、就業時間を表します。
	時間帯をクリックすると、各曜日の就業時間のオン/オフを切り替えます。
	通常のパターンと違う就業時間帯を、特定日として3つまで登録できます。
<デフォルト>	日~土曜日の就業時間を、以下のとおり設定します。
	土・日 休業
	月~金 9~17時就業
<設定>	ダイアログの内容を適用して画面を終了します。
<閉じる>	ダイアログの内容を適用せずに画面を終了します。

※この就業時間帯を適用させるには、各ノードのプロパティで、「ポーリング設定」欄の"就業時間のみ通知"、"就業時間のみポーリング"にチェックをつけてください。 ([ノードプロパティ(一般設定)]参照)

# [RMON管理]

<機能>

RMON プローブや RMON 対応 LAN スイッチを使ってトラフィック管理を行うための画面です。

<起動方法>

対象となるノードを選択して、MAP ウィンドウのメニューまたは右クリックメニューから「SNMP 管理」-「拡張 MIB 管理」-「RMON 管理」をクリックします。

<表示例>

	MON管理	Tractores				-	And in case			
アウセス設定 ノード       IVProbe       IPアドレス       192.168.0.236       Pessword       ******       リトライ       1       ・         SNMP-E+ド       SNMP-1       Community/User       Public       Pessword       ******       タイムアウト       5       ・         Statilatil       1       -       Community/User       Public       Pessword       ******       タイムアウト       5       ・         Statilatil       1       -       -       150       100	<u>C</u>	Ø.		統計 :OFF	履歴 :OFF	75-4:0F	・ イベント:OFF	ホスト :OFF	RMON2 : OFF	開じる取得
リード       IVIProbe       IP7FLA       192.168.0.226       リトライ       リート       リート       リート       リート       1       ・         SNMPモード       SNMPT       Community/User       Public       Password       *******       タイムアウト       5       ・         Staffage       1       -       Community/User       Public       Password       *******       タイムアウト       5       ・         Staffage       1       -       Community/User       ア       1       -       タイムアウト       5       ・         Staffage       1       -       -       1       1       -	「アクセス設定一		<b>`</b>							
SMPF-F         SMPV1         Community/User         Public         Password         *******         タイムアウト         5         ・           転告目編唱         インデックス         データソース         パイト投入         パイト投入         第二	ノード	TWProbe		₽₽ドレス	192.168.0.23	j			リトライ	1 💌
	SNMPE-K	SNMPv1	•	Community/User	public		Password *****		タイムアウ	⊦ <b>5</b> -
インデックス       パイト数       パケット数       エラー数       オーナー       状態       前原菜         前原菜       「パデックス       データソース       (保存回数)       間第(後)       オーナー       状態       「読加         前原菜       「パデックス       データソース       (保存回数)       間第(後)       オーナー       状態       「読加         「パデックス       データソース       (保存回数)       間第(後)       オーナー       状態       「読加       前原菜         アラーム       「パデックス       オグジェクト       デージ種(別)       1007ラーム       上段船値       上段船値       下段船値       下限・パート         パンデックス       オグジェクト       デージ種(別)       1007ラーム       上段船値       上段・パート       一       一         パンデックス       現り引用       1007ラーム       上段船値       上段・パート       1       1       1       1         インパート       「パート       「パート        1	統計情報									
度歴       「シテッシス」(保存回版) 開第(後) オーナー「状態       通知         可応時       可応時         アラーム       「アラーム         アクーム       「シテックス」オブジェクト「デー処種別」間隔(役) 初回アラーム」上席時値       上席・ハート         イベント       「夏季         イベント       「夏季         イベント       「夏季         インデックス」129月 種別「TRAP Community オーナー「状態       「夏季         レポート       「夏季         レポート       大大小「村銀」         レポート       素示       「ホスト/マドリックスを取得         レポート       美示       「ホスト/マドリックスを取得	インデックス	データソース	バイト数 パク	ット数 エラー数	オーナー 状態					<b>追加</b> 削彫余
R版   1) デックス データソース (保存回版) 間第(社) オーナー   状態   1) デックス データソース (保存回版) 間第(社) オーナー   状態   アラーム   アラーム   1) デックス オブジェクト デージ種ジリ 間隔(社)   初回アラーム   上院開催   上院イベント   下院開催   下院イベント   オーナー   状態   日前   日前 										レポート
	履歴	[ = bi a [		877 (L) (L) _	1.045					istin
アラーム     アラーム       アラーム     「シブラウス」オブジェクト「デーダ種型」 間隔(地) 1初回アラーム」上際時値 上限イベント「下限時値 下限イベント「オーナー」 扶地     「意助」       イベント     「シブラウス」 担切用 種別」 TRAP Community オーナー 「扶地     「意助」       イベント     「シブラウス」 担切用 種別」 TRAP Community オーナー 「扶地     「意助」	1.77997	<u>  7 - 99 - 7  </u>	1#17[2][#X] [6	御高(49) オーナー	-   1入用約					EIK2
アラーム     レポート       アラーム     レポート       「シデックス」オブジェクト「デーン雑想」「間隔(秒)」初回アラーム」上席開始値「上限イベント「下原開値「下限イベント」オーナー」状態     道加」       「パント     「シデックス】 129月 1種別」 TRAP Community オーナー 「状態     道加」       イベント     「シデックス】 129月 1種別」 TRAP Community オーナー 「状態     道加」       「レポート     レポート       レポート     レポート										- 取得した()。
アラーム       アラーム         インデックス       オブジェクト         デージェククス       オブジェクト         デージェククス       オブジェクト         イベント       アージー         イベント       イベント         イベント       インデックス         インデックス       120月         120月       120月         インデックス       120月         インデックス       120月         120日       120日         ボート       レポート         レポート       美示         レポート       東示         レポート       東示										レポート
インデックス       オブジェクト       デーメ雑参り       初回アラーム       上球酸酸値       上球化       再原素         イベント       イベント       下限イベント       オーナー       状態       再原素         イベント       イベント       イベント       オーナー       状態       通知         イベント       イベント       イベント       「日本       小田       小田         イベント       インデックス       189月       種別       TRAP Community       オーナー       状態         インデックス       189月       種別       TRAP Community       オーナー       状態       通知       再応参         レポート       レポート       大       大       大       「日本スト/マドリックスを取得       「RMON12情報を取得	アラーム									
イベント     イベント       インデックス 198月 種別 TRAP Commulty オーナー 状態     道助加       月野季     レポート       レポート     レポート	インデックス	オブジェクト	データ種別 間	1編(秒)   初回ア:	ラーム 上限閾値	上限イベント	F限閾値 下限イベン	ト オーナー 状態		追加
- イベント - イベント - イベント - イベント - イベント - イベント - レズーター - レポート - レポート - レポート - レポート - レポート - 株入パマドリックスを取り得 「 RMON2情報を取り得										削除
インデックス     18,991     種別     TRAP Community     オーナー     抹態     1000       日歩       日歩     1000     1000       レポート        1000       レポート           レポート	-1~>-	(		[ [ .						
	1ンデックス	訳明   種別	TRAP Commo	<u>uity   オーナー   れ</u>	代態					1500
レポート レポート種別    民示 「ホスト/マドリックスを取得 「RMON2情報を取得										レポート
レポート種別 ま示 「ホスト/マドリックスを取得 「RMON2情報を取得	レポート									
	レポート種別				▼ 表:	⊼   □ #	スト/マトリックスを取得	□ RMON2情報	福を取得	

#### <設定項目>

項目	設定内容
ノード	ノード名です。
IPアドレス	ノードの IP アドレスです。
SNMP モード	SNMP のモードを指定します。
Community/User	ポーリングする場合の、Community 名または User 名です。
Password	SNMPv3 モード時のパスワードを指定します。
リトライ	再試行の回数(0は1回のみポーリングを実施)を指定します。
タイムアウト	タイムアウト時間を指定します。
統計情報リスト	統計モニタの情報を記載します。
<追加>	統計モニタの設定を行います。
<削除>	統計情報リストで選択された項目を削除します。
<レポート>	RMON プローブ側に蓄積された履歴情報があればレポート表示します。
履歴リスト	履歴モニタの情報を記載します。
<追加>	履歴モニタの設定を行います。
<削除>	履歴リストで選択された項目を削除します。
取得しない。	履歴情報が膨大にある場合、取得に時間がかかるため、その情報の取得を
	行わないときにチェックをします。設定した場合、履歴の<レポート>は
	有効になりません。
<レポート>	RMON プローブ側に蓄積された統計情報があればレポート表示します。
アラームリスト	トラフィックを監視させて、TRAP 送信やログ保存を行うためのアラーム
	情報を記載します。
<追加>	アラームの設定を行います。
<削除>	アラームリストで選択された項目を削除します。
イベントリスト	トラフィックを監視させて、TRAP 送信やログ保存を行うためのイベント
	情報を記載します。

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

<追加>	イベントの設定を行います。
<削除>	イベントリストで選択された項目を削除します。
<レポート>	RMONプローブ側に蓄積されたイベント情報があればレポート表示します。
レポート種別	取得した情報のレポートを選択します。
<表示>	[レポート種別]で選択したレポートを表示します。
ホスト/マトリックス	チェックをつけると、<取得>実行時にホスト/マトリックスグループの情
を取得	報を取得します。
RMON2 情報を取得	チェックをつけると、<取得>実行時に RMON2 情報を取得します。
<閉じる>	ダイアログを終了します。
<取得>	RMON 情報を取得します。

# [RMON統計設定]

<機能>

「RMON 管理」ダイアログで RMON の統計情報を設定する画面です。

<起動方法>

「RMON 管理」ダイアログから [統計情報] 欄の<追加>をクリックします。

RMON統計設定	×
データソース fIndex.4 fIndex.5 fIndex.6 fIndex.7 fIndex.8 fIndex.8 fIndex.10 fIndex.11 fIndex.12 fIndex.13 fIndex.14	取消
オーナ文字列 yamai	
取得間隔 1800 秒 保存件数 30	件

<設定項目>

項目	設定内容
データソース	モニタするデータソースを選択します。
オーナー文字列	管理者名を入力します。
<設定>	設定を適用してダイアログを終了します。
<取消>	設定を取り消してダイアログを終了します。

# [RMON履歴設定]

<機能>

「RMON 管理」ダイアログで RMON の履歴情報を設定する画面です。

<起動方法>

「RMON 管理」ダイアログから[履歴]欄の<追加>をクリックします。

<表示例>

RMON履歷談	定				X
データソース fIndex.1 ifIndex.2 ifIndex.3 ifIndex.4 ifIndex.5 ifIndex.7 ifIndex.7 ifIndex.7 ifIndex.10 ifIndex.11				<u> </u>	
オーナ文字列	yamai 1800	耖	保存供数	300	
-IAT TELEVIS	1	2	14111124		

項目	設定内容
データソース	モニタするデータソースを選択します。
オーナー文字列	管理者名を入力します。
取得間隔	履歴を収集する間隔を入力します。
保存件数	履歴の保存件数を指定します。
<設定>	設定を適用してダイアログを終了します。
<取消>	設定を取り消してダイアログを終了します。

### [RMONイベント設定]

<機能>

「RMON 管理」ダイアログで RMON のイベント情報を設定する画面です。

<起動方法>

「RMON 管理」ダイアログから[イベント]欄の<追加>をクリックします。

<表示例>

RMONイベント設定		
イベント内容		〔  設定
動作 何もしない	•	
Community		
オーナー文字列 yamai		

項目	設定内容
イベント内容	イベントの内容を入力します。(英字のみ)
動作	動作を以下から指定します。
	・TRAP 送信
	・ログ保存
	<ul> <li>・両方</li> </ul>
Community	TRAP 送信の場合の TRAP の Community 名を指定します。
オーナー文字列	管理者名を入力します。
<設定>	設定を適用してダイアログを終了します。
<取消>	設定を取り消してダイアログを終了します。

### [RMONアラーム設定]

<機能>

「RMON 管理」ダイアログで RMON のアラーム情報を設定する画面です。

<起動方法>

「RMON 管理」ダイアログから [アラーム] 欄の<追加>をクリックします。

<表示例>

RMON75-4	検定	×
オブジェクト	etherStatsDropEvents データソース 1:ifIndex.13 絶対値 東得問題 60 ・ 秒	▼ 設定 取消
上限閾値		✓ 初回も発生
下限閾値	0 イベント 0:なし <u>▼</u>	□ 初回も発生
オーナー文字列	yamai	

項目	設定内容
オブジェクト	統計情報でモニタしている項目から、対象となるものを指定します。
データソース	現在モニタしている統計情報のデータソースから、対象となるものを選択
	します。
取得方法	取得方法を、以下から選択します。
	・絶対値(計測値をそのまま判定する)
	・前回との差分
取得間隔	取得する間隔を指定します。
上限閾値	ヒステリシス方式で判断の設定です。上限値を超えた場合にアラームを発
	生します。
イベント	イベント欄の情報がリストに表示されますので、そこから選択します。
初回も発生	最初に判定して閾値を越えた場合、アラームとするかしないかを指定しま
	す。
下限閾値	ヒステリシス方式で判断するためです。下限値を下回った時点でアラーム
	を解除します。
イベント	イベント欄の情報がリストに表示されますので、そこから選択します。
初回も発生	最初に判定して閾値を越えた場合、アラームとするかしないかを指定しま
	す。
オーナー文字列	管理者名を入力します。
<設定>	設定を適用してダイアログを終了します。
<取消>	設定を取り消してダイアログを終了します。

# [RMONレポート]

#### <機能>

「RMON 管理」ダイアログで各グループのレポートを表示する画面です。

#### <起動方法>

「RMON 管理」ダイアログから各グループ欄の<レポート>、またはレポート欄から対象となるレポート種別を選択して<表示>をクリックします。

<表示例>



項目	設定内容
<表示>	項目を選択してクリックすると、各項目別のレポートグラフを表示します。
<csv 出力=""></csv>	レポートの内容を CSV 形式で保存します。
<グラフ保存>	レポートのグラフ画像を BMP 形式で保存します。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

### [ホストリソース管理]

<機能>

「ホストリソース MIB を取得して表示します。関連するポーリングを追加できます。

<起動方法>

ノード右クリックメニュー「SNMP 管理」-「拡張 MIB 管理」-「ホストリソース管理」から起動します。

<表示例>

- K 🔤	wLinux	I	Pアドレス	192.168.1.231	リトライ	3 - タ	イムアウト 1 🔹 🔻	閉じる
MPt-K	NMPv3(SHA認証A	ES暗号化. ▼ C	Community User	yamai	Password	•••••		取好号入
	7 MTD 400/4 BT/	8						
9 CHXI <del>TTE</del> .	min 400 +4%}	T.						
ストリソース情	幸風							
項目		値		種別	ポーリング定義			
🕕 システム科	家働時間	(6149542) 17:0	4:55.42	1.システム稼働時	間			
🕕 システム®	詩計	2009-8-4,23:10	:0.0,+9:0	2.システム時計				
● システムコ	レーザ数	2		3.システムユーザ	数 MIBGET:hrSyst	emNumUsers.0	>- <mark>1:ABSユ</mark> ーザ数監袖	現
● システムブ	ロセス数	37		4.システムプロセス	入数 MIBGET:hrSyst	emProcesses.0	>-1:ABSユーザ数監約	現 =
🕕 メモリサイ	ズ	124392 KBytes		5.メモリサイズ				
Physical	memory(実メモリ)	20.59%使用		6.記憶装置(000	<ol> <li>MIBGET: 100.0</li> </ol>	*hrStorageUsed	.1/hrStorageSize.1>	>-1.0:ABS記憶翁
Virtual m	emory(仮想メモリ)	20.59%使用		6.記憶装置(000)	<ol> <li>MIBGET: 100.0</li> </ol>	*hrStorageUsed	.3/hrStorageSize.3>	>-1.0:ABS記憶翁
Memory	buffers(その他)	0.36%使用		6.記憶装置(000	<ol><li>MIBGET: 100.0</li></ol>	*hrStorageUsed	.6/hrStorageSize.6>	>-1.0:ABS記憶報
Cached r	memory(その他)	100.00%使用		6.記憶装置(000)	<ol><li>MIBGET: 100.0</li></ol>	*hrStorageUsed	.7/hrStorageSize.7>	>-1.0:ABSE2'情能
-	a little de little de la companya de	1 1 + 1 +						
Swap sp	ace(仮想メモリ)	未接続		6.記憶装置(001	<ol> <li>MIBGET: 100.0</li> </ol>	*hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1	10>-1.0:ABS記憶
<ul> <li>Swap sp</li> <li>(活完千</li> </ul>	ace(仮想メモリ) 'ィスカ\	未接続 39.64%/使田		6.記憶装置(001)	0) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize . 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記憶 1>-1 0·ABS記憶
● Swap sp ● //(周定子 ◆	ace(仮想メモリ) //フ/ウ	未接続 39 64%使田	III	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003)	0) MIBGET: 100.0 1) MIBGET: 100.0	*hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記憶 31>-1 0:ABS記憶
● Swap sp ● //同定子 ◆	ace(仮想メモリ) 'ィュカ)	未接続 39 64%使用		6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003)	0) MIBGET:100.0 1) MIBGET:100.0	<sup>#</sup> hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10-1.0:ABS記憶 81>-1.0:ABS記憶 81>-1.0:ABS記憶 ※
<ul> <li>Swap sp.</li> <li>//(周定子</li> <li></li> <li></li></ul>	ace(仮想メモリ) シュカ	未接続 39.64%(使用		6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003)	0) MIBGET: 100.0	<sup>#</sup> hrStorageUsed	, 10/hrStorageSize, 1 31/hrStorageSize, 3	10>-1.0:ABS記憶 10>-1.0:ABS記憶 11>-1 0:ARS記作 パーリング追加
<ul> <li>Swap sp</li> <li>//同定子</li> <li>//回定ス情報</li> <li>プロセス番号</li> </ul>	ace(仮想メモリ) シュカハ プロセス名	未接続 39.64%(使用 ブロセス種別	 プロセス状態	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003)	0) MIBGET: 100.0 1) MIBGET: 100.0 (使用メモリ	*hrStorageUsed	, 10/hrStorageSize, 1 31/hrStorageSize, 3	10>-1.0:ABS記憶 11>-1 0:ABS記憶 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp</li> <li>パ周完子</li> <li>パ周完子</li> <li>ロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ン2か フロセス名 init	未接続 39.64%(使用 プロセス種別 application(4)	ッパックロセス状態 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 2. 2. 53	(使用メモリ 480 KBytes	*hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記憶 11>-1 0-ABS記憶 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp パ(雨完子</li> <li>ロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ン2か ・ プロセス名 init kthreadd	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. 2. 5. 5. 5. 0.	0) MIBGET:100.0 1) MIBGET:100.0 1) MIBGET:100.0 (使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes	fhrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	ポーリング注意加 (ポーリング注意加)
<ul> <li>Swap sp パ(雨完子</li> <li>ロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ン2カ) フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4)	m プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. CPU使用量 2) 53 2) 0 2) 0 2) 0	(使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes 0 KBytes	fhrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10-10.28日記 11-10-285記代 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp</li> <li>パ(肉定デ</li> <li>ロセス)情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ン2カ) フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0	未接続 39.64%(東田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. 2. 2. 3. 3. 3. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5.	(使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes	"hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10-10:ABS記様 11-10-ABS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp //(因定デ</li> <li>ロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ン2カ) フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. CPU使用量 2) 53 2) 0 2) 0 2) 4 2) 7468	(使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes	"hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10-10:ABS記様 11-10-ABS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp //(固定÷</li> <li>(周定÷</li> <li>(回セス)情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ン2カ) フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. CPU使用量 2) 53 2) 0 2) 0 2) 4 2) 7468 2) 0	(使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes 0 KBytes	"hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-10:ABS記様 11>-10-ABS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp //(固定子</li> <li>ノ(固定子</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> </ul>	ace(仮想メモリ) ンクカ フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. CPU使用量 2) 53 2) 0 2) 0 2) 4 2) 7468 2) 0 2) 4 2) 7468 2) 0 2) 3	使用メモリ 使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes	"hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-10:ABS記様 11>-10-ARS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp //(固定子</li> <li>ノ(固定子</li> <li>ノロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> <li>128</li> </ul>	ace(仮想メモリ) 2 2 か フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. 2. 2. 3. 2. 3. 2. 4. 4. 4. 2. 7468 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 3. 2. 0. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 5. 3. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5.	使用メモリ 使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes	"hrStorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記様 11>-1 0·ARS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp ///因定デ</li> <li>プロセス情報</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> <li>128</li> <li>129</li> </ul>	ace(仮想メモリ) 2 7 カ 2 7 カ 3 7 ロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpi otify	未接続 39.64%(車田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. 2. 2. 3. 2. 3. 2. 4. 2. 4. 2. 7468 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 3. 2. 0. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 5. 4. 5. 7. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 5. 7. 7. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5.	使用メモリ 使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes	"In StorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記様 11>-1 0·ARS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp //(固定子</li> <li>パ(固定子</li> <li>プロセス番号</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>126</li> <li>128</li> <li>129</li> <li>173</li> </ul>	ace(仮想メモリ) 2 7 か フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid kacpi, notify ata/0	未接続 39.64%(東田 プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. 2. 2. 3. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	(使用メモリ (使用メモリ 480 KBytes 0 KBytes	"In StorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記様 11>-1 0·ARS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp.</li> <li>パ()司完子</li> <li>()()司完子</li> <li>()()()()()()()()()()()()()()()()()()()</li></ul>	ace(仮想メモリ) 2 2 か フロセス名 init kthreadd ksoftirqd/0 watchdog/0 events/0 khelper kblockd/0 kacpid kacpid kacpid ata_0 ata_aux	未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	III プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 8. 8. 2. 2. 3. 2. 3. 2. 4. 2. 4. 2. 4. 2. 7468 2. 0. 2. 3. 2. 0. 2. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 0. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 0. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	(使用メモリ 480 KBytes 0 KB	"In StorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記様 11>-1 0·ARS記様 ポーリング追加
<ul> <li>Swap sp.</li> <li>パ()司完子</li> <li>()()司完子</li> <li>()()()()()()()()()()()()()()()()()()()</li></ul>	ace(仮想メモリ) 2 2 か 2 つ 2 つ 2 つ 2 つ 2 つ 2 つ 2 つ 2 つ	未接続 39.64%(使用) プロセス種別 application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4) application(4)	111 プロセス状態 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2 runnable(2	6.記憶装置(001) 6.記憶装置(003) 6.記憶装置(003) 7.20 8.20 2.20 2.20 2.20 2.20 2.20 2.20 2	(使用メモリ 1) MIBGET:100.0 0 1)	"In StorageUsed	. 10/hrStorageSize. 1 31/hrStorageSize 3	10>-1.0:ABS記様 (1)1 0:ABS記様 (ポーリング)追加

項目	設定内容
アクセス設定	SNMPのアクセス設定です。
<取得>	アクセス設定に従って、プリンタMIBを取得します。
<ポーリング追加>	選択した項目に関連したポーリングを追加します。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

### [プリンタ管理]

<機能>

プリンタMIBによる管理画面です。関連するポーリングの追加もできます。

<起動方法>

ノードの右クリックメニュー「SNMP 管理」-「拡張 MIB 管理」-「プリンタ管理」から起動します。

<表示例> プリンタ管理 アクセス設定 閉じる IPアドレス 192.168.1.10 リトライ ▼ タイムアウト 1 プリンタ複合機 3 ノード Community public Password ..... SNMPモード SNMPv1 取服得久 9秒で取得完了 MIB 42件取得 プリンタ情報 項目 値 種別 ポーリング定義 . 1) 管理者(1) 1.本体情報(1) ()保守担当者(1) -1.本体情報(1) 2 1 給紙タイプ(1.1) sheetFeedManual(5) 2. 給紙情報(1.1) 1 給紙単位(1.1) sheets(8) 2. 給紙情報(1.1) () 給紙最大容量(1.1) 2. 給紙情報(1.1) 1 ● 給紙現在レベル(1.1) 0 2. 給紙情報(1.1) MIBGET:prtInputCurrentLevel.1.1>0:ABS用紙残量監視(1.1) ● 給紙状態(1.1) リクエスト中 2.給紙情報(1.1) MIBGET:prtInputStatus.1.1<8:ABS給紙状態監視(1.1) "MP Tray" (1.1) 2. 給紙情報(1.1) ÷ 1 給紙タイプ(1.2) sheetFeedAutoRemovableTray(3) 2. 給紙情報(1.2) () 給紙単位(1.2) sheets(8) 2. 給紙情報(1.2) () 給紙最大容量(1.2) 2. 給紙情報(1.2) 250 ● 給紙現在レベル(1.2) 用紙有り(枚数不明) 2.給紙情報(1.2) MIBGET:prtInputCurrentLevel.1.2!0:ABS用紙切れ監視(1.2) ● 給紙状態(1.2) 2.給紙情報(1.2) MIBGET:prtInputStatus.1.2<8:ABS給紙状態監視(1.2) アイドル (1.2) "Cassette" 2.給紙情報(1.2) 1 排紙タイプ(1.1) unRemovableBin(4) 3.排紙情報(1.1) 測定機能なし 3.排紙情報(1.1) 1.1) 排紙最大容量(1.1) 1 排紙残容量(1.1) 測定機能なし 3.排紙情報(1.1) ● 排紙状態(1.1) 3.排紙情報(1.1) MIBGET:prtOutputStatus.1.1<8:ABS排紙状態監視(1.1) アイドル 3.排紙情報(1.1) 1 排紙名(1.1) "Tray" 🕕 マーカ種別(1.1) electrophotographicLaser(4) 4.マーカ情報(1.1) ポーリング追加

項目	設定内容
アクセス設定	SNMPのアクセス設定です。
<取得>	アクセス設定に従って、プリンタMIBを取得します。
<ポーリング追加>	選択した項目に関連したポーリングを追加します。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

# [I/F管理]

<機能>

I/F MIB による管理画面です。関連するポーリングの追加もできます。 主に、ルータや SW-HUB のポートを管理するためのダイアログです。

#### <起動方法>

ノードの右クリックメニュー「SNMP管理」-「I/F管理」から起動します。

<表示例>

マカセス副会会	,						
1. P	vamai.OC	7,1%	102 168 1 202		3 - 841.701.5	-	閉じる
/-٢	Tyamar Qc	1/1/2	192.100.1.202			_	MIGO
SNMPモード	SNMPv1	Community User	public	Password		C	取得
1秒で取得	完了 MIB 660件取得		□ 管理して 削除	こいるI/Fのみ表示	送受信バイト数  受信バイト数	<ul> <li>         グラフ     </li> <li>         ポーリン     </li> </ul>	「 <b>更新</b> 」
			送受信	バイト数			
5 2000		Contraction of the local distribution of the	Acres	11 1			送信八个图
₩ 2000			5 20	25	30 35	40	这信八个时
之 2000 伏熊	1000000 0 0 5 I/F名	10 III	5 20	25	30 35 · 種別	40 速度	送信ハイト MACアドレ:
关 2000 犬熊 ◯up(1)	000000 0 5 I/F名 Software Loopback Interface	10 1 10 1	5 20	25	30 35 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	40 速度 1073741824	)送信ハイト3      MACアドレ:
大態 up(1) up(1)	000000 000000 00000 00000 5 I/F名 Software Loopback Interface WAN Miniport (PPTP)	10 1	20	25	30 35 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	40 速度 1073741824 1073741824	送信//イト MACアドレ
大態 up(1) up(1) down(2)	000000 0 5 I/F名 Software Loopback Interfac WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2)	10 1 10 1	20	25	30 35 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	40 速度 1073741824 1073741824 0	送信ハイト MACアドレ: 0:0:0:0:0:0:
大態 up(1) up(1) down(2) up(1)	000000 0 5 I/F名 Software Loopback Interfac WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2) WAN Miniport (LZTP)	10 1	20	25	30 35 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	40 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824	)法信/ハイト? MACアドレ: 0:0:0:0:0:0:
大熊 ローロー レーロー	000000 000000 000000 00000 00000 000000	10 1 re 1	20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131)	40 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824 1073741824	メモルイト MACアドレ: 0:0:0:0:0:0:
大態 up(1) up(1) up(1) down(2) up(1) up(1) up(1)	000000 0 5 I/F-2 Software Loopback Interfac WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2) WAN Miniport (L2TP) WAN Miniport (SSTP) WAN Miniport (Network Mor	10 1 ce 1 nitor)	20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6)	+0 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824 1073741824 1073741824	X信ハイト MACアドレ、 0:0:0:0:0:0:0:0 b8:7e:20:5
大態 up(1) up(1) up(1) down(2) up(1) up(1) up(1) up(1)	000000 0 5 I/F-2 Software Loopback Interfac WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2) WAN Miniport (L2TP) WAN Miniport (STP) WAN Miniport (Network Mor WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP)	10 1 ce 1 nitor)	20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6)	+0 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824 1073741824 1073741824	X信力イト MACアドレ、 0:0:0:0:0:0:0 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5
大熊 up(1) up(1) up(1) down(2) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1)	000000 0 5 I/F-名 Software Loopback Interfac WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2) WAN Miniport (IEV2) WAN Miniport (STP) WAN Miniport (STP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IPv6)	10 1 ce 1 nitor)	5 20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6)	+0 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824	X信ハイト3 MACアドレ、 0:0:0:0:0:0:0 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5
大熊 2000 大熊 2000 中国 200 中国 200 日 20 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	000000 0 5 I/F-名 Software Loopback Interfac WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2) WAN Miniport (IEV2) WAN Miniport (STP) WAN Miniport (STP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IPV6) WAN Miniport (IPPOE)	10 1 ce 1 nitor)	5 20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ppp(23)	+0 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824	X信ハイト MACアドレ、 0:0:0:0:0:0:0 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5
大熊 2000 大熊 0 up(1) 0 up(1) 0 up(1) 0 up(1) 0 up(1) 0 up(1) 0 up(1) 0 up(1)	000000 0 5 I/F-2 Software Loopback Interfact WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IKEv2) WAN Miniport (IEV2) WAN Miniport (IEV2) WAN Miniport (STP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IPV6) WAN Miniport (PPPOE) RAS Async Adapter	10 1 ce 1 nitor)	5 20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ppp(23) ppp(23)	中の 速度 1073741824 1073741824 0 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824	X信ハイト3 MACアドレ、 0:0:0:0:0:0:0 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5
状態 up(1) up(1) up(1) down(2) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1)	000000 0 5 I/F-2 Software Loopback Interfact WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IXEv2) WAN Miniport (LZTP) WAN Miniport (LZTP) WAN Miniport (SSTP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IPV6) WAN Miniport (IPV6) WAN Miniport (PPPOE) RAS Async Adapter Realtek RTL8139/810x Fam	10 1 ce 1 hitor)		25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ppp(23) ppp(23) ethernetCsmacd(6)	速度 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824	MACアドレ、 0:0:0:0:0:0:0 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 co.th:53:5 0.ch:90:e
状態 ・ up(1) ・ u	000000 0 5 I/F-2 Software Loopback Interfact WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IXEv2) WAN Miniport (IXEv2) WAN Miniport (IZTP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IPV6) WAN M	10 1 Te 1 hitor) ily Fast Ethernet NIC -E Gigabit Ethernet C	20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ppp(23) ppp(23) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6) ethernetCsmacd(6)	世 速度 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824 1073741824	MACアドレ: 0:0:0:0:0:0: b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 20:41:53:5 0:db:9c:e 0:1b:fc:3f;
状態 up(1) up(1) down(2) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1) up(1)	000000 0 5 I/F-2 Software Loopback Interfact WAN Miniport (PPTP) WAN Miniport (IXEv2) WAN Miniport (IXEv2) WAN Miniport (IXEV2) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IP) WAN Miniport (IPO6) WAN Miniport (IPO7) MAN BESSION FAMILY (INCOMPARING) WAN MINIPORT (INCOMP	10 1 The I nitor) Ily Fast Ethernet NIC -E Gigabit Ethernet C	20	25	30 35 種別 softwareLoopback(24) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) tunnel(131) ethernetCsmacd(6) eth	ま 度 1073741824 100000000 100000000 100000000 100000000	MACアドレ: 0:0:0:0:0:0:1 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 b8:7e:20:5 cd:b:9c:e 0:1b:fc:3f: 0:0:0:0:0:

項目	設定内容
アクセス設定	SNMPのアクセス設定です。
<取得>	アクセス設定に従って、I/F MIB を取得します。
<ポーリング追加>	選択した項目に関連したポーリングを追加します。
管理している I/F の	I/F 監視のポーリングを行っているポートのみ表示します。
み表示	再取得が必要です。
削除	選択した I/F を削除(非表示)にします。
グラフ更新	指定の種類のグラフを表示します。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

### [更新版の確認]

<機能>

TWSNMP の最新版があるかどうかを確認します。インターネットに接続されていない環境では確認できません。

<起動方法>

MAP ウィンドウのメニューから「ヘルプ」-「更新版の確認」をクリックします。

<表示例>



<設定項目>

項目	設定内容
メッセージ	更新版があるかどうかをメッセージ表示します。
<top></top>	Twise Labo のホームページを表示します。
< CLOSE >	ダイアログを終了します。

[バージョン情報]

<機能>

バージョン情報を表示します。

<起動方法>

ツールバーの<バージョン情報>か、メニューの「ヘルプ」-「バージョン情報」をクリック します。

<表示例>



項目	設定内容
バージョン情報	TWSNMPのバージョン情報です。
<閉じる>	このダイアログを終了します。

# 保守と内部情報仕様

### [背景ビットマップの追加]

TWSNMP で使用する背景ファイルは、<インストールフォルダ>¥BITMAP に保存されてい ます。このフォルダに Windows BMP 形式のファイルをコピーすることにより TWSNMP の配 置マップの背景として使用できます。

### [ノードアイコンの追加]

TWSNMP で使用するアイコンファイルは、<インストールフォルダ>¥ICON に保存されてい ます。このフォルダに Windows ICO 形式のファイルをコピーすることにより TWSNMP のア イコンとして使用できます。

# [設定ファイル]

TWSNMP で使用する設定ファイルは、<インストールフォルダ>¥Config¥TWSNMP.INI に 保存されています。このファイルには、次の内容を追加できます。

```
    (1) 自動発見時の登録設定

     [DISCOVER]
     NONSNMP=PC1 PC AUTO PORT.TRF
     enterprises.311.1.1.3.1=MS_CO AUTO PORT.TRF
フォーマットは、
  sysObjectID=アイコン名 パネル名 トラフィックファイル名
(2) ポーリング設定
    ※現在のバージョンでは、この設定が使用していません。
     ポーリング方式ファイルに定義されています。
     [POLLING]
     PING=IP レベル動作監視
     TCP:ECHO:7=エコーポート監視
     MIBGET:tcpRetransSegs.0<5:PS=TCPの再送回数が秒5回以上
フォーマットは、
 方式=名称
方式は、
 PING
 TCP: プロトコル名:ポート番号
 MIBGET: 取得 MIB 条件 比較値: 取得モード
です。
 条件は、<>=!が指定可能です。
取得モードは、
 ABS:絶対値
 DEL: 差分
 PS: 単位時間
 EXIST: MIB が取得可能な場合正常
 STRCMP: 取得値と比較値を文字列で比較して<>=の関係
 PROC:ホストリソースの hrSWRunTable で判断
      MIBGET のタイプの PROC を設定
```

MIBGET:hrSWRunName=プロセス名:PROC

プロセス番号が変わった場合は、一度障害と判断します。

が指定可能です。

スペースを含む文字列比較のポーリングに対応しています。文字列が含まれない場合 OK とす るモードも使用できます。

MIBGET:sysDescr.0?含まれる文字列:STRCMP

のように、比較演算子に?を指定すれば、使用できます。スペースは、「¥s」と記述すれば、半角スペースに変換して比較します。

### [ポーリング方式ファイル]

「ポーリング方式一覧」ダイアログから読み込む監視方式ファイルは、以下のような形式で作成 してください。

ポーリング定義<TAB>ポーリング名<TAB>グループ名

MIBGET:laLoadInt.\$i>-1:ABS<TAB>UCD-SNMP-MIB による CPU(\$i)使用率(x0.01%) \$iは、インデックスで、<自動>設定の場合、ノードから MIB を取得して自動展開します。 デフォルトのポーリング方式ファイルは、<インストールフォルダ>¥Config¥Polling.txt です。 <TAB>は、TAB コードです。

ポーリング定義の記述は、

PING

TCP: プロトコル名: ポート番号 MIBGET: 取得 MIB 条件 比較値: 取得モード EXEC:判定タイプ:コマンド=判定値

です。

取得 MIB には、計算式が記述できます。

例

100.0\*ifInNUcastPkts.\$i/(ifInErrors.\$i+ifInDiscards.\$i+ifInNUcastPkts.\$i+ifInUcastPkts.\$i) \$iは、インデックスとして、ポーリングに設定する時に、展開します。

条件は、<>=!#?が指定可能です。

#は、文字列比較で含まれる、?は、含まれないと示します。

取得モードは、

ABS:絶対値 DEL:差分 PS:単位時間 ADEL:計算式中のMIB値を差分値で計算します。 APS:計算式中のMIB値を単位時間値で計算します。 EXIST:MIBが取得可能な場合正常 STRCMP:取得値と比較値を文字列で比較して<>=の関係 PROC:ホストリソースのhrSWRunTableで判断 MIBGET のタイプのPROCを設定 MIBGET:hrSWRunName=プロセス名:PROC プロセス番号が変わった場合は、一度障害と判断します。

が指定可能です。

スペースを含む文字列比較のポーリングに対応しています。文字列が含まれない場合 OK とす るモードも使用できます。

#### MIBGET:sysDescr.0?含まれる文字列:STRCMP

のように、比較演算子に?を指定すれば、使用できます。スペースは、「¥s」と記述すれば、半角スペースに変換して比較します。

EXEC モードで 判定タイプは、

> RET=プロセスの終了コード OUT=プロセスの標準出力(最初の倍精度の数値のみ)

コマンドは、実行する外部コマンド但し、空白は、<sp>で示す。 設定ダイアログで設定した場合は、空白と<sp>の変換は自動で行います。 次の変数が使えます。

\$IP:IPアドレス
\$NODE:ノード名
\$RETRY:リトライ回数
\$TIMEOUT:タイムアウト(秒単位)
\$USER:SNMPのユーザ名または、Community名
\$PASSWD:SNMPのパスワード

外部コマンドは、Perl などで記述可能です。 BAT コマンドの場合 設定: EXEC:RET:cmd.exe /c c:¥test.bat=0 ※空白は、<sp>になります。 スクリプト echo off exit 0 Perl の場合 設定 EXEC:RET:perl.exe c:¥test.pl=1 ※空白は、<sp>になります。 スクリプト #! /c/Perl/bin//perl -w printf("OUT=2.0¥n"); exit 1;

監視の他に、定期的に実行するバッチジョブにも使えます。

### [トラフィックファイル]

TWSNMP で使用するトラフィックファイルは、<インストールフォルダ>¥traffic に保存されています。このファイルのフォーマットは、テキストファイルです。

TITLE インターフェイス送/受信バイト数 YLABEL バイト/秒 MODE PS ifInOctets ifOutOctets

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

TITLE: グラフのタイトルを指定します。 YLABLE: Y軸のラベルを指定します。 MODE: MIBの取得モードを指定します。ポーリングの設定を参照してください。 以下、取得する MIB 項目を最大8個まで指定できます。 混在はできませんが、インスタンスを指定しない場合、起動時に パラメータとして指定したインスタンスを追加します。

### [MIB取得ファイル]

TWSNMP で使用する MIB 取得ファイルは、<インストールフォルダ>¥MIBBR に保存され ています。このファイルのフォーマットは、テキストファイルです。

TITLE UDP ポートテーブル MODE TABLE udpTable TITLE:タイトルです。 MODE:取得モードです。 NORMAL:指定した MIB のみ取得します。 TABLE:テーブル形式で取得します。 WALK:WALK 形式で取得します。

TWSNMP Ver.4 操作マニュアル

### [パネル表示ファイル]

パネル表示のための定義ファイルは、<インストールフォルダ>¥PANELに保存されています。 系統図の拡張子は、\*.VPN です。

### [パネル表示ファイルフォーマット]

パネル表示の定義は、次のフォーマットのテキストファイルです。このフォーマットの定義フ ァイルを作成することにより、独自のパネルをを作成することができます。

- 1. 共通
  - (1) 色指定

16 色は、IRGB 各 1 ビットで表現

(2) 判定設定

<判定值><条件><設定值>;<判定值><条件><設定值>;....

判定値は、dobule 型実数

条件は、

- > :取得値が判定値より小さい
- < :取得値が判定値より大きい
- = :等しい
- ! : 等しくない
- \* :デフォルト 一致する条件がない場合または、データが取得できていない場合 この場合、判定値はなし、この設定は最後に記述する、それ以降の記述は判定されない。

例

- 0.0<1;1.0=2;2.0!3;5.0>4;\*5
- この場合 0.0 より小さい場合は、1を設定 1.0 の時 2を設定
- (3) 文字列
  - :の以降は文字列で、空白も含めて記述可能
- 2. コメント

#で始まる行はコメント 例 #パネル

3. パネルサイズ、背景色定義

キーワード:PANELSIZE パラメータ: Xサイズ Yサイズ 背景色 例 PANELSIZE 700 400 2

- 4. 描画オブジェクト
  - (1)四角形
    キーワード:RECT
    パラメータ: 外郭の色 塗りつぶし色 外郭の太さ X1 Y1 X2 Y2
    例
    RECT 0 1 1 0 0 700 65

(2) 円、楕円 キーワード: CIRCLE パラメータ: 外郭の色 塗りつぶし色 外郭の太さ X1 Y1 X2 Y2 俪 CIRCLE 0 0 1 25 98 30 103 (3)線 キーワード:LINE パラメータ: 線色 太さ X1 Y1 X2 Y2 例 LINE 0 1 25 98 30 103 (4) 文字列 キーワード:TEXT パラメータ: 文字色 背景色 表示オプション X1 Y1 X2 Y2 :文字列 例 TEXT 0x9b6464 0x00d4ff 70 8 190 23 :TWISE (5) ビットマップ キーワード:BITMAP パラメータ: d1 d2 d3 x1 y1 x2 y2 :ビットマップファイル名 (d1~d3 はダミー) 例 BITMAP 1 1 1 5 70 300 120 :SETUP.BMP 5. 動的オブジェクト ポーリングと関連付けるオブジェクト (1) ポート キーワード: PORT パラメータ: 形式 方向 X1 Y1 X2 Y2 ポーリング 正常値 取得モード カラー MAP トラフィックファイル MIB 情報ファイル 形式には、MODULER、BNC、DSUB, POWER がある。 判定設定の設定値は、16色 例 PORT MODULER 180 40 60 65 80 ifAdminStatus.2 1 2 ifOperStatus.2 1 ABS =:0:0;=:1:10;=:2:12;=:5:5; Port.trf PortInfo.mb 取得モードは、ポーリングと同じ ABS、PS、DELTA など カラーMAP は、 比較条件:比較值:色; の繰り返し。 比較条件は、=、<、>など 値は、取得した MIB 値か、取得不能、ディスエーブルは0。 つまり、 [=:0:0;=:1:10;=:2:12;=:5:5;] は、 ディスエーブルは黒

1=動作は、明るい緑 2=停止は、明るい赤

トラフィック、情報ファイルは、ポートを右クリックするとメニューが表示される。 この時、トラフィックのグラフを表示するための定義ファイルと、情報を表示するための定 義ファイルを指定する。

(2) LED

キーワード:LED パラメータ: 形式 方向 X1 Y1 X2 Y2 ポーリング 判定設定 形式には、CIRCLE、RECT、7SEGMENT がある。 判定設定の設定値は、16 色、7SEGMENT の場合は、0-15 設定値がそのまま表示される。 例 LED CIRCLE 95 100 105 110 ifOperStatus.4 ABS 0=10;0<12;\*0;

#### (3) ボタン

パラメータ: ボタン名 X1 Y1 X2 Y2 : アクション
 アクションには、組み込みで、
 EXEC コマンド : 外部コマンド実行
 例
 BUTTON CHECK
 340 361 400 376 :EXEC notpad.exe

### [拡張MIBファイル]

拡張 MIB ファイルは、「MIB ツール」ダイアログから追加/編集/削除可能です。 ファイルは

<インストールフォルダ>¥mibs

にコピーしても追加できます。

### [MIB説明ファイル]

TWSNMPの MIB ツリーダイアログで表示する説明を、日本語化するためには、<インストールフォルダ>¥MIBDescr に、翻訳ファイルをコピーします。

フォーマットは

#オブジェクト名 "説明 "

の形式です。以下に例を示します。

#sysObjectID

"エージェントのベンダーの製品識別番号を表すオブジェクト ID で、その ID 内に企業サブ

ツリー(1.3.6.1.4.1)に配置された企業番号と、そのベンダーのどの製品かを特定する製品番号を含んでいます。 例えば、「\*\*社」の企業番号が、(1.3.6.1.4.1.4242)であれば、その会社のルータは、 (1.3.6.1.4.1.4242.1.1)という sysObjectID を設定できます。従って、この値をよむことによ りどのベンダーの製品かを確認することが出来ます。

The vendor's authoritative identification of the network management subsystem contained in the entity. This value is allocated within the SMI enterprises subtree (1.3.6.1.4.1) and provides an easy and unambiguous means for determining `what kind of box' is being managed. For example, if vendor `Flintstones, Inc.' was assigned the subtree 1.3.6.1.4.1.4242, it could assign the identifier 1.3.6.1.4.1.4242.1.1 to its `Fred Router'."

MIB 説明ファイルは、「MIB ツール」ダイアログから追加/編集/削除可能です。

# [外部コマンド起動パラメータ]

MIBBR を含め、トラフィック、パネルなどのコマンド起動時のパラメータは、ほとんど共通 で、以下の通りです。

mibbr.exe /IP=%s /ComOrUser=%s /Password=%s /SnmpMode=%d /Node=%s /PollInt=%d /Retry=%d /Timeout=%d /Index=%s 設定ファイル名

インデックスの必要ない設定ファイルの場合は

/Index=%s を省略できます。 IP、ComOrUser,SnmpMode、設定ファイル以外は、省略できます。 SnmpModeは、ダイアログで表示される順番に、 1、2、3... を指定します。

IP=IP アドレス
ComOrUser=Community 名またはユーザ名(SNMPv3 の場合)
Password=パスワード(SNMPv3 の場合)
SnmpMode=SNMP モード
Node=ノード名
PollInt=ポーリング間隔
Retry=再試行回数
Timeout=タイムアウト
Index=インデックス
設定ファイルは、<インストールフォルダ>¥nmibbr ディレクトリに
ある MIBBR のM I Bアクセスに関する設定を記録したファイルです。

MIB 取得の場合のみ、以下のパラメータが指定可能です。
/LogCount=回数
/LogFile=ファイル名
指定回数、ファイルに書き込んだら、自動的に終了します。
LogCountのみの指定はできません。

# [動作制限ファイル]

管理MAPファイル(\*. SPM)と同じディレクトリに、<MAPファイル名>.twlというファ イルを作成し、以下のキーワードを設定することにより、TWSNMPの操作/表示を制限する ことができます。解除する場合は、制限ファイルを削除、名前変更、移動します。

キーワード	意味
MENU_OFF	メインメニューを表示しない。
TOOLBAR_OFF	ツールバーを表示しない。
STATUSBAR_OFF	ステータスバーを表示しない。
TREE_WIN_SIZE <幅>	ツリーWindow の幅を指定する。 0 で非表示。
EVENT_WIN_SIZE <高さ>	イベントログ Window の高さを指定する。 0 で非表示
SPLIT_WIN_LOCK	分割 Window を固定する。
WINDOW_POS X0 Y0 X1 Y1	メイン Window の初期表示位置を指定する。
NO_EDIT	編集を禁止する。
	アイコン移動、削除、コピー、貼り付けの禁止
	ノード右クリックメニューでの編集機能を非表示
	ノード状態ダイアログでの編集関連ボタンをディスエーブル

設定例

MENU_OFF
TOOLBAR_OFF
STATUSBAR_OFF
EVENT_WIN_SIZE 0
TREE_WIN_SIZE 0
SPLIT_WIN_LOCK
WINDOW_POS 20 20 1280 1024
NO EDIT

上記の制限で起動した場合の表示例

